

# 神田まちづくりセンター改築工事 (建築)

設計図面リスト							
意匠図				構造図			
NO.	図面名称	NO.	図面名称	NO.	図面名称	NO.	図面名称
A-0	工事区分表	A-28	展開図 5、各部詳細図	C-1	構造特記仕様書	C-29	鉄骨詳細図 (2)
A-1	特記仕様書 1	A-29	部分詳細図 1	C-2	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)		
A-2	特記仕様書 2	A-30	部分詳細図 2	C-3	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)		
A-3	特記仕様書 3	A-31	家具詳細図 1	C-4	鉄骨工作標準図		
A-4	特記仕様書 4	A-32	家具詳細図 2	C-5	ボーリング柱状図 (1)		
A-5	特記仕様書 5	A-33	舞台吊物機構詳細図	C-6	ボーリング柱状図 (2)		
A-6	特記仕様書 6	A-34	サインキープラン	C-7	SSコラム工法特記仕様書		
A-7	敷地丈量図、求積表	A-35	サイン詳細図 1	C-8	ベースバック柱脚工法設計施工標準図		
A-8	建物求積図、面積表	A-36	サイン詳細図 2	C-9	QLデッキ合成スラブ設計・施工標準		
A-9	仕上表 (特記仕様書)	A-37	建具工事 (特記仕様書)	C-10	梁貫通孔補強筋スーパーハリーZ Mタイプ標準図		
A-10	仕上表	A-38	建具キープラン	C-11	フリードーナツゼロ 工法標準図		
A-11	配置図、付近見取図	A-39	建具リスト 1	C-12	フリードーナツエイト 工法標準図		
A-12	1階平面図	A-40	建具リスト 2	C-13	角形鋼管柱・H形鋼はり接合法 NDコア設計・施工標準仕様書【基本仕様編】		
A-13	屋根伏図	A-41	駐輪場詳細図	C-14	角形鋼管柱・H形鋼はり接合法 NDコア設計・施工標準仕様書【柱・はり組合せ編・別表 ND400】		
A-14	立面図	A-42	【現況・改修】屋外倉庫棟 現況図、改修図	C-15	角形鋼管柱・H形鋼はり接合法 NDコア設計・施工標準仕様書【柱・はり組合せ編・別表 はり中広幅】		
A-15	断面図	A-43	現況平面測量図	C-16	設備工事構造特記仕様書		
A-16	天井伏図	A-44	現況外構平面図	C-17	ソイルセメントコラム伏図		
A-17	矩計図 1	A-45	改修外構平面図	C-18	基礎伏図		
A-18	矩計図 2	A-46	外構改修詳細図 1	C-19	R階下段伏図		
A-19	矩計図 3	A-47	外構改修詳細図 2	C-20	R階中段伏図・R階上段伏図		
A-20	矩計図 4	A-48	外構改修詳細図 3	C-21	軸組図 (1)		
A-21	矩計図 5	A-49	【解体建物】 講堂 1 平面図・屋根伏図・立面図・断面図	C-22	軸組図 (2)		
A-22	平面詳細図 1	A-50	【解体建物】 講堂 2 部分詳細図・基礎詳細図・天井伏図・基礎伏図	C-23	軸組図 (3)		
A-23	平面詳細図 2	A-51	【解体建物】 会館 1 1階平面図・2階平面図・屋根伏図・立面図・断面図	C-24	基礎断面リスト		
A-24	展開図 1	A-52	【解体建物】 会館 2 部分詳細図・基礎詳細図・天井伏図・基礎伏図	C-25	RC関係断面リスト		
A-25	展開図 2	A-53	工事計画概要図	C-26	鉄骨断面リスト・鉄骨標準詳細図 (1)		
A-26	展開図 3	A-54	工事仮設計画図、緑化面積算定図	C-27	鉄骨標準詳細図 (2)		
A-27	展開図 4			C-28	鉄骨詳細図 (1)		

工事区分表										設備工事の開口補強等																					
※○が付いている項目を適用する。 注) 複数の工事が適用となっている項目については、それぞれの工事に関連する箇所を当該工事の施工とする。																															
番号	項目	細目	建築	電気設備	機械設備	EV設備	備考	番号	項目	細目	建築	電気設備	機械設備	EV設備	備考	設備機器の位置、取り合いなどの検討ができる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける															
1	基礎	(1) 屋上基礎	○				但し、(5)を除く	【以下はエレベーター機械室がある場合に適用する】	(23)	機械室を有するロープ式エレベーターの機械室床の開口	○					機器搬入のため仮設の開口が必要な場合はその復旧を含む	※ 開口補強														
		(2) 屋内基礎	○																種類 (2ヶ所1部)	対象部材断面	開口寸法	補強部	個数	種類 (軽量鉄骨下地)	寸法 (約)	個数					
		(3) 屋外基礎	○																												
		(4) 外灯基礎		○								(24)	機械室のマシンルーム受梁及びスベラー	○																	
		(5) 設備用既設基礎			○	○						(25)	機械室の機器用基礎	○																	
		(6) 架台、アンカーボルト				○	○					(26)	機械室床のシランコンクリート	○																	
		(7) 屋上の給・排気口及び、配管取出口			○							(27)	機械室の照明設備、点検用コンセント			○															
		(8) 上記(7)の配管貫通部のシーリング				○	○					(28)	機械室の換気設備				○														
2	躯体の開口補強	(1) 貫通孔材	○	○	○		鉄骨の鋼製貫通孔及び補強は建築工事	9	設備間の取合	(1)	機器付属の制御盤以降の配管配線 (接地共)	○	○																		
		(2) 貫通孔材の補強筋	○							(2)	機器付属の制御盤への電源供給配管配線	○																			
		(3) 床、壁開口部の箱入れ及び、補強筋	○							(3)	自動制御盤と動力制御盤への電源供給及び操作回路の通り配管配線	○																			
		(4) 貫通孔及び、箱入れ部の穴埋め	○	○	○					(4)	天井吊り形ファンコイルユニット及び全熱交換形換気扇と操作スイッチとの通り配管配線及び接地				○																
		(5) 上記(4)の露出し (梁、床、壁共)	○	○	○					(5)	煙感知器から運動制御盤を経て防煙ダンパーに至る配管配線			○																	
3	仕上材の開口・補強	(1) 天井、軽鉄閉仕切りの開口 (ボード等の切込み及び下地補強共)	○					10	その他	(1)	配管、配線トライフ (ふた、セパレーター共)	○																			
		(2) アウトレットボックス類			○	○				(2)	防油槽 (釜場共)	○																			
		(3) 上記の(1) (2)の露出し	○	○	○					(3)	浄化槽躯体、地下オイルタンクのタンク室 (土工共)	○																			
		(4) ALCパネル及びEPDの貫通孔加工	○							(4)	F R P製浄化槽・地下オイルタンクの基礎、上部スラブ (土工共)	○																			
		(5) 点検口 (床、天井、壁)	○							(5)	地下オイルタンク埋戻し用乾燥砂				○																
		(6) フリーアクセスフロアの穴あけ加工及び補強	○							(6)	電気錠、制御装置及び操作部 (チンキー) が一体のもの	○																			
4	改修工事	(1) 補強を要しない設備配管等の躯体貫通部の穴開け			○	○				(7)	入室管理装置の制御装置、操作部 (チンキー等) 及び鍵具までの配線				○																
		(2) 補強を要しない設備配管等の天井、壁ボードの切り込み			○	○				(8)	入室管理装置の電気錠					○															
		(3) 設備の撤去により生じた補強を要しない床、壁の開口の穴埋め			○	○				(9)	太陽光パネル取付 屋根金物						○														
		(4) 設備の撤去により生じた補強を要する床、壁の開口の穴埋め			○																										
5	衛生設備工事関係	(1) 雨水排水 (配管、ます、ふた)	○																												
		(2) 汚水、雑排水 (配管、ます、ふた)				○																									
		(3) 敷地内合流 (雨水と汚水、雑排水合流以降の配管、ます、ふた)				○																									
		(4) 下水本管への接続				○																								雨水单独の場合は建築工事とする	
		(5) 機械室のます、ふた			○																										
		(6) 塵埃くづ洗い流し			○																									排水食物等への接続配管以降機械設備工事	
		(7) ゴミ置き場の排水設備				○																									
		(8) 便器、洗面器				○																									
		(9) 洗面カウンター (洗面器は除く)			○	○																									
		(10) ユニットバス及びユニットシャワー				○																									
		(11) 現場打ち浴槽及び既設浴槽			○																										
		(12) 通付流し台及び石製流し台			○																										
		(13) 耐腐流し台及び実験器具流し台				○																									
		(14) 耐腐器具 (基礎共)				○																									
		(15) 耐腐排水溝 (ふた共)			○																										
		(16) グリーストラップ (ふた共)				○																									
		(17) 鏡			○	○																									
		(18) 手すり			○	○																								システムユニットに設置する場合は、機械工事	
		(19) F R P製浄化槽				○																									
		(20) 衛生器具の取付下地の補強			○																										
6	空調設備関係	(1) 外部ガラリ (ダクト接続の場合は取付枠共)	○																												
		(2) 内部ガラリ (ドアガラリ)	○																												
		(3) 内部ガラリ (レタランガラリ)				○																									
		(4) 耐腐フード (幕板、吊りボルト共)				○																									
		(5) 換気扇用ガラリ取付枠			○																										
		(6) ウェザーカバー				○																									
		(7) 防火区画、ダクト貫通部の鋼枠				○																									
7	電気設備関係	(1) 電柱 (新設、移設共)			○																										
		(2) 煙感知器連動防火戸のラッチ受座取付用切込補強			○																										
		(3) 煙感知器連動防火戸の磁石式吸着板、電磁式ラッチ受座取付			○																										
		(4) 自動ドア電源供給 (1次配線)			○																										
		(5) 自動ドア電源供給 (2次配線及びアウトレットボックス)			○																										
		(6) 電動シャッター等電源供給 (1次配線)			○	○																									
		(7) 電動シャッター等電源供給 (2次配線)			○																										
		(8) 空調・衛生設備のユニット機器電源供給 (1次配線)				○																									
		(9) 空調・衛生設備のユニット機器電源供給 (2次配線)				○																									
8	昇降機関係	(1) 昇降機の築造工事																													
		(2) 各階乗り場の壁開口																													
		(3) 乗り場出入口の敷居受、床持ち出し																													
		(4) 鉄骨造のシャフト壁面に設置する機器類の取付用下地鋼材																											ただし、鋼製下地鋼材のみとし、それ以外に必要なものはエレベーター設備工事を含むものとする		
		(5) 鉄骨造の乗り場の三方枠、ボタン、位置表示器等の取付用下地鋼材																													
		(6) 三方枠の区画処理 (モルタル充填等)																											三方枠 (大枠) が建築工事の場合は建築工事とする		
		(7) ビット内防水工事																													
		(8) ビット点検用タラップ																													
		(9) ビット点検用コンセント																													
		(10) 電源盤への電源の供給																													
		(11) エレベーター制御盤への火災検知器信号の供給																													
		(12) 館内放送及び監視カメラのモニター用配線																											ただしエレベーター制御盤への経路までとする		
		(13) インターホン用配管配線工事																													
		(14) 監視用配管配線工事																											監視器用の電源を含む		
		(15) 煙感知器																													
		(16) 非常用エレベーターロビーの避難経路表示板																													
		(17) 機械室天井又はシャフト頂部のトロリービーム、フック																													
		(18) かご内監視カメラ																											カメラ用モニターは電気設備工事とする		
		(19) カメラモニター																													
		(20) カメラと制御盤との通り配管配線																													
		(21) 制御盤とカメラモニターとの通り配管配線																													
		(22) 電力計及び電力電圧計と表示装置等との通り配管配線																													
特記											設計者 一級建築士 中村 一 登録 第169646号 株式会社 ヤスザワ設計 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第0-2423号 一級建築士 登録 第314702号 三輪 弘幸					図面名称 工事区分表 SCALE A1 (A3) 令和5年6月 DATE 令和5年6月 SIGN SHEET No. A 00															
	備考																														



4 ④ 砂利地業 ④ 捨コンクリート地業 ⑤ 床下防護層 ⑥ 地盤改良工法 ⑦ 残土処分

5 ① 鉄筋 ② 溶接金網 ③ 鉄筋の継手

4 鉄筋の定着

5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む。)

6 各部配筋 7 ガス圧接継手 8 機械式継手

9 溶接継手

① コンクリートの種類 ② コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等

③ セメント ④ 骨材 ⑤ 混和材料 6 寒中コンクリート 7 暑中コンクリート 8 マスコンクリート

9 無筋コンクリート 10 流動化コンクリート 11 打継ぎの位置、打継ぎ自地、ひび割れ誘発目地 12 構造体コンクリートの仕上り

13 打増し厚さ(打放し仕上り部) 14 型枠

15 打増し厚さ(打放し仕上り部) 16 型枠

17 コンクリートの単位水量測定

7 鉄骨工事 ① 鉄骨製作工場 ② 鉄骨製作工場における施工管理技術者 ③ 鋼材 ④ 高力ボルト ⑤ 普通ボルト ⑥ 溶融亜鉛めっき高力ボルト ⑦ アンカーボルト ⑧ 溶接材料 ⑨ ターンバックル ⑩ 床構造用のデッキプレート ⑪ スタッド ⑫ 柱地均しモルタル ⑬ 製作精度 ⑭ 仮組 ⑮ 溶接作業を行う技能資格者の技量付加試験 ⑯ 溶接接合

種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所

種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所

種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所

種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所

種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所

種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所

種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所

種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所

18 溶接部の試験 19 錆止め塗装 20 耐火被覆 21 アンカーボルト等の設置等 22 軽量形鋼構造

① 外装材 ② 付柱他

③ 防水工事

④ 防水工事

⑤ 防水工事

⑥ 防水工事

⑦ 防水工事

⑧ 防水工事

⑨ 防水工事

9 防水工事

① 合成高分子系ルーフィングシート防水

平場のモルタル床塗りにおける床の目地及び種類  
目地割 ※目地割2m程度、最大目地間隔3m程度  
目地の種類 ※押し目地  
合成高分子ルーフィングシートの種類及び厚さ  
※表9.4.1から表9.4.3)による  
JIS A 6008 に基づく種類及び厚さ  
種類 ○塩化ビニル樹脂系シート  
厚さ ○ 1.5mm以上  
固定金具の材質、形状及び寸法  
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を精製加工したもの  
接着工法の場合脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様  
設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 (個)  
接着工法においてプレキャストコンクリート部材下地の目地処理  
・行う (○ 図示による)  
プレキャストコンクリート部材の隅部増張り (種別S-F1、SI-F1の場合)  
・行う (○ 図示による) ・行わない  
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け  
1章 適用区分による風圧力の (・1) 倍の風圧力に対応した工法  
防水層の種類 (9.5.3) (表9.5.1、2)

種別	施工箇所	仕上塗料の種類	使用量	保護層	高日射反射率防水の適用[G]
・ X-1		※主材料の製造所の仕様			・適用する
○ X-2	※バタ天端	※主材料の製造所の仕様			・適用する
・ Y-1	※地下外壁防水				
・ Y-2	※室内防水				・適用する ・適用しない

ウレタンゴム系塗布防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ※主材料の製造所の仕様  
設置数量 ※主材料の製造所の仕様

3 ケイ酸質系塗布防水

防水層の地下 (9.6.4) (表9.6.1)

壁 (※コンクリート打直し仕上げ (表6.2.4 B種))  
天井部 (※コンクリート打直し仕上げ (表6.2.4 B種))

下地処理  
コンクリートの打継ぎ箇所の処理  
※打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する。  
・図示による  
(9.6.4(2))の(イ)、(ウ)以外の下地処理  
・図示による

4 シーリング

下表以外は、(表9.7.1)による。 (9.7.2、3、5) (表9.7.1)  
ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による。

施工箇所	シーリング材の種類(記号)

仕上げを行わない施工箇所 (・ 図示による)  
シーリング材の目地寸法  
※(9.7.3(1)) (7)~(9))による  
・ 図示による

接着性試験  
※簡易接着性試験  
・引張接着性試験  
・工事完了後に監督職員の指示する位置に取付く。  
防水工事は責任施工とし、保証期間は次のとおりとする。  
・合成高分子系ルーフィングシート防水 10年間  
・改良アスファルトシート防水 10年間  
・塗膜防水 10年間

3 床及び階段の石張り

浸透性吸水防止剤 (床石張り) ○適用する ・適用しない (10.6.2.3)  
石裏面処理 (床石張り) ○適用する ・適用しない (階段張り) ・適用する ・適用しない  
裏打ち処理 (床石張り) ○適用する ・適用しない  
一般目地  
・目地モルタル (目地幅・ )  
・既設合の目地モルタル (目地幅・ )  
シーリング材 (種類 ※(表9.7.1)による) (目地幅及び深さ・ )  
伸縮調整目地  
位置 ※(10.6.2(5)(a))による  
・ 図示による  
シーリング材の種類 ※(表9.7.1)による  
目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上  
・ 図示による

4 笠木、甲板等の石張り

取付け工法 湿式工法 ・乾式工法 (10.2.2) (10.7.1.3)  
特殊部位用金物  
材質 ※SUS304  
寸法 引金物 ・ ※(表10.2.3)による  
たば ・ ※(表10.2.3)による  
かすがい ・ ※(表10.2.3)による  
受金物 ・ ※(表10.2.2(1)(4))による  
乾式工法方式による金物の種類、形状、寸法等  
ファスナー  
※(表10.2.4)に準ずる(方式: ・スライド方式 ・ロッキング方式) ・ 図示による  
あと施工アンカーの材質、寸法等  
種類 ・ 材質 ・ 寸法  
石裏面処理 ・適用する ・適用しない  
乾式工法の場合の取付け代 ※70mm程度  
石材の裏面の補強用モルタル ・適用する ・適用しない  
目地  
一般目地  
・目地モルタル (目地幅・ )  
・既設合の目地モルタル (目地幅・ )  
・シーリング材 (種類 ※(表9.7.1)による) (目地幅及び深さ・ )  
伸縮調整目地  
位置 ※(10.6.2(5)(a))による  
・ 図示による  
シーリング材の種類 ※(表9.7.1)による  
目地寸法 ・ 図示による

③ 造作用集成材[G]

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (12.2.1)  
施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用  
・適用する  
・適用しない  
※1等・2等  
※1等・2等  
※1等・2等

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (12.2.1)  
施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用  
・適用する  
・適用しない  
※15%以下  
※15%以下  
※15%以下

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 (12.2.1)  
施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用  
・適用する  
・適用しない  
※15%以下  
※15%以下

○「集成材の日本農林規格」以外の化粧張り造作用集成材 (12.2.1)  
施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用  
和室 造作材 化粧薄板: 杉 図示による 0.7 ※15%以下  
化粧薄板: 芯材: 杉 図示による ※15%以下  
化粧薄板: 芯材: 化粧薄板: 杉 ※15%以下  
化粧薄板: 芯材: 化粧薄板: 杉 ※15%以下

④ 造作用単板積層材[G]

・「JAS 0701」に基づき製材造作用単板積層材 (12.2.1)  
施工箇所 品名 寸法(mm) 表面の品質 防虫処理 間伐材等の適用  
・適用する  
・適用しない  
・適用する  
・適用しない

○「JAS 0701」以外の造作用単板積層材 (12.2.1)  
施工箇所 寸法(mm) 表面の品質 含水率 防虫処理 間伐材等の適用  
程・おたけ 図示による タモ ※14%以下  
※14%以下  
※14%以下

・「JAS 3079」に基づき直交集成材 (12.2.1)  
施工箇所 品名 曲げ強度(強度等級) 種別 接着性能(使用環境) 樹種 寸法 間伐材等の適用  
多目的木 壁 ※5.5 材 1類 広葉樹 ※2等以上 1等 ・適用する  
・2類 針葉樹 ※C-D以上 ・適用しない

○「合板の日本農林規格」による普通合板[G] (12.2.1)  
施工箇所 等級 樹種名 接着の樹種名 板面の品質 厚さ(mm) 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用  
床下地合板 ※2級以上 珧 ※1類 ※C-D以上 ※12 ○適用する ・適用する( )  
・1級 ・特種 ・ ・ ・適用しない ○適用しない( )  
※2級以上 ※1類 ※C-D以上 ※12 ・適用する ・適用する( )  
・1級 ・特種 ・ ・ ・適用しない ○適用しない( )

・「合板の日本農林規格」による化粧張り構造用合板[G] (12.2.1)  
施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用  
・1類 ・特種 ・適用する( )  
・適用しない  
・適用しない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板[G] (12.2.1)  
施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ(mm) 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用  
・1類 ・2類 ・適用する( )  
・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板[G] (12.2.1)  
施工箇所 厚さ(mm) 接着の程度 単板の樹種名 化粧加工の接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用  
・1類 ・2類 ・適用する( )  
・適用しない

・パーティクルボード[G] (12.2.1)  
施工箇所 表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ(mm)  
※13タイプ ※P又はM ※15

・「JAS 0360」に基づく構造用パネル (12.2.1)  
施工箇所 寸法(mm)

⑥ 接合具等

・MD F

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用

造作材の化粧面の釘打ち  
※隠し釘打ち  
・釘頭埋め木  
・つじし釘打ち  
・釘頭隠し

⑦ 接着剤

接着剤のホルムアルデヒド放散量 (表12.2.2.3)  
※☆☆☆☆

8 防塵・防蟻処理

・薬剤の加圧注入による防塵・防蟻処理 (12.3.1.2)  
・薬剤の塗布等による防塵・防蟻処理 (12.3.1.2)

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
※薬剤の製造所の仕様による		※JIS K 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防塵・防蟻処理  
・適用部位 ( )  
・合板等の加圧注入処理等適用  
・適用部位 ( )

9 内部間仕切輪組及び床組み

・間仕切輪組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) (12.4.1)  
※杉又は松  
・床組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)  
※杉又は松

⑩ 窓、出入口その他

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) (12.5.1)  
※吊元材、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉  
・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) (12.6.1)  
※ひのき

11 床板張り

・壁脚線、野縁受縁、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) (12.7.1)  
※杉又は松

12 壁及び天井

13 木材の支給

木材は、長浜市から支給された材を使用する。支給品は下記のとおり。  
取引場所:長浜市余呉町東野地先  
・木材の状況として慶板は種挽き、他はKDモルダーとする。  
・木材の加工は請負業者とする。  
・木材引渡し時期は令和6年3月頃とする。

品名	等級	規格	単位	数量	品名	等級	規格	単位	数量
多目的木 種別		規格							
杉材	上小	4 135 16	枚	85					
多目的木 巾木	杉材	上小	4 60 21	本	16				
多目的木 見切	杉材	上小	4 40 21	本	10				
多目的木 見切	杉材	上小	4 90 90	本	20				

3 ① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

② 見本焼き試験

③ セメントモルタルによるタイル張り

位置 ※(表11.1.1)による  
・ 図示による (11.1.3) (表11.1.1, 1)

目地寸法 ・

見本焼き ・ 行う (施工箇所: ) ○行わない  
試験張り ・ 行う (範囲、仕様等は図示による) ○行わない (11.1.4)

施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用[G]	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考
玄関床	300×300	I	Ⅰ	施	無	無	有	無	LXIII 71770X
男子トイレ	900×600	I	Ⅰ	施	無	無	有	無	TOTOMI 52191

標準的な曲がりの役物は一体成形とする  
既設合モルタル (品質・性能、試験方法は別表による)  
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等をあらかじめ工場において所定の割合に配合した材料とする。  
既設合目地材 (品質・性能、試験方法は別表による)  
下地モルタル塗りを行うコンクリート系地面の地下地処理  
※目荒し工法 (高圧水洗処理) ・MCR工法  
壁タイル張りの工法  
内外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り  
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り  
タイルの形状、寸法等 (11.3.2~4, 7)

施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用[G]	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考

標準的な曲がりの役物は一体成形とする  
内外装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆  
目地のシーリング材  
打継ぎ目地  
※ポリウレタン系シーリング材  
ひび割れ誘発目地  
※ポリウレタン系シーリング材  
伸縮調整目地及びその他の目地  
※変性シリコン系シーリング材  
下地調整塗材塗りを行うコンクリート系地面の地下地処理  
※目荒し工法 (高圧水洗処理) ・MCR工法  
外壁タイルの目地詰め  
・行う ・行わない

④ 有機系接着剤によるタイル張り (11.3.2~4, 7)

10 石工事

① 施工  
② 石材等

石材の割付け ※ 図示による (10.1.3.5)  
天然石 (10.2.1.3) (表10.2.1.2)

施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考
床積石	○無脚影石	○図示による	○図示による	○図示による	

ジェットバーナー仕上げのバフ仕上げの有無  
・あり  
・なし

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げの種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12	・300型 ・400型		

その他の材料  
取付け用モルタル  
※専門工事業者の指定する製品  
既設合の目地モルタル  
※専門工事業者の指定する製品  
浸透性吸水防止剤  
※専門工事業者の指定  
石裏面処理材  
※専門工事業者の指定する製品  
裏打ち処理材  
※専門工事業者の指定する製品  
ドレンパイプの材質  
※樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ  
金物の固定に使用する充填材料等  
※専門工事業者の指定する製品

① 施工一般 (12.2.1)  
材料のホルムアルデヒド放散量 ※☆☆☆☆ 又は(12.2.1(4)(b))による (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)  
・「JAS 1083-5 製材・第5部にに基づく下地用製材」  
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用  
・※2級 ※A種・B種  
・※2級 ※A種・B種  
・※2級 ※A種・B種

・「JAS 1083-2 製材・第2部にに基づく造作用製材」  
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用  
見え面 図示による ※大小節 ※A種・B種  
図示による ※小節以上 ※A種・B種  
※A種・B種

・「JAS 1083-6 製材・第6部にに基づく広葉樹製材」  
施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用  
※1等 ※10%以下  
・A種・B種  
※1等 ※10%以下  
・A種・B種  
※10%以下  
・A種・B種

⑤ 合板等

⑬ 屋根及びとい工事

⑬ とい

⑬ とい補修口

⑭ 金属工事

⑭ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

種別	色合い等	施工箇所(成形板、笠木、建具以外)
○P8-2種	○標準色 ( ) ・特注色 ( )	○水切り、下樋見切

陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色

14 金属工事
2 鉄鋼の垂れめっき
3 軽量鉄骨天井下地
4 軽量鉄骨壁下地
5 金属成形板張り

15 左官工事
1 モルタル塗り
2 ラス系下地
3 石こうボードその他のボード下地
4 こまい下地
5 木ずり下地
6 マスチック塗料塗り
7 ロックウール吹付け
8 しっくい塗り

9 仕上塗材仕上げ
内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量
仕上塗材の種類
種類 呼び名 防火材料 仕上げの形状及び工法等

16 建具工事
1 防火戸
2 見本の製作等
3 防犯建物部品
4 アルミニウム製建具
5 網戸等
6 鋼製建具
7 鋼製軽量建具

17 鋼製軽量建具
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
鋼板 ・垂れめっき鋼板 ・ビニル皮覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板

18 木製建具
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

19 鋼製軽量建具
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

20 自動ドア開閉装置
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

21 自閉式上吊り引戸装置
性能値等 ※(表16.10.1)による
以下による
・手動開き力 ( )
・手動閉じ力 ( )
・閉じ速度の調整 ( )
・制動区間 ( )
・閉閉極返し ( )
・耐衝撃性 ( )

22 ガラス
性能値等 ※(表16.10.1)による
以下による
・手動開き力 ( )
・手動閉じ力 ( )
・閉じ速度の調整 ( )
・制動区間 ( )
・閉閉極返し ( )
・耐衝撃性 ( )

23 材料
17 塗装工事
1 材料
2 養生ごしらえ

24 網戸等
25 鋼製建具
26 鋼製軽量建具
27 鋼製軽量建具

17 塗装

④ 塗装

(18. 4. 1~18. 14. 2)

塗装	種別	塗料の種類	高日射反射率塗料の適用
○合成樹脂適合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種 ・ B種	-
	木部屋内	※B種 ・ A種	
○クリヤラッカー塗り(CL)	鉄鋼面	※B種 ・ A種	-
	亜鉛めっき鋼面	-	-
○アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	鉄鋼面	※B種 ・ A種	-
	亜鉛めっき鋼面	-	-
○耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	-	上塗り塗料の等級 (2) 級 ・ 適用する
	亜鉛めっき鋼面	-	上塗り塗料の等級 (2) 級
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(E-P-G)	コンクリート面、モルタル面、セラスター面、せっこうボード面その他ボード面等	・ A種 ○B種 ・ C種	-
	屋内の木部	-	-
○合成樹脂エマルションペイント塗り(E-P)	鉄鋼面	※B種 ・ A種	-
	亜鉛めっき鋼面	-	-
○アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(U-C)	鉄鋼面	※B種 ・ A種	-
	亜鉛めっき鋼面	-	-
○木材保護塗料塗り(WP)	鉄鋼面	※B種 ・ A種	-
	亜鉛めっき鋼面	-	-

高日射反射率塗料(注)を適用する場合の適用箇所は壁・屋根面の金属面とする。  
クリヤラッカー塗りA種の工程の適用  
適用しない (着色剤・溶剤系着色剤・油性染料着色剤)  
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用  
適用する ・ 適用しない  
オイルステン塗りの工程等

18 内装工事

① 接着剤

② ビニルシート

③ 特殊機能床材

④ ビニル幅木

⑤ ゴム床タイル

⑥ カーペット敷き

⑦ 70-リッパ張り

① 接着剤

② ビニルシート

③ 特殊機能床材

④ ビニル幅木

⑤ ゴム床タイル

⑥ カーペット敷き

⑦ 70-リッパ張り

⑧ 量数

⑨ せっこうボードその他ボード及び合板張り

⑩ 壁紙張り

⑪ 断熱材

⑫ 複合フローリング

⑬ 断熱材打込み工法

⑭ 可動間仕切り

⑮ トイレブース

⑯ 視覚障害者用床材

⑰ 手すり

⑱ 鏡

⑲ 表示

⑳ タラップ

㉑ ブラインド

⑳ 断熱材打込み工法

㉒ 可動間仕切り

㉓ トイレブース

㉔ 視覚障害者用床材

㉕ 手すり

㉖ 鏡

㉗ 表示

㉘ タラップ

㉙ ブラインド

㉚ カーテン

㉛ カーテンレール

㉜ プラインドボックス及びカーテンボックス

㉝ 天井点検口

㉞ 床点検口

㉟ 耐震スリット

㊱ 流し台ユニット

㊲ フェンス

㊳ 床の裏材の取合い箇所

㊴ 設備基礎

㊵ 消火器ボックス

㊶ 郵便受

㊷ 屋内掲示板

㊸ 壁内掲示板

㊹ 壁紙

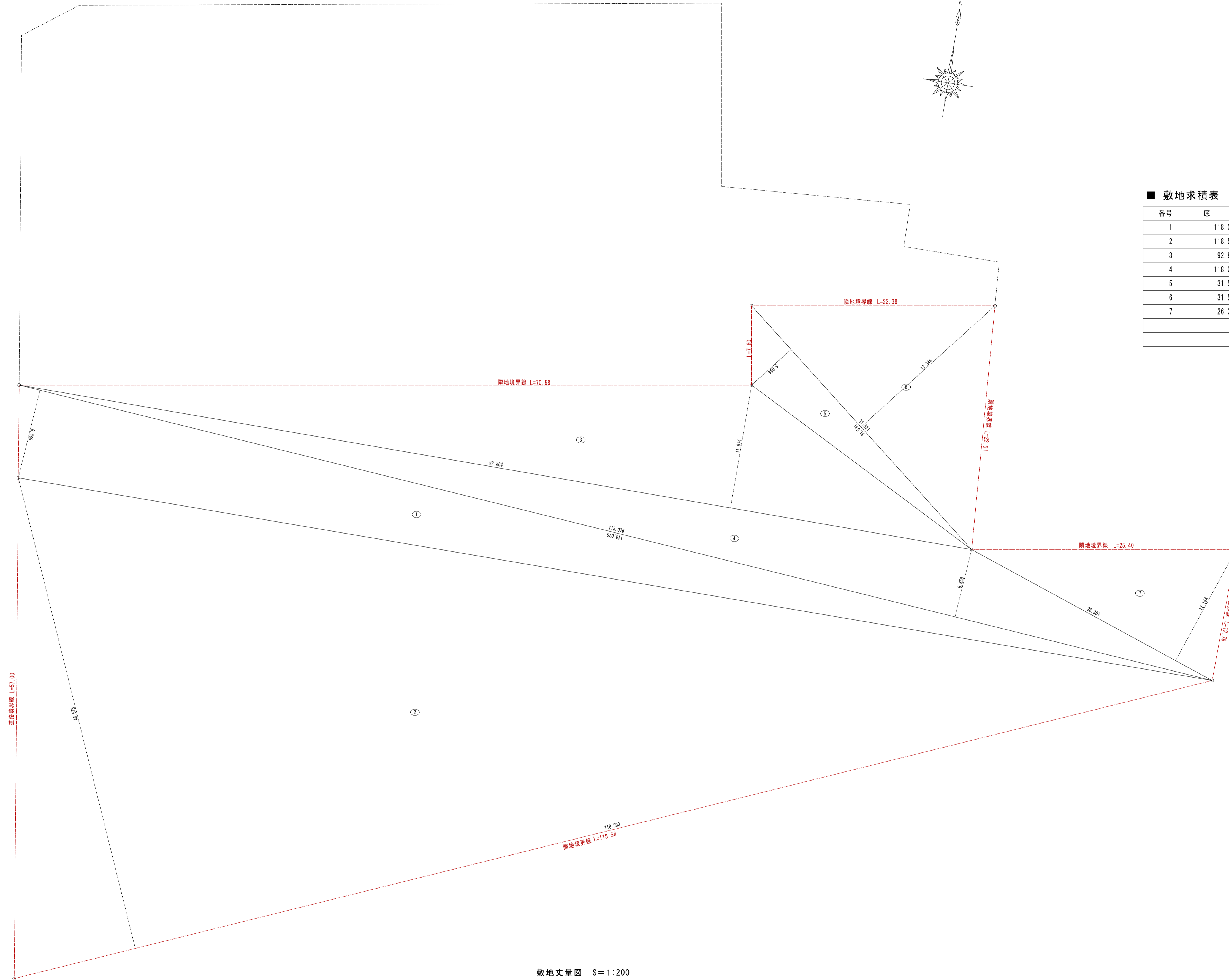
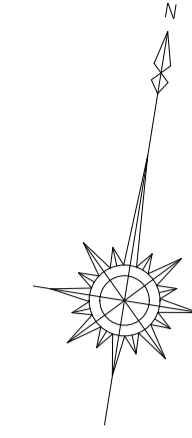
㊺ 収納他家具

排水工事	① 屋外雨水排水	<p>材料 (表21.2.1.2) (表21.2.1.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>外圧管 (1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・環状ポリ塩化ビニル管</td> <td>・RF-VF [G] ・RS-VU [G] ・VP ・VU</td> <td></td> <td>・図示による</td> <td></td> </tr> </table> <p>基礎の厚さ及び種類 ○図示による  環状ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤  側溝の形状及び寸法 ・図示による  排水樹の種類 ○図示による  砂地業に用いる材料 ・シルト ・山砂 ○川砂 ・砕砂  砂利地業に用いる材料 ○再生クラッシュランG ・切込砂利又は切込砕石  ○現場打ちの場合のコンクリート材料  設計基準強度 ※18N/mm<sup>3</sup>  スランブ ※15cm又は18cm  ○現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295  ○現場打ちの場合の足掛け金物 ※(21.2.2(6)の)  材質 ○ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの  凍上抑制層に用いる材料 ・  (砂を用いる場合の粒度試験) ・行方 ○行わない</p>	材料	種類・記号	形状	呼び径	備考	・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・B形管	・図示による		・環状ポリ塩化ビニル管	・RF-VF [G] ・RS-VU [G] ・VP ・VU		・図示による																		
	材料	種類・記号	形状	呼び径	備考																													
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・B形管	・図示による																															
・環状ポリ塩化ビニル管	・RF-VF [G] ・RS-VU [G] ・VP ・VU		・図示による																															
2 鉄鉄製ふた	<p>(表21.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>鍵</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>鉄鉄製マンホールふた</td> <td>・水封形 ・簡易密閉形(パッキン式) ・密閉形(テーパーパッキン式) ・中ふた付き密閉形(テーパーパッキン式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-10用</td> <td>・有り ・無し</td> <td>左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による。</td> </tr> </table>	名称	種類	適用荷重	鍵	備考	鉄鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形(パッキン式) ・密閉形(テーパーパッキン式) ・中ふた付き密閉形(テーパーパッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-10用	・有り ・無し	左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による。																							
名称	種類	適用荷重	鍵	備考																														
鉄鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形(パッキン式) ・密閉形(テーパーパッキン式) ・中ふた付き密閉形(テーパーパッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-10用	・有り ・無し	左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による。																														
3 グレーチング	<p>(表21.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>蓋枠めつき(付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>○鋼製</td> <td>○取付付き、ボルト固定 ・ ・ ・</td> <td>○溝ふた(横断用) ・ ○溝ふた(側溝用) ○取付付き ○U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ○T-6用 ○T-14用 ○T-25用</td> <td>・細目 ○普通目 ○細目</td> <td>・( ) ・( ) ・( )</td> <td>・凹凸形 ・ ・平形 ・</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>・受付付き、ボルト固定 ・ ・</td> <td>・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・凹凸形 ・ ・平形 ・</td> </tr> </table> <p>(品質・性能、試験方法は別表による)  街きよ、縁石、側溝 (表21.3.1.2) (表21.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>○縁石</td> <td>○図示による</td> </tr> <tr> <td>・L形側溝</td> <td>○図示による</td> </tr> <tr> <td>○U形側溝</td> <td>○図示による</td> </tr> <tr> <td>○U形側溝ふた</td> <td>○図示による</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○図示による</td> </tr> </table> <p>砂地業に用いる材料 ・シルト ・山砂 ○川砂 ・砕砂  砂利地業に用いる材料 ○再生クラッシュランG ・切込砂利又は切込砕石  砂利地業の厚さ ※100 (mm) ○図示による  ○現場打ちの場合のコンクリート材料  設計基準強度 ※18N/mm<sup>3</sup>  スランブ ※15cm又は18cm  現場打ちの場合の鉄筋種類の記号 ※SD295  凍上抑制層に用いる材料  (砂を用いる場合の粒度試験) ・行方 ○行わない  ※B種 (表21.2.1)</p>	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	蓋枠めつき(付着量)	上面形状	○鋼製	○取付付き、ボルト固定 ・ ・ ・	○溝ふた(横断用) ・ ○溝ふた(側溝用) ○取付付き ○U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ○T-6用 ○T-14用 ○T-25用	・細目 ○普通目 ○細目	・( ) ・( ) ・( )	・凹凸形 ・ ・平形 ・	・ステンレス製	・受付付き、ボルト固定 ・ ・	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	—	—	・凹凸形 ・ ・平形 ・	種類	形状、寸法	○縁石	○図示による	・L形側溝	○図示による	○U形側溝	○図示による	○U形側溝ふた	○図示による	○	○図示による
材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	蓋枠めつき(付着量)	上面形状																												
○鋼製	○取付付き、ボルト固定 ・ ・ ・	○溝ふた(横断用) ・ ○溝ふた(側溝用) ○取付付き ○U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ○T-6用 ○T-14用 ○T-25用	・細目 ○普通目 ○細目	・( ) ・( ) ・( )	・凹凸形 ・ ・平形 ・																												
・ステンレス製	・受付付き、ボルト固定 ・ ・	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	—	—	・凹凸形 ・ ・平形 ・																												
種類	形状、寸法																																	
○縁石	○図示による																																	
・L形側溝	○図示による																																	
○U形側溝	○図示による																																	
○U形側溝ふた	○図示による																																	
○	○図示による																																	
4 街きよ、縁石及び側溝																																		
5 埋戻し土																																		
舗装工事	① 路床	<p>路床の材料 (表22.2.2.3、5) (表22.2.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>○路土</td> <td>・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土G</td> <td>○図示による</td> </tr> <tr> <td>○凍上抑制層</td> <td>○再生クラッシュランG ・クラッシュラン ・切込砂利 ・砂(表21.2.2)による</td> <td>○図示による</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>※砂(表22.2.3(3))による</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)  ・行方 ○行わない</p> <p>・路床安定処理  安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法  路床安定化処理用添加材料  種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種  ・フライアッシュセメントB種  添加量 ・ kg/mm<sup>3</sup> (CBR 3以上 )  ・ジオテキスタイル  単位面積質量 ・ 60g/m<sup>2</sup>以上  厚さ(mm) ・ 0.5~1.0  引張強さ ・ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上  透水係数 ・ 1.5×10<sup>-1</sup>cm/sec以上</p> <p>試験  砂の粒度試験 ○行方 ○行わない  路床土の支持力比(CBR)試験 ○行方 ○行わない  現場CBR試験 ○行方 ○行わない  路床締固め度の試験 ○行方 ○行わない</p> <p>② 路盤  路盤の厚さ ○図示による (表22.3.1) (表22.3.1)  路盤材料(表22.3.1)による種別  ・クラッシュラン  ・粒度調整砕石  ○再生クラッシュランG  ・再生粒度調整砕石G  ・クラッシュラン鉄鋼スラグG  ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグG  ※図示による (表22.4.2~6) (表22.4.4)</p> <p>材料及び種類  アスファルト ○再生アスファルトG ○60~80 ・80~100  骨材 ・道路用砕石  ・ストレートアスファルト  ・アスファルトコンクリート再生骨材G</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類  ○細粒度アスファルト混合物(13)  ○細粒度アスファルト混合物(13)  ・密粒度アスファルト混合物(13F)  舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを発生しない程度  試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行方 ○行わない</p>	種類	材料	厚さ(mm)	○路土	・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土G	○図示による	○凍上抑制層	○再生クラッシュランG ・クラッシュラン ・切込砂利 ・砂(表21.2.2)による	○図示による	・フィルター層	※砂(表22.2.3(3))による	・図示による																				
	種類	材料	厚さ(mm)																															
○路土	・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土G	○図示による																																
○凍上抑制層	○再生クラッシュランG ・クラッシュラン ・切込砂利 ・砂(表21.2.2)による	○図示による																																
・フィルター層	※砂(表22.2.3(3))による	・図示による																																
③ アスファルト舗装																																		

解体一般事項	① 発生材の処理	<p>特別管理産業廃棄物 (表1.3.10)</p> <table border="1"> <tr> <th>発生材の種類</th> <th>処理方法</th> </tr> <tr> <td>○焼石焼等</td> <td>○埋立処分(安定型最終処分場)</td> </tr> <tr> <td>・PCB含有物</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PCB含有シーリング材</td> <td></td> </tr> </table> <p>・現場において再利用を図るもの( ) (表1.3.10)  ・引渡しを要するもの( ) (表1.3.10)  ・再資源化を図るもの ※工事補足説明事項による(表1.3.10)  ・その他発生材 ※工事補足説明事項による(表1.3.10)  ・石綿含有成形板 ※工事補足説明事項による(表1.3.10)  解体共通仕様書によるほか、下記による。(表1.3.6)  施工前に、当該作業に係る地中埋設物等について事前調査を行う。既設構造物の位置及び既設埋設物等の経路等が不明な場合は、試験掘り方法等を監督職員と協議する。</p>	発生材の種類	処理方法	○焼石焼等	○埋立処分(安定型最終処分場)	・PCB含有物		・PCB含有シーリング材																																																				
	発生材の種類	処理方法																																																											
○焼石焼等	○埋立処分(安定型最終処分場)																																																												
・PCB含有物																																																													
・PCB含有シーリング材																																																													
② 地中埋設物等																																																													
解体施工	① 事前措置	○行方 ○行わない (表3.2.1)																																																											
	2 杭の解体	杭の解体 (表3.9.2) 杭の解体工法 ・行方 ○行わない 杭の解体方法 ・引抜き工法 ・破砕による解体																																																											
③ さく、照明設備等の付属物	さく、照明設備等の付属物の解体 (表3.10.1) ○行方 範囲 ※図示																																																												
④ 樹木等	樹木の伐採及び移植 (表3.11.1) ○行方 範囲 ※図示																																																												
⑤ 地下埋設物埋設配管	雨水ます、雨水配管 (表3.12.1) 地下埋設物及び埋設配管の解体 ○行方 範囲 ※図示																																																												
⑥ 解体後の整地	解体後の埋戻し及び盛土 (表3.13.1) ○行方 範囲 ※図示 整地高さ ・現状GL ○図示 埋戻し及び盛土の材料 ・山砂の類 ○他現場の建設発生土の中の良質土 ・再生コンクリート砂 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。 表層仕上げ ○砂利敷き(※B種 ) 範囲 ※図示 ・行かない																																																												
建設廃棄物の処理	① 発生材の処理等	<p>・現場において再利用を図るもの( ) (表4.4.1)  再生資源化を図るもの ※工事補足説明事項による(表4.4.1)  その他発生材 ※工事補足説明事項による(表4.4.3)  ・適用する (表4.4.2)</p>																																																											
	2 産業廃棄物広域認定制度																																																												
特別管理産業廃棄物の処分等	① 特別管理産業廃棄物の処分等	<p>特別管理産業廃棄物 (表5.4.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>処理方法</th> </tr> <tr> <td>○焼石焼等</td> <td>○埋立処分(安定型最終処分場)</td> </tr> <tr> <td>・PCBを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PCB含有シーリング材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・廃酸・廃アルカリ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ダイオキシン類</td> <td></td> </tr> </table> <p>ダイオキシン類の解体方法( )  微量PCBの分析調査 (表5.4.1)  PCB含有シーリングの分析調査 (表5.4.1)  ダイオキシン類のサンプリング調査 (表5.4.1)</p>	種類	処理方法	○焼石焼等	○埋立処分(安定型最終処分場)	・PCBを含む機器類		・PCB含有シーリング材		・廃油		・廃酸・廃アルカリ		・ダイオキシン類																																														
	種類	処理方法																																																											
○焼石焼等	○埋立処分(安定型最終処分場)																																																												
・PCBを含む機器類																																																													
・PCB含有シーリング材																																																													
・廃油																																																													
・廃酸・廃アルカリ																																																													
・ダイオキシン類																																																													
② 共通事項	<p>施工調査  ※石綿含有建材の有無  目視、設計図書等により製品名、製造所名、製造年等の確認  ・分析による建材中の石綿含有の調査 (表1.4.1)</p> <p>分析方法  ※JIS A1481「建材製品中の石綿含有率測定方法」による。  ・  分析結果については、監督職員に報告すること。</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・(試料数: )</td> <td>・(試料数: )</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・(試料数: )</td> <td>・(試料数: )</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・(試料数: )</td> <td>・(試料数: )</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・(試料数: )</td> <td>・(試料数: )</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・(試料数: )</td> <td>・(試料数: )</td> </tr> </table> <p>採取箇所は図示  石綿粉じん濃度測定 (表6.1.3)  ・行方</p> <table border="1"> <tr> <th>測定室( )</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点(各施工箇所ごと)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">測定1</td> <td rowspan="3">処理作業前</td> <td rowspan="3">処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計点</td> <td>(注)1</td> </tr> <tr> <td>調査対象外部の付近</td> <td>・計点</td> <td>大気</td> </tr> <tr> <td>処理作業室内</td> <td>・計点</td> <td>(注)1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">測定4</td> <td rowspan="2">処理作業中</td> <td rowspan="2">処理作業中</td> <td>負圧・除じん装置の排出吹出し口</td> <td>・計点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>処理作業室外</td> <td>・計点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td>処理作業後(シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>処理作業後シート除去後</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計点</td> <td>(注)1</td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>1週間以降</td> <td>調査対象外部の付近</td> <td>・計点</td> <td>大気</td> </tr> </table> <p>(注)1. 各施工箇所ごとの作業面積が50m<sup>2</sup>以下または2点、300m<sup>2</sup>以下または3点、1000m<sup>2</sup>以下または4点、1000m<sup>2</sup>を超えるものは5点とする。</p>	材料名	定性分析	定量分析	・	・(試料数: )	・(試料数: )	・	・(試料数: )	・(試料数: )	・	・(試料数: )	・(試料数: )	・	・(試料数: )	・(試料数: )	・	・(試料数: )	・(試料数: )	測定室( )	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考	測定1	処理作業前	処理作業前	処理作業室内	・計点	(注)1	調査対象外部の付近	・計点	大気	処理作業室内	・計点	(注)1	測定4	処理作業中	処理作業中	負圧・除じん装置の排出吹出し口	・計点	—	処理作業室外	・計点	—	測定6	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	・計点	—	測定7	処理作業後シート除去後	処理作業室内	・計点	(注)1	測定8	1週間以降	調査対象外部の付近	・計点	大気
材料名	定性分析	定量分析																																																											
・	・(試料数: )	・(試料数: )																																																											
・	・(試料数: )	・(試料数: )																																																											
・	・(試料数: )	・(試料数: )																																																											
・	・(試料数: )	・(試料数: )																																																											
・	・(試料数: )	・(試料数: )																																																											
測定室( )	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考																																																								
測定1	処理作業前	処理作業前	処理作業室内	・計点	(注)1																																																								
			調査対象外部の付近	・計点	大気																																																								
			処理作業室内	・計点	(注)1																																																								
測定4	処理作業中	処理作業中	負圧・除じん装置の排出吹出し口	・計点	—																																																								
			処理作業室外	・計点	—																																																								
測定6	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	・計点	—																																																									
測定7	処理作業後シート除去後	処理作業室内	・計点	(注)1																																																									
測定8	1週間以降	調査対象外部の付近	・計点	大気																																																									
石綿含有建材の除去等	① 共通事項																																																												
	② 石綿含有建材の除去等																																																												

特殊な建設副産物の処理	① 共通事項	<p>分析調査  ・行方 ○行わない (表7.1.3)  ※電気設備工事用・機械設備工事用による。(表7.3.1)</p>																																																																								
	② 特殊な建設副産物の回収及び処分																																																																									
石綿粉じん濃度測定方法	項目	名称	測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定5																																																																					
	計数機器	位相差顕微鏡																																																																								
メンプレフィメータの直径		25mm		47mm																																																																						
試料の吸引流速	1 l/min	5 l/min	10 l/min																																																																							
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min																																																																							
試料の透明化	アセトントリアセチル法又は、シュウ酸ジエチル法																																																																									
計数条件	総石綿繊維数 200本又は視野数50視野																																																																									
計数石綿	直径3µm未満、長さ5µm以上、長さと直径比3:1以上																																																																									
定量限界	50 f/l	0.5 f/l		0.3 f/l																																																																						
官公署その他への手続き	<p>一般建設工事の手続きのほか、所管労働基準監督署への手続き及び都道府県知事又は市長が定めている届出書類等の必要な手続きを行う。  安全衛生管理  洗浄設備  (1) 洗機、うがいの設備を設ける。  (2) 更衣設備等を設ける。  処理を行う石綿含有吹付け材の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>処理工法 (表6.3.2)  除去処理 ※6.3.2(1)(ア)~(エ)による (表6.3.2)  ・行方 ○行わない (表6.3.3)  ※処分地は工事補足説明事項による  除去を行う石綿含有吹付け材等の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>除去を行う範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 原形のままばらし除去 (表6.4.1.2)  ・手ばらし以外 (表6.4.3)  除去した石綿含有建材の処分等  ※ 処分地は工事補足説明事項による  除去を行う石綿含有成形板の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>除去を行う範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>除去した石綿含有成形板の処分  ※ 処分地は工事補足説明事項による (表6.5.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>場所</th> <th>接点名</th> <th>含有の有無</th> </tr> <tr> <td>会館 外壁(内部)</td> <td>吹付断熱材</td> <td>・有 ※ 無</td> </tr> <tr> <td>会館 和室壁</td> <td>じゅらく塗壁</td> <td>※有 ・ 無</td> </tr> <tr> <td>会館 和室天井</td> <td>石膏ボード(木目)</td> <td>・有 ※ 無</td> </tr> <tr> <td>会館 廊下壁</td> <td>石膏ボード</td> <td>・有 ※ 無</td> </tr> <tr> <td>会館 廊下天井</td> <td>化粧石膏ボード</td> <td>・有 ※ 無</td> </tr> <tr> <td>会館 外壁</td> <td>リシン吹付</td> <td>・有 ※ 無</td> </tr> <tr> <td>講堂 壁</td> <td>しゅくい塗</td> <td>・有 ※ 無</td> </tr> <tr> <td>講堂 和室壁</td> <td>じゅらく塗壁</td> <td>・有 ※ 無</td> </tr> <tr> <td>講堂 和室天井</td> <td>石膏ボード(木目)</td> <td>・有 ※ 無</td> </tr> <tr> <td>講堂 外壁</td> <td>リシン吹付</td> <td>・有 ※ 無</td> </tr> </table>					材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲			※図示							材料名	厚さ(mm)	除去を行う範囲			※図示							材料名	厚さ(mm)	除去を行う範囲			※図示							場所	接点名	含有の有無	会館 外壁(内部)	吹付断熱材	・有 ※ 無	会館 和室壁	じゅらく塗壁	※有 ・ 無	会館 和室天井	石膏ボード(木目)	・有 ※ 無	会館 廊下壁	石膏ボード	・有 ※ 無	会館 廊下天井	化粧石膏ボード	・有 ※ 無	会館 外壁	リシン吹付	・有 ※ 無	講堂 壁	しゅくい塗	・有 ※ 無	講堂 和室壁	じゅらく塗壁	・有 ※ 無	講堂 和室天井	石膏ボード(木目)	・有 ※ 無	講堂 外壁	リシン吹付	・有 ※ 無
材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲																																																																								
		※図示																																																																								
材料名	厚さ(mm)	除去を行う範囲																																																																								
		※図示																																																																								
材料名	厚さ(mm)	除去を行う範囲																																																																								
		※図示																																																																								
場所	接点名	含有の有無																																																																								
会館 外壁(内部)	吹付断熱材	・有 ※ 無																																																																								
会館 和室壁	じゅらく塗壁	※有 ・ 無																																																																								
会館 和室天井	石膏ボード(木目)	・有 ※ 無																																																																								
会館 廊下壁	石膏ボード	・有 ※ 無																																																																								
会館 廊下天井	化粧石膏ボード	・有 ※ 無																																																																								
会館 外壁	リシン吹付	・有 ※ 無																																																																								
講堂 壁	しゅくい塗	・有 ※ 無																																																																								
講堂 和室壁	じゅらく塗壁	・有 ※ 無																																																																								
講堂 和室天井	石膏ボード(木目)	・有 ※ 無																																																																								
講堂 外壁	リシン吹付	・有 ※ 無																																																																								
設計者	神田まちづくりセンター改築工事(建築)	図面名称	SCALE	DATE	SIGN	SHEET No.																																																																				
一級建築士事務所	株式会社 ヌスザワ設計	特記仕様書 6	A1 (A3)	令和5年6月		A																																																																				
登録 第169646号	一級建築士事務所 登録 第314702号		(-)			06																																																																				

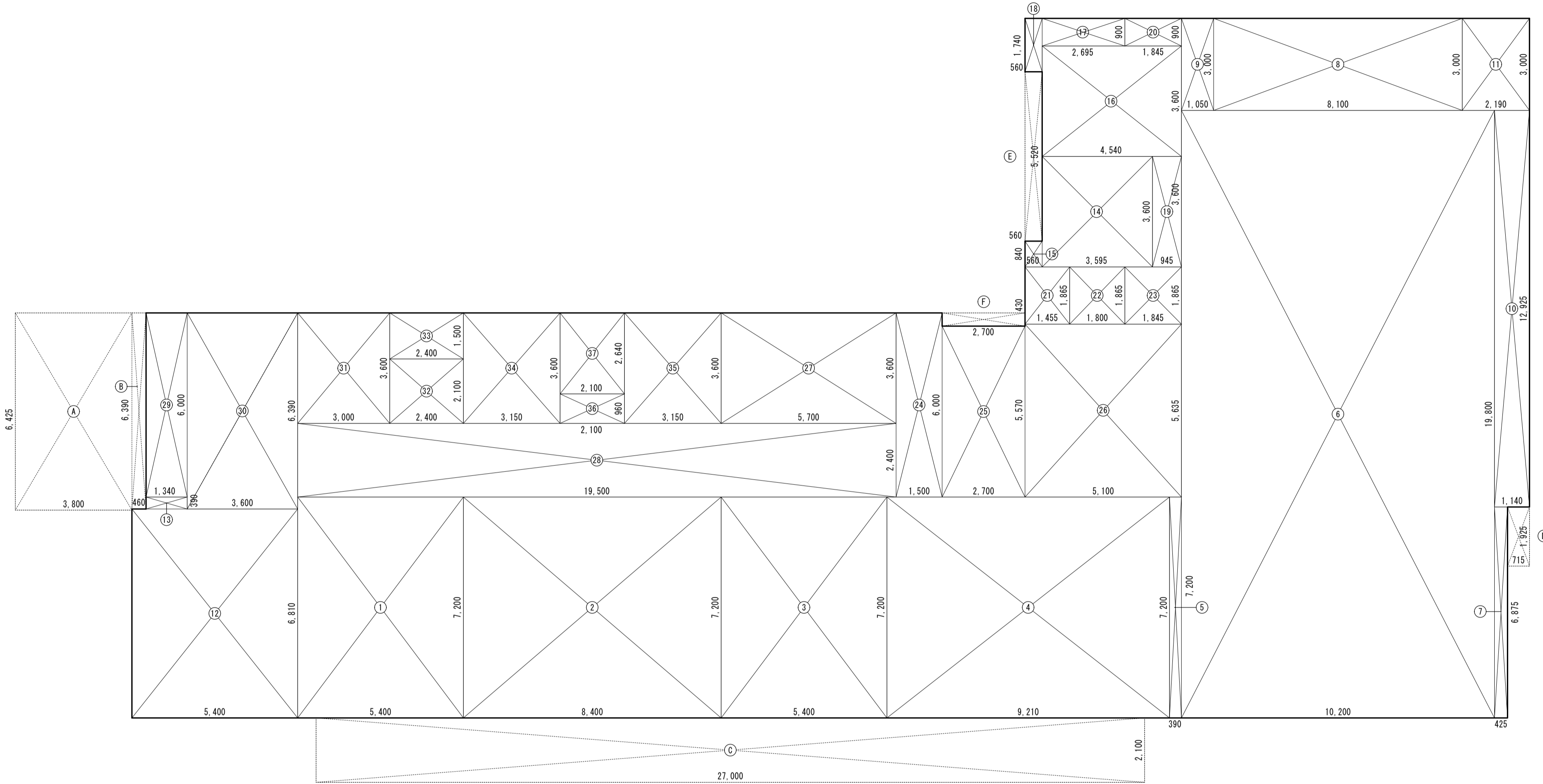




■ 敷地求積表

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	118.076	8.666	1,023.246616	511.6233080
2	118.593	46.575	5,523.468975	2,761.7344875
3	92.864	11.974	1,111.953536	555.9767680
4	118.076	6.658	786.150008	393.0750040
5	31.531	5.094	160.618914	80.3094570
6	31.531	17.346	546.936726	273.4683630
7	26.307	12.144	319.472208	159.7361040
合計				4,735.9234915
敷地面積				4,735.92 m <sup>2</sup>

敷地丈量図 S=1:200



建物求積図 S=1:100

■ 床面積表

1階床面積					
室名	符号	算定	算定値 (㎡)	室面積 (㎡)	備考
会議室1	①	5.400 × 7.200	38.880	38.88	
会議室2	②	8.400 × 7.200	60.480	60.48	
多目的ルーム	③	5.400 × 7.200	38.880	38.88	
調理実習室	④	9.210 × 7.200	66.312	66.31	
多目的ホール	⑤	0.390 × 7.200	2.808		
	⑥	10.200 × 19.800	201.960		
	⑦	0.425 × 6.875	2.922	207.69	
ステージ	⑧	8.100 × 3.000	24.300		
	⑨	1.050 × 3.000	3.150	27.45	
倉庫⑩	⑩	1.140 × 12.925	14.735	14.74	
倉庫⑪	⑪	2.190 × 3.000	6.570	6.57	
事務室	⑫	5.400 × 6.810	36.774		
	⑬	1.340 × 0.390	0.523	37.30	
和室⑭	⑭	3.595 × 3.600	12.942		
	⑮	0.560 × 0.840	0.470	13.41	
和室⑯	⑯	4.540 × 3.600	16.344	16.34	
床の間・書院	⑰	2.695 × 0.900	2.426		
	⑱	0.560 × 1.740	0.974	3.40	
押入⑲	⑲	0.945 × 3.600	3.402	3.40	
押入⑳	⑳	1.845 × 0.900	1.661	1.66	
物入	㉑	1.455 × 1.865	2.714	2.71	
廊下・ホール	㉒	1.800 × 1.865	3.357	3.36	
給湯室⑳	㉓	1.845 × 1.865	3.441	3.44	
フリースペース	㉔	1.500 × 6.000	9.000		
	㉕	2.700 × 5.570	15.039		
	㉖	5.100 × 5.635	28.738	52.78	
パーソナルルーム	㉗	5.700 × 3.600	20.520	20.52	
廊下	㉘	19.500 × 2.400	46.800	46.80	
玄関・ホール・下足室	㉙	1.340 × 6.000	8.040		
	㉚	3.600 × 6.390	23.004	31.04	
倉庫㉛	㉛	3.000 × 3.600	10.800	10.80	
給湯室㉜	㉜	2.400 × 2.100	5.040	5.04	
授乳室	㉝	2.400 × 1.500	3.600	3.60	
女子トイレ	㉞	3.150 × 3.600	11.340	11.34	
男子トイレ	㉟	3.150 × 3.600	11.340	11.34	
通路	㊱	2.100 × 0.960	2.016	2.02	
多目的トイレ	㊲	2.100 × 2.640	5.544	5.54	
延べ床面積				746.85	

■ 建築面積表

部位	符号	算定	算定値 (㎡)	面積 (㎡)	備考
ポーチ	Ⓐ	3.800 × 6.425	24.415		
	Ⓑ	0.460 × 6.390	2.936	27.36	
テラス	Ⓒ	27.000 × 2.100	56.700	56.70	
軒下	Ⓓ	0.715 × 1.925	1.376	1.38	
軒下	Ⓔ	0.560 × 5.520	3.091	3.09	
軒下	Ⓕ	2.700 × 0.430	1.161	1.16	
1階床面積				746.85	
建築面積				836.54	

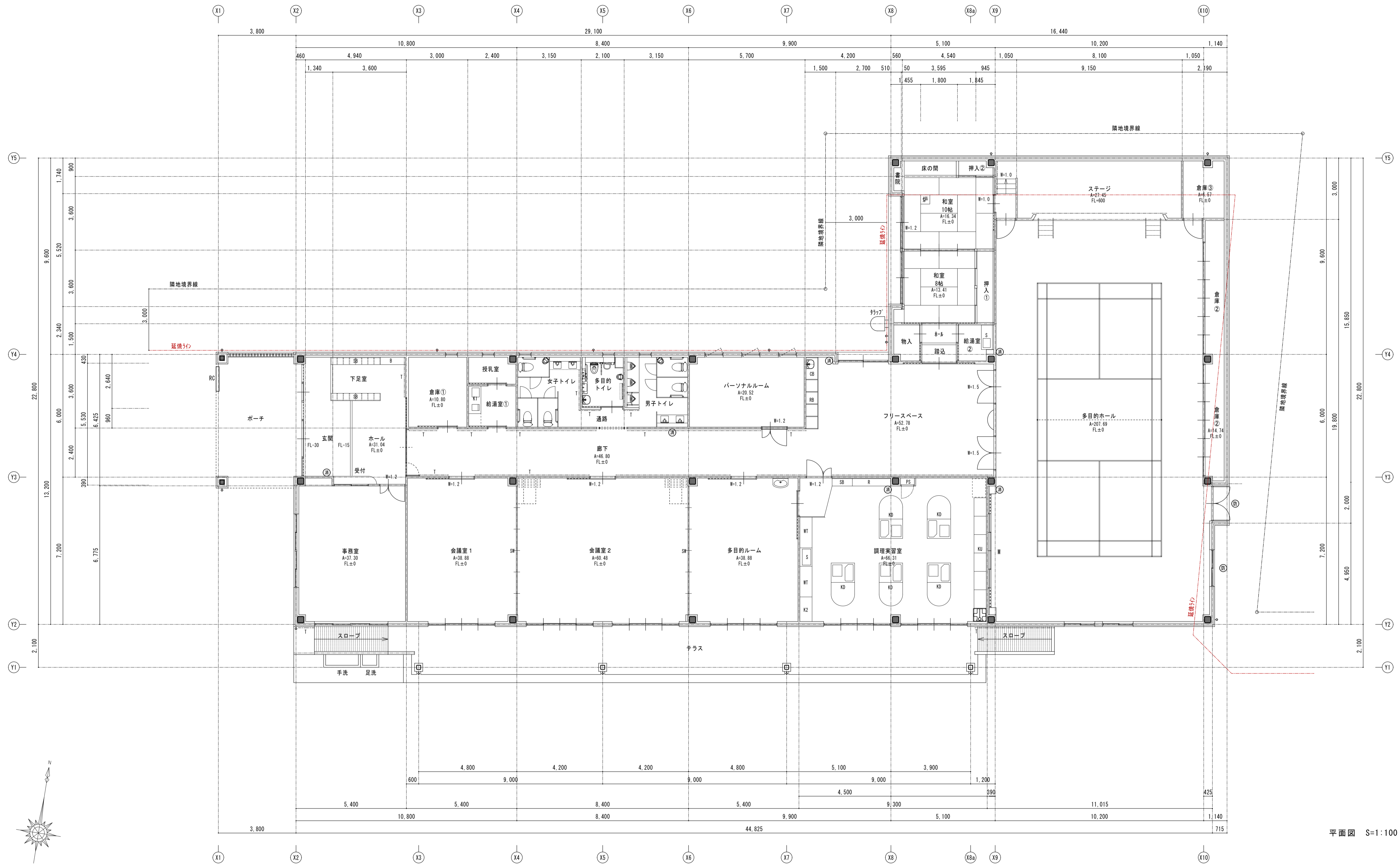
# ■ 仕上表（特記仕様書）

<b>■ 共通事項</b>		下記事項は共通とし、図中に表示がなくとも適用する。 ただし、これと異なる表示がある場合を除く。																								
1. 床の高さ区分は、平面図、平面詳細図による 2. 377の高さは、下地ｺﾝｸﾘｰﾄのFtからの高さを表す。構造図記載377とFtとの差は打増しｺﾝｸﾘｰﾄにて対応する 3. 屋外の床高さは配管図・外構図による 4. 仕上げ表内記載の仕上げは、その室の代表仕上げであり、異なる床の仕上げおよび壁の仕上げ区分は、平面図・平面詳細図・展開図による 5. 壁の種類は平面図・平面詳細図による 6. ドレンおよび整地の位置および径は、平面図・屋根伏図・立面図による 7. 外壁の化粧目地・伸縮調整目地割付は、立面図による 8. 構造ｽﾄｯﾄﾞ位置は、構造図による 9. 告示771号・特定天井および耐震天井の仕様は本仕上げによる 10. 土間下防湿・断熱は、砂利 (RC-40) + 砂敷130 + 8'125ｸﾞﾗｽﾞ 10.15 + 断熱材 押出法ﾀﾞｲｽｸﾌｫｰﾑ(2種b) t50とする 11. 屋外において異なる材料の取合部分およびｼﾞｮｲﾝﾄ部分には、全てｼｰﾘﾝｸﾞ（仕様書による）を充填する 12. 内装軽量鉄骨天井下地および壁下地の脱落防止および耐震安全性	35. 特記なき限り天井点検口は、岩綿吸音板は全て目地ﾀﾞｯｸとする。その他は一般782種とする 36. シックハウス対策 ・ クロロピリホスを添加した建材は使用不可とする。 ・ ホルムアルデヒドを発生する建材・塗材等（接着剤含）は全てF☆☆☆☆とする。 37. 異種材料が同一平面で仕上がる場合には伸縮調整目地を設ける。（壁・石膏ｶﾞｰﾄﾞ線と左官面等） 上記目地は特記なき場合でも、床はステンレス製目地棒（金属工事）とし、壁・天井は塩ビ製目地棒を使用するものとする 38. 天井高さ2700以下の場合、壁面の石膏ｶﾞｰﾄﾞは3×8または、3×9板のものを使用し、水平ｼﾞｮｲﾝﾄは設けない 天井高さ2700を超える場合、水平ｼﾞｮｲﾝﾄ位置・仕様を監督員と協議の上決定とする 39. 内部仕上表面の内装制限欄に記載ある性能以上の仕上材にて施工のこと 40. 377の高さと仕上厚との差は、増打ちｺﾝｸﾘｰﾄとする 41. 室名の前に (VOC24) × ( ) 箇所印がついている室は、室内空気中の化学物質の濃度測定（24時間）及び確認を所定の箇所数行う 42. 室名の前に (VOC 8) × ( ) 箇所印がついている室は、室内空気中の化学物質の濃度測定（8時間）及び確認を所定の箇所数行う 44. 特記なき場合の床・合金素材配合敷布型耐久床仕上材部分は、R0部にﾀﾞｯｸ目地切りﾀﾞｯｸ充填 83.0mでﾀﾞｲｽｸ共を設置すること。																									
<b>【天井仕様の分類】</b> A) 天井：標準仕様書に規定する仕様とし、JIS規格品を使用するもの B) 耐震天井：下記特定天井以外でも、図中に指定する天井で、告示771号に基づく仕様とするもの C) 特定天井：告示771号に基づく天井仕様とするもの <b>【A】天井仕様の注意事項</b> ・ 天井ふところ3,000を超える場合は、図中による仕様又は鉄骨造ぶどう棚等により天井を吊る ・ 天井内に設置する設備機器および配管・配線等と天井下地材との大地震時の干渉（衝突）を無くす ・ 天井下地が設備機器等の影響で、所定のﾄﾞﾗｯｸに吊る事が出来ない場合は監督員の指示による <b>【B】耐震天井</b> ・ 設計に用いる水平震度は、平成25年国土交通省告示771号第3項第9号に規定される水平震度を用いる 地上階の階数 6 階 (一) 0.3(2N+1)= 3.3 を超えない階数に1を加えた階から最上階 4 階から上 (二) 中間階：(一)又は(三)以外の階 2 階 ～ 3 階 (三) 下階階：0.1(2N+1)= 1.21 を超えない階数 1 階 ～ 1 階 階ごとの水平震度 $r = \min((1+0.125(N-1))/1.5 = 1, 1.0)$ <table border="1"> <tr> <td>(一)</td> <td>2.2r</td> <td>⇒</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>(二)</td> <td>1.3r</td> <td>⇒</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>(三)</td> <td>0.5r</td> <td>⇒</td> <td>0.5</td> </tr> </table> ・ B) 耐震天井の適用 ・ 換気箇所 ・ 有り ※ 無し <table border="1"> <tr> <th>換気箇所名</th> <th>設計用水平震度</th> <th>換気設計ルート</th> </tr> <tr> <td>・ 仕上げ表による</td> <td>K=告示771号に基づき設定</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>K=</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>K=</td> <td>・</td> </tr> </table> ※ 耐震天井の場所ごとに、上記水平震度設定に基づく仕様とする ※ 天井下地等の変更は計画変更申請が必要とされるので、設計者への確認を行うこと (天井下地の材料変更、天井に配慮した設備機器のﾄﾞﾗｯｸや数量、仕様等)		(一)	2.2r	⇒	2.2	(二)	1.3r	⇒	1.3	(三)	0.5r	⇒	0.5	換気箇所名	設計用水平震度	換気設計ルート	・ 仕上げ表による	K=告示771号に基づき設定	・	・	K=	・	・	K=	・	
(一)	2.2r	⇒	2.2																							
(二)	1.3r	⇒	1.3																							
(三)	0.5r	⇒	0.5																							
換気箇所名	設計用水平震度	換気設計ルート																								
・ 仕上げ表による	K=告示771号に基づき設定	・																								
・	K=	・																								
・	K=	・																								
<b>【軽鉄壁下地の仕様】</b> 使用材料 ※ JIS規格品 ・ 無指定 ・ 間仕切壁は原則5m以下の床版下と床版に架かる構造とし、標準仕様書に規定する仕様とする ※ 65型スタッド：高さ4.0m以下 ※ 90型スタッド：高さ4.0mを超え4.5m以下 ※ 100型スタッド：高さ4.5mを超え5.0m以下 ※ 5.0m以上の部分には、主要構造部と同等の下り壁等を設ける ・ 壁を貫通する設備配管等は、地震動時にも壁に加力を与えない構造とする ・ 主に小部屋等簡易に設置する間仕切りは、床版と天井下地に標準仕様書に規定する仕様とする ※ 当該間仕切り設置部分の天井下地は、補強のため鋼材を設置する ※ 設置範囲は平面図による ・ ライナー材とスタッドの取り付けは、標準仕様書および工事監理指針に規定する仕様とする 建築工事監理指針に規定する上部ライナーとスタッド天端の隙間は10mm以下とする																										
13. 構造スリット部分の仕上取合い（変形追従性） <b>【壁取り合い】</b> ・ 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ壁の構造ｽﾄｯﾄﾞが内装材の下地になる部分は内装仕様は下記による ※ 自立可能なRC壁 (W=構造図) を挟み、構造ｽﾄｯﾄﾞに直接接しが接しない仕様とする ・ 構造ｽﾄｯﾄﾞが建具枠に取り合う部分では、枠のﾌﾗｯｸを無くし、所定の性能確保に必要な補強補強を行う ・ 構造ｽﾄｯﾄﾞが建具枠に取り合う部分では、ﾜｯｸ自体の層間変位追従による対策とする																										
14. 特記なきｺﾝｸﾘｰﾄ打直しは、外壁増打 t15、内壁増打 t10とし、表面のﾌﾗｯｸおよびﾀﾞｯｸ補修を行う。また型枠架設金物はｺﾝｸﾞ状とし、既製ﾀﾞｯｸ系充填ｺﾝｸﾞを充填する																										
15. ｺﾝｸﾘｰﾄ化粧打直し又は塗装仕上面・壁紙張面の打直し部分見掛り出隅はﾄﾞｯｸ角とする 16. シーリング材の仕様は全て公共建築工事標準仕様書によること 17. 屋外の鋼製部分は特記なき限り溶融亜鉛メッキの上指定仕上げを行うものとする 18. 特記なき内部建具の容積以外で床仕上の変わる場合は、床見切 SUS-F6×20 (HL、ﾌﾗｯｸ付) を設けること 19. 異なる金属が取り合う部分で、電食の恐れのある場合は、防食処理を行う 20. CR等、亀裂の発生が予想される部分には、亀裂防止用ﾀﾞｲｸﾞﾙ等の捨て張りを行う 21. 壁面・天井面の塗装は特記なき限りﾛｰｰ仕上げとする。ただし、岩綿吸音板 (DR) に塗装を行う場合はｼｰｰ処理の上吹付塗装をする 22. 遮音壁及び耐火壁については、ﾎｰｰ標準仕様にて施工とし、認定書を添付すること 23. 遮音壁に設ける設備類の貫通処理は壁同等の所要性能を確保した処理を行うこと 24. 塗材・塗装下地のｶﾞｰﾄﾞ下地処理は、壁目処理工法とする 25. 塗材・塗装下地のｶﾞｰﾄﾞ張りで、入隅・出隅部はｼｰｰ処理を施すこと 26. 壁装材下地のｶﾞｰﾄﾞ張りで、入隅部及び縦枠取合部、見切縁取合部・出隅部は全て、見切材を設ける (入隅部：塩ビ製・出隅・縦枠 (FLからH2.1mまで)：782製・縦枠・見切縁：782製又は塩ビ製) 27. 化粧 (樹脂744) ｸﾞﾗｽﾞｶﾙ板は底目地張りとする。小口張り仕様、目地ﾀﾞｯｸ共、目地幅5mm程度 (引渡しまで養生ｼｰｰ張り) 28. 化粧 (樹脂744) ｸﾞﾗｽﾞｶﾙ板の出隅・入隅は全て782製同梱化粧材 (ﾎｰｰ標準品) を使用すること 出隅：G14形状、入隅：E形状 29. ｼｰｰﾀﾞｯｸ及びﾎｰｰﾀﾞｯｸ張等に使用する接着剤はﾀﾞｯｸ系とする。竣工引渡し時にﾌﾗｯｸ仕上げを必ず行うこと 30. 壁装材の程度は、塩ビ系壁装材 AA級程度、織物壁装材 D級程度とする 31. 特記なき限り巾木下地は壁下地と同材とする 32. 特記なき限り軽量鉄骨壁下地はW65とし、全て377下までとする 33. 天井下地は、軽量鉄骨天井下地とする 34. 特記なき限り天井見切縁は底目地ﾀﾞｯｸとする。目地幅8mm以下																										

<b>■ 凡例</b>		名称 (符号) 材質・規格・寸法など 参考メーカーなど	
塗装 AP アルミニウムペイント S0P 合成樹脂適合ペイント FE フタル酸樹脂エナメル塗り VE フタル酸樹脂エナメル MAD アクリル樹脂系非水分散塗材 AE アクリル樹脂エナメル A-BE アクリルエナメル (焼付) 2-UE 2液形ポリウレタン樹脂エナメル 2-ASE アクリルシリコン樹脂エナメル 2-FUE 常温乾燥形フッ素樹脂エナメル XE エポキシエステルエナメル (焼付) TXE タールエポキシ樹脂塗料 EP-G つや有り合成樹脂エマルジョンペイント EP 合成樹脂エマルジョンペイント CL クリアラッカー 1-UC 1液形ポリウレタンワニス 2-UC 2液形ポリウレタンワニス AC アクリル樹脂ワニス WX ワックス OS オイルステイン、アルコール溶性着色材 EP-M 多彩模様塗料 EP-T 合成樹脂エマルジョン模様塗料 WP 木材保護塗料 UV UVセラミック塗装 (減摩材入り) EP-AB 吹付水性有機能理模対応塗料 U-AB ウレタン樹脂焼付塗装 DP 耐候性塗料	材料仕上り下地 GB-F 強化石膏ボード GB-F (N) 強化石膏ボード (ガラス網入り) GB-N 不燃難燃石膏ボード GB-R-H 硬質せっこうボード FK けい酸カルシウム板 FK (化) 化粧けい酸カルシウム板 FK (FL) けい酸カルシウム板 (有孔) DR 岩綿吸音板 LGS 軽量鉄骨 RC 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ ALC 軽量気泡ｺﾝｸﾘｰﾄ CB ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾗｯｸ OA ｸﾞﾗｽﾞﾌﾗｯｸﾀﾞｯｸ床下地 W 木 PL ﾌﾟﾛｰﾄﾞ C.PL ｸﾞﾗｽﾞﾌﾟﾛｰﾄﾞ FB ｸﾞﾗｽﾞﾌﾗｯｸ HL ｸﾞﾗｽﾞ仕上げ BF 鏡面仕上げ JB ｼﾞｯｸﾞｰｰ仕上げ GW ｸﾞﾗｽﾞﾀﾞ 24K Mo ｴﾙｽﾞ F下 床断熱下地材 (洋室用) t50mm WB 不燃化粧板 t3mm A 782製鋼線 V 塩ビ製鋼線 NC 長尺ビニル床シート NC(防汚) 長尺ビニル床シート (防汚用) NC(トイレ) 長尺ビニル床シート (トイレ用) 鋼板 TGP タルカーベット VB ビニル巾木 CR カーテンレール B プラインド (ｺｺｰﾀﾞﾃﾞ) WB 木製集成材巾木	名称 (符号) 材質・規格・寸法など 参考メーカーなど 金属板横葺 フッ素樹脂塗装G L鋼板 t0.4mm 横葺 株式会社セキノ興産 S F Lｰｰｰ 3型 鹿巾 300mm エバーｰｰｰ横葺 2型 屋根 止め金具 ステンレス製 先付けタイプ 段重用 千鳥配置 #600~ 大和建材工業株式会社 ダイワハイボードダンネット 板t25mm 総t50mm 屋根30分耐火仕様 F P O 3 O R F - 1 B 2 5 窓兼系サイディング 窓兼系外壁材 t16mm 通気会員工法 ニチハ株式会社 モエンエクセラード16 プレミアム GB-F t15mm2重壁 外壁1時間耐火仕様 キャスティングウッド プレミアム しぶき プレミアム 軒天井ﾀﾞｲｸﾞ (ﾌﾗｯｸ) (ﾌﾗｯｸ) 化粧繊維混入けい酸カルシウム板 t12mm 神島化学工業株式会社 アルテザード 木目調軒天井ボード 機械式固定断熱工法 非歩行 t1.5mm 断熱 日新工業株式会社 遮熱仕様 MF-150M遮熱 公共建築仕様 S1-W2適合 断熱材 t30mm 断熱材 B Kボード 脱気筒設置 アルミ軒葺 カラーアルミ製既製品 W170~122.5 H105~80 井上商事株式会社 アルノキ 9号 吊り金具 メーカー品 #600以内 ドレン・吊金具等 メーカー付属品 アルミ整地 カラーアルミ製既製品 89.1φ 井上商事株式会社 アルトイ【丸型】 パンドレスタタイプ 指示金物 メーカー品 #1200以内 指示金物 高強度 メーカー付属品 アルミ製園椅子 木目調 50×100 #150 井上商事株式会社 スカイフット パーティションタイプ 超高温耐熱 内・外装用不燃シート パネル格子タイプ SHSN-5014+SHBM-50 防汚性床シート 免浴覆層ビニル床シート t2.5mm (凸部) 高耐久UV樹脂コーティング 東リ株式会社 東リNSリアルデザインNW タラップ ステンレス塔屋タラップ (安全ガード付) 取付金具 メーカー付属品 神栄ホームクリエイト株式会社 SK-3051GS 床断熱下地材 免浴プラスチック系断熱床下地材 t50mm 三昌ホームテック株式会社 ネダフォーム 和室用50 洋室用 LDK50 スポーツ用弾性塩ビシート 屋内スポーツ用長尺弾性塩ビシート t9.2mm クリヤマジャパン株式会社 タラフレックス パトミントンコートライン引き モルタル直貼りタイプ トップライト 垂直開閉式トップライト オペレーター装置 メーカー標準品 ライトスモークハッチ パラレルFP タルカーベット t6.5mm 500mm×500mm 紙炭素、防炎、静電 東リ株式会社 GA-100W 床ビニルシート (一般) 覆層ビニル床シート FS t2.0mm 東リ株式会社 マチュアNW 床ビニルシート (化) 覆層ビニル床シート FS t2.0mm 東リ株式会社 消臭NSトワレNW 鋼製床下地 鋼製床下地 (一般体育館) H600mm 三洋工業株式会社 金属製床下地 スリーベース301 一般体育館 標準&高床タイプ 格子フェンス (外構) 格子フェンス H=1.8 RC基礎共 朝日スチール工業株式会社 UNフェンス 防護フェンス (屋根) 垂釣引きネットフェンス H=0.9 取付金物 垂釣メッキ FB-4.5×100 加工品 朝日スチール工業株式会社 PCフェンス 縦格子フェンス (屋根) 木調782格子ﾌﾗｯｸ H=1.2 格子35×50 #100 取付金物 垂釣メッキ FB-4.5×100 加工品 三協立山株式会社 フレザインNS型 階段用床材 免浴覆層ビニル床シート t2.5mm (凸部) 高耐久UV樹脂コーティング 東リ株式会社 東リNSステップ800 不燃化粧板 メラミン不燃化粧板 t3mm アイカ工業株式会社 セラール 不燃化粧シート 不燃化粧シート スリーエムジャパン株式会社 3M ダイノックシート 壁壁システム 不燃壁壁システム H900 巾木 H60、見切 H40、覆板 t6mm アイカ工業株式会社 不燃壁壁システム マーレス	
<b>■ 内装制限</b>		内装制限視図 記号 内装制限 内装制限視図 不(下) 不燃材 (下地共) 告示 第129条 第1項、第2項、第3項、第4項、第5項、第6項 告示 第1436号 四-二- (一) 告示 第1436号 四-二- (二) 不 不燃材 告示 第1436号 四-二- (三) 告示 第1436号 四-二- (四) 告示 第1436号 四-ホ 準不(下) 準不燃材 (下地共) 告示 第112条 第4項、第9項 告示 第120条 第2項 告示 第123条 第1項 2号 告示 第123条 第3項 3号 告示 第129条の13の3 第3項 5号 準不 準不燃材 告示 第112条 第4項、第9項 告示 第120条 第2項 告示 第123条 第1項 2号 告示 第123条 第3項 3号 告示 第129条の13の3 第3項 5号 難燃 難燃材 告示 第112条 第4項、第9項 告示 第120条 第2項 告示 第123条 第1項 2号 告示 第123条 第3項 3号 告示 第129条の13の3 第3項 5号	
<b>■ 耐火・不燃材料等一覧表</b>		部位 使用材料 告示番号・認定番号 性能 鉄骨柱 (防火区画取合) 鉄骨柱 + ｸﾞﾗｯｸ吹付 t25 FP060CN-9460 1時間耐火 鉄骨柱 (その他) 鉄骨柱 告示 不燃 鉄骨梁 (防火区画取合) 鉄骨梁 + ｸﾞﾗｯｸ吹付 t25 FP060BN-9408 1時間耐火 鉄骨梁 (その他) 鉄骨梁 告示 不燃 建 具 各認定番号 建具ﾀﾞｲｸﾞによる 外壁 (3種入り) GB-F t15mm2重張り + 窓兼系ﾀﾞｲｸﾞ t16mm横張り FP060NE-0251-t(3) 1時間耐火 外壁 (付張り) GB-F t15mm2重張り + ｸﾞﾗｯｸ吹付 t30 FP060NE-9305 1時間耐火 屋根 告示 不燃 防火区画壁 LGS W100mm壁下地 GB-F t12.5mm+t12.5mm張り (両面) FP060NP-0174 60分耐火構造 壁・天井 GB-R t9.5mm QM-9828 準不燃 壁・天井 GB-R t12.5mm NM-9819 不燃 壁 GB-F t12.5mm NM-9815 不燃 壁 GB-S t12.5mm QM-9826 準不燃 天井 GB-0(T) t9.5mm ※ 不燃 NM-1884 不燃 天井 GB-0(T) t9.5mm QM-0524 準不燃 壁 FK-K t6mm NM-4487 不燃 壁 FK (FL) t6mm NM-5055 不燃 壁 杉板 t12mm + GB-R t12.5mm 告示第1439号 第2項第2号 難燃 壁 t'´ﾀﾞｯｸ (防塵) NM-9889 不燃 天井 t'´ﾀﾞｯｸ (防塵) QM-9502 準不燃 壁 t'´ﾀﾞｯｸ (一般) NM-3984 不燃 天井 t'´ﾀﾞｯｸ (一般) QM-0819 準不燃	



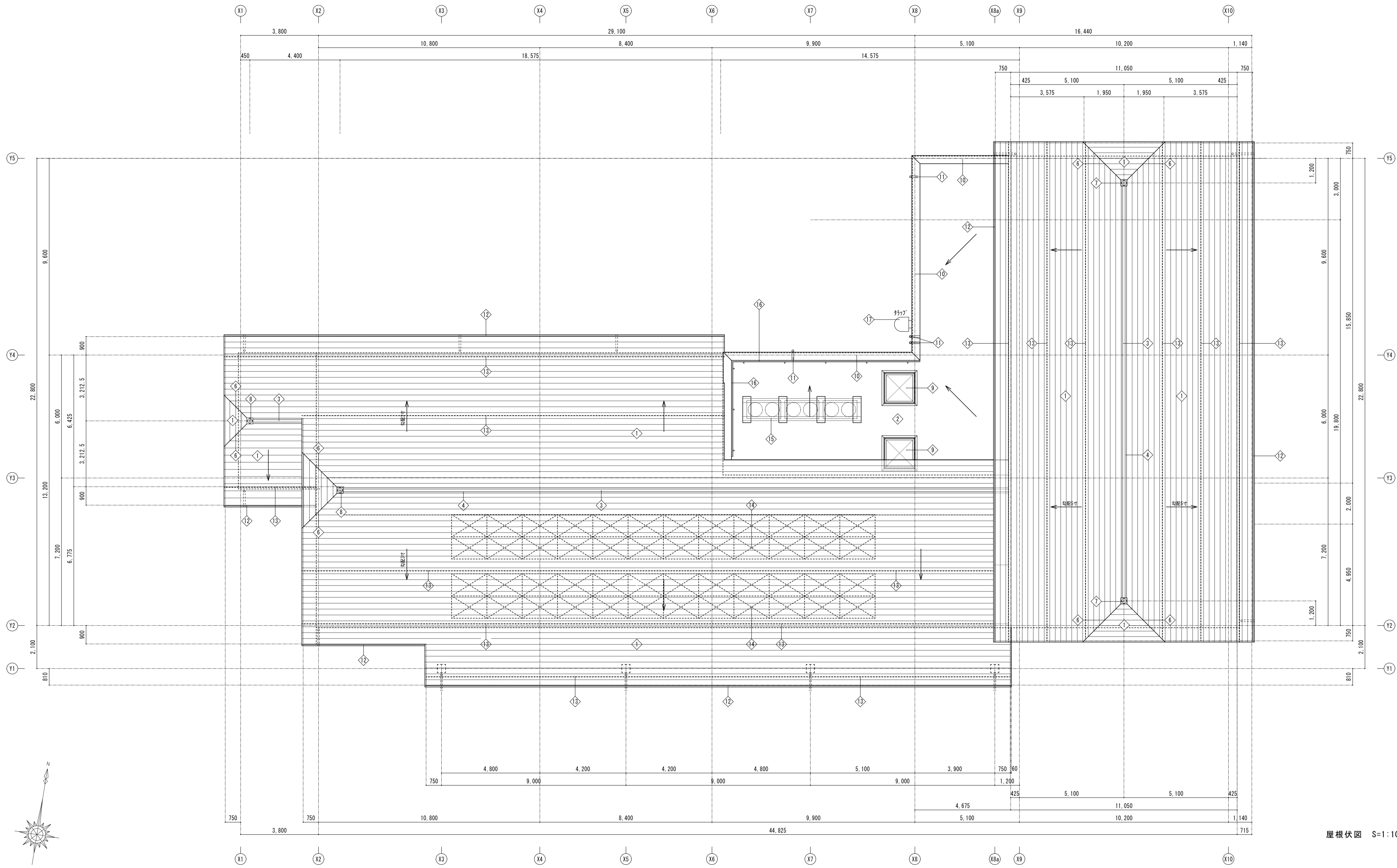




平面図 S=1:100

■ 平面図 凡例		■ 建物概要		■ 特記事項	
■	鉄骨造 柱を示す	—	床 スロープを示す	1	内装間仕切り壁下地、外装側壁下地は全て軽量鉄骨間仕切り壁下地とする。
—	鉄骨造 壁を示す	—	面格子 (アルミ製) を示す	2	鉄骨柱 (間柱共) は、ロックワール耐火被覆 t25mm (1時間耐火) とする。
o	タテトイを示す ※ 仕様が異なる場合は別図による	RC	鉄筋コンクリート化粧壁を示す	鉄骨梁も全て柱と同じとする。但し、屋根下地鉄骨の被覆は屋根耐火仕様認定確認とする。	
A=	居室等の床面積を示す	M	出入口 有効巾を示す	■ 滋賀県条例 第6部 集会所規定 適合 ※集会所の油k面積の合計 345.93㎡	
FL±N	床仕上げ高さを示す			敷地内通路 1.8m以上 ∴○k	
—	延長線のおそれのある部分のラインを示す			屋外出入口の合計 2ヶ所以上、巾 1.2m以上、15m=5.19m ∴○k	
⊙	防火設備を示す			出入口の合計 6.6m > 345.93/10×0.15m=5.19m ∴○k	
⊚	消火器設備 (埋込) 設置位置を示す			廊下の中 2.2m > 1.2m+345.93/10×0.01=1.55m ∴○k	

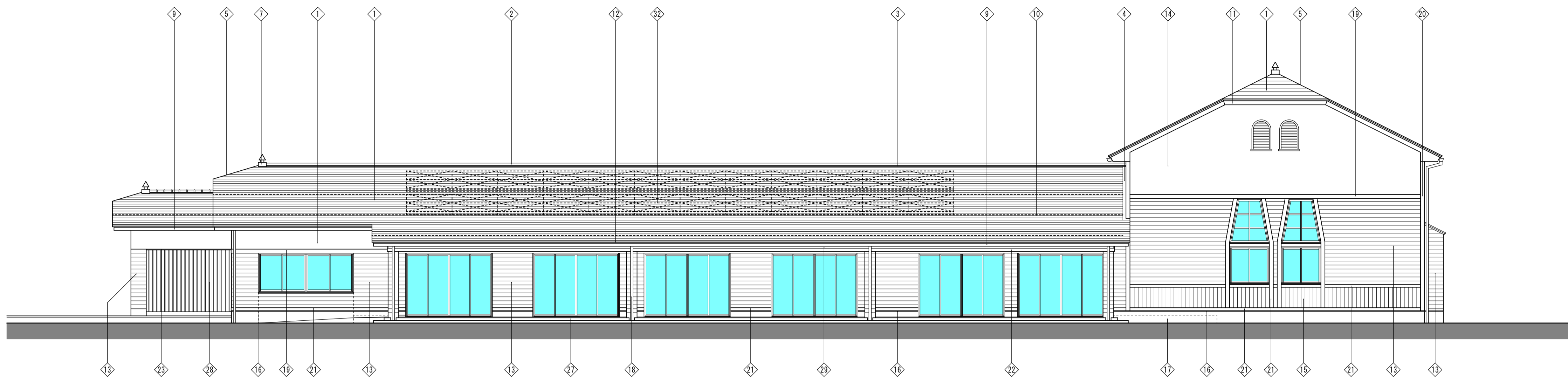
特記		備考	神田まちづくりセンター改築工事 (建築)		設計者	図面名称	SCALE	DATE	SIGN	SHEET No.
			株式会社 <b>ヤスザワ設計</b>	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第0-2423号 一級建築士 登録 第169646号 一級建築士 登録 第314702号	中村	平面図	A1 (A3) 1:100 (1:200)	令和5年6月		A 12



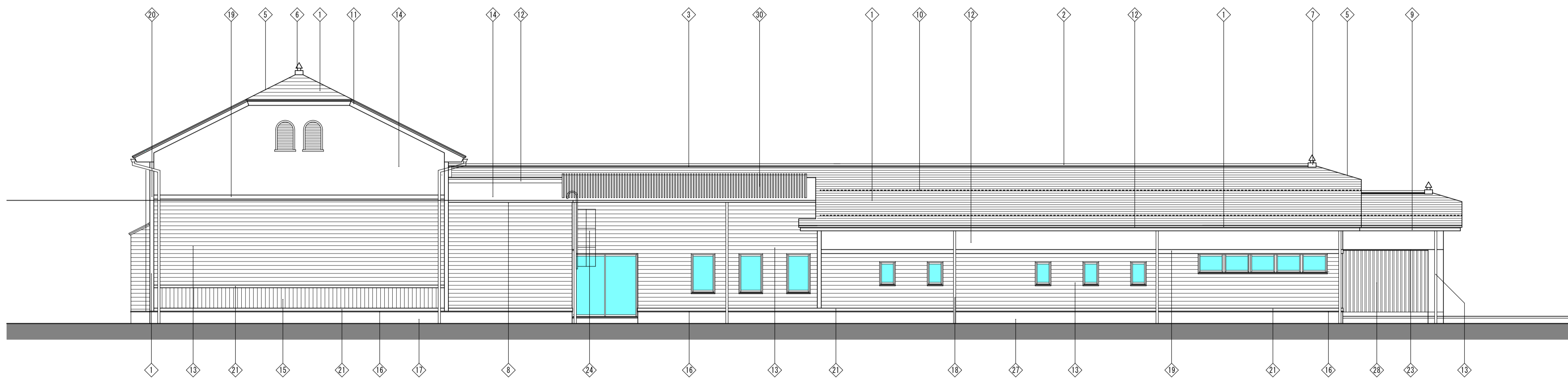
屋根伏図 S=1:100

■ 屋根伏図 凡例		■ 特記事項	
① 屋根1 : 珪素樹脂塗装G.L鋼板 t0.4mm 金属板模倣	⑨ トップライト : 7777-A 4.0x5.0型 口1300 [耐火・断熱仕様]	⑬ 格子フェンス : 屋根格子フェンス (アルミ製) H 900	<p>1 太陽光発電設備は全て電気設備工事とする。屋根取付金物 (後付け) も電気設備工事の範囲とする。</p> <p>2 屋根上空調設備工事はコンクリート基礎及び鉄骨架台は建築工事とし、防護架台からは機械設備工事範囲とする。</p> <p>3 雪止め金物 多目的ホルン片屋根 3列、南面片屋根 3列、北面片屋根 2列設置とする。取付は先付けタイプとする。</p>
② 屋根2 : 塩ビシート防水 (非歩行) t1.5mm 機械式固定断熱工法	⑩ 空木 : 珪素樹脂製 W400型	⑭ 9777 : ステンレス製 既製品 (安全ガード付)	
③ 棟押え : 珪素樹脂塗装G.L鋼板 t0.5mm曲げ加工 (木下地)	⑪ L-7777 : 鋼製 横引き型 75A		
④ 棟包 : 珪素樹脂塗装G.L鋼板 t0.5mm曲げ加工 (耐火野地板 t25mm)	⑫ 軒樋 : 珪素樹脂製		
⑤ 水切り : 珪素樹脂塗装G.L鋼板 t0.5mm曲げ加工 (耐火野地板 t25mm)	⑬ 雪止め : 珪素樹脂製規格品 #600 千鳥配置		
⑥ 降棟 : 珪素樹脂塗装G.L鋼板 t0.4mm 化粧金 - (降り棟ジョイント)	⑭ 太陽光 : 太陽光パネル (電気設備工事)		
⑦ 棟飾1 : 瓦製 (既設講堂取付材移設) ※既設品クリーニング	⑮ ※屋根取付金物 (後付け) 共、電気設備工事		
⑧ 棟飾2 : 珪素樹脂塗装G.L鋼板 t0.5mm曲げ加工 (耐火野地板 t25mm)	⑯ 空調室外機 : 空調設備室外機 (機械設備工事)		
	※コンクリート基礎及び鉄骨架台は建築工事		

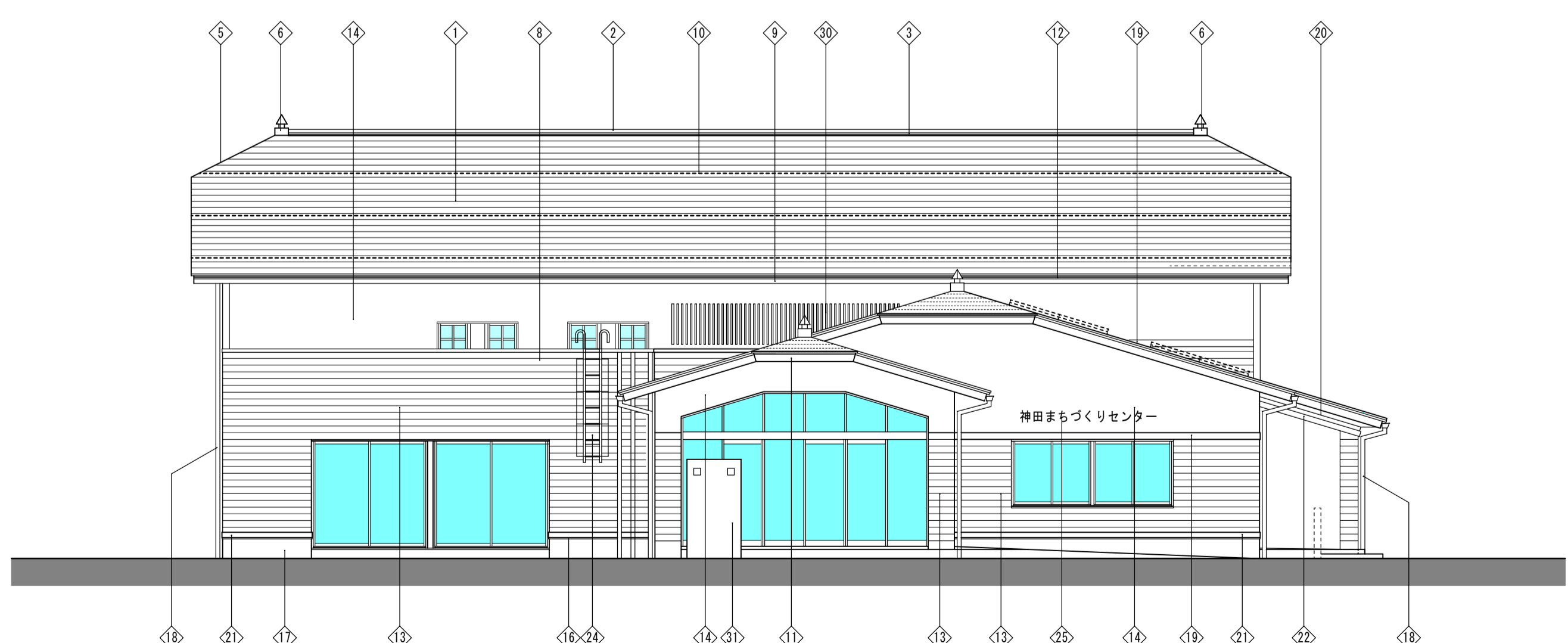
特記		備考		神田まちづくりセンター改築工事 (建築)		設計者	図面名称	SCALE	DATE	SIGN	SHEET No.
					株式会社 <b>ヤスザワ設計</b>	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第0-2423号 一級建築士 登録 第169646号 中村 一 登録 第314702号 三輪 弘幸	屋根伏図	A1 (A3) 1:100 (1:200)	令和5年6月		A



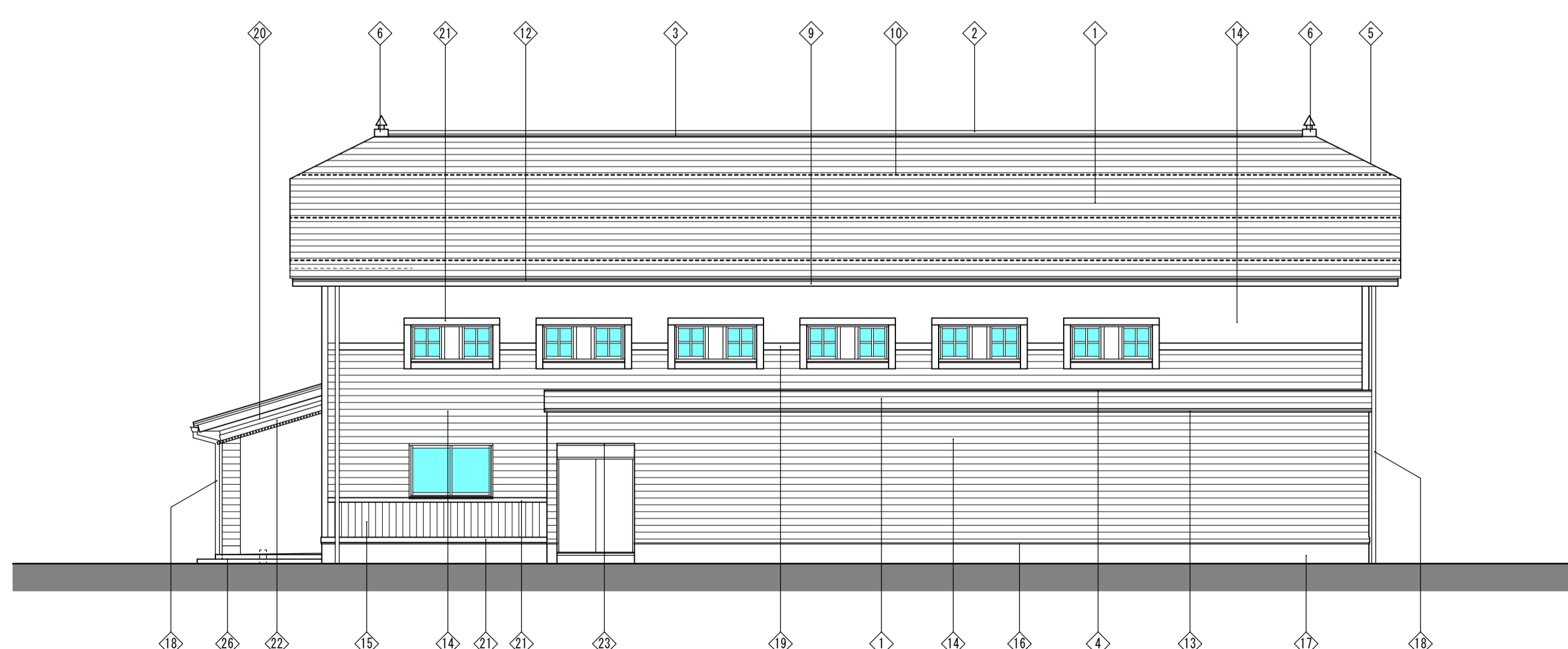
南立面図 1:100



北立面図 1:100



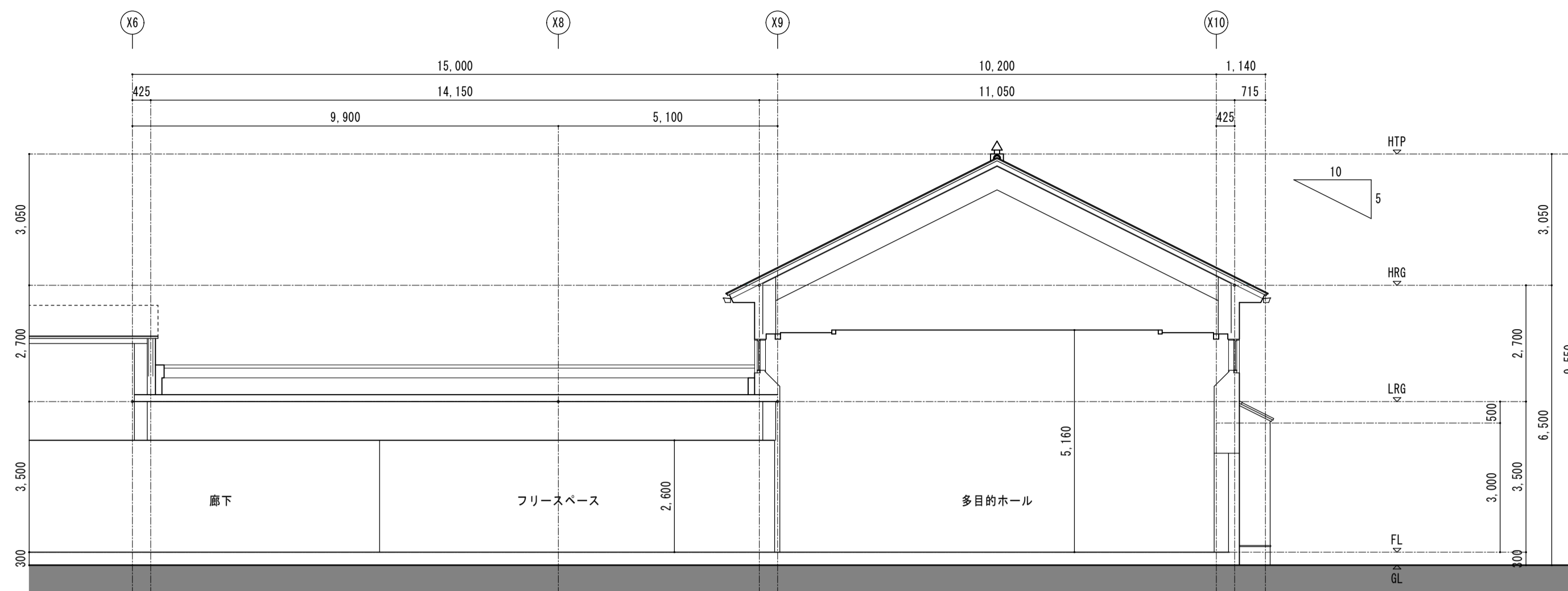
西立面図 1:100



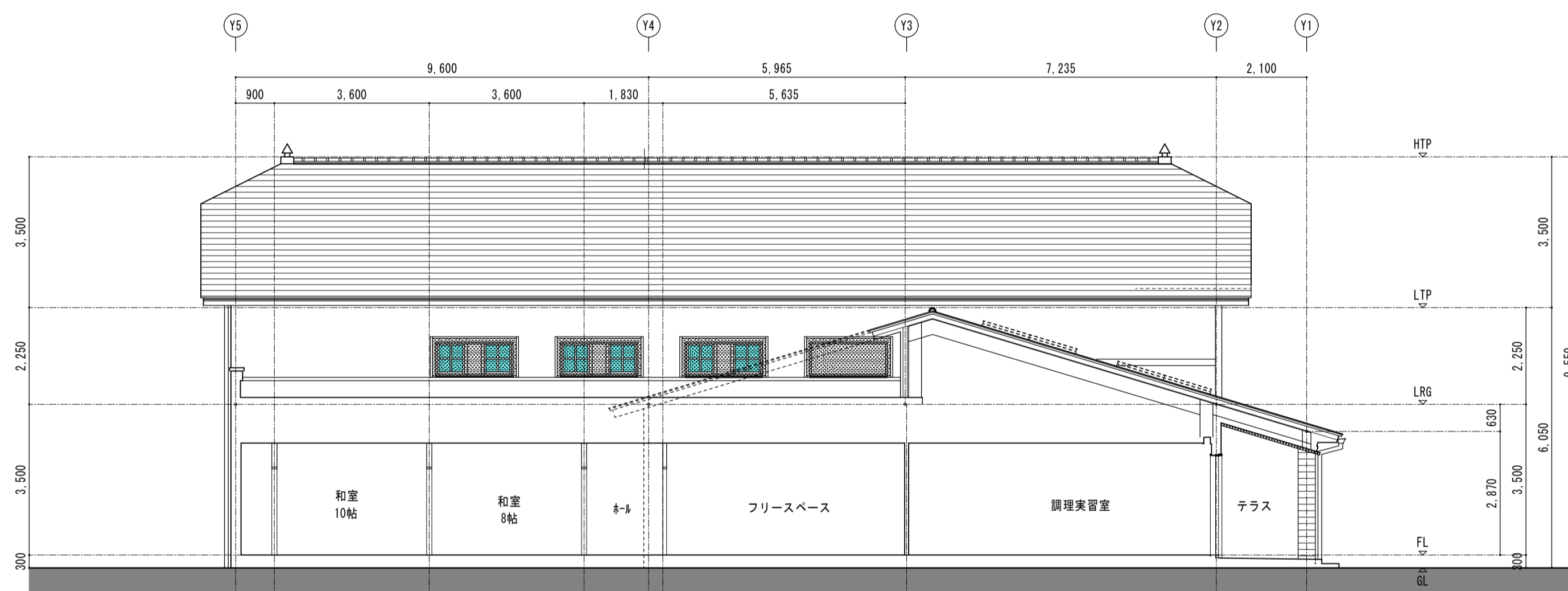
東立面図 1:100

■ 外部仕上 凡例	
①	屋根1 : 7系樹脂塗装G鋼板 t0.4mm 金属板構葺 改質型7系樹脂塗装G鋼板 t0.5mm 耐火複合野地板 t50mm
②	棟押え : 7系樹脂塗装G鋼板 t0.5mm 曲げ加工 (木下地)
③	棟包 : 7系樹脂塗装G鋼板 t0.5mm 曲げ加工 (耐火野地板 t25mm)
④	水切り : 7系樹脂塗装G鋼板 t0.5mm 曲げ加工 (耐火野地板 t25mm)
⑤	降線 : 7系樹脂塗装G鋼板 t0.4mm 化粧加工 (降り線付)
⑥	棟筋1 : 瓦葺 (既設講堂取付材移設) ※既設品クリーニング
⑦	棟筋2 : 7系樹脂塗装G鋼板 t0.5mm 曲げ加工 (木下地)
⑧	笠木 : 85-7系製 W300型
⑨	軒樋 : 85-7系製
⑩	雪止め : スチール製規格品#600 千鳥配置
⑪	破風 : 7系樹脂塗装G鋼板 t0.5mm 曲げ加工 (耐火野地板 t25mm)
⑫	鼻隠 : 7系樹脂塗装G鋼板 t0.5mm 曲げ加工 (耐火野地板 t25mm)
⑬	外壁1 (1h耐火) : 窯業系サイディング張り t16mm 横張り 透気金具工法 FP060NE-0251-1(3) GB-F t15mm 二重張り + 透湿防水シート張り下地
⑭	外壁2 (1h耐火) : 窯業系サイディング張り t16mm 横張り 透気金具工法 FP060NE-0251-1(3) GB-F t15mm 二重張り + 透湿防水シート張り下地
⑮	外壁3 (1h耐火) : 窯業系サイディング張り t16mm 縦張り FP060NE-9305 2ヶ所 t30mm 吹付 + GB-F t15mm 二重張り + 透湿防水シート張り下地
⑯	見切 : 7系樹脂塗装G鋼板 t0.5mm 曲げ加工
⑰	欄干 : Mo塗り欄干引き上げ
⑱	窓枠 : 85-7系製 89.1φ
⑲	付欄干 : 窯業系サイディング 150×t17mm 張り (塗装品)
⑳	付柱 : 窯業系サイディング 150×t17mm 張り (塗装品)
㉑	付土台・見切 : 窯業系サイディング 115×t17mm 張り (塗装品)
㉒	付梁 : 窯業系サイディング 150×t17mm 張り (塗装品)
㉓	下地見切 : 85-7系製 W75
㉔	5ヶ所 : スチール製既製品 6ヶ所付
㉕	5ヶ所 : スチール製 箱文字 5ヶ所付
㉖	5ヶ所 : Mo塗り押え下地 NC (防滑性) t2.5mm 張り
㉗	5ヶ所 : Mo塗り押え下地 NC (階段用) t2.5mm 張り
㉘	格子 : 85-7系製 (木調) 50×100 #150
㉙	軒天 : LGS天井下地 FK t6mm (底地張) (EP)
㉚	格子フェンス : 屋根格子フェンス (アルミ製) H 900
㉛	化粧壁 : コンクリート打ち放し 吹付タイル仕上げ
㉜	太陽光 : 太陽光パネル (電気設備工事)
※屋根取付金物 (後付タイプ) 共、電気設備工事	

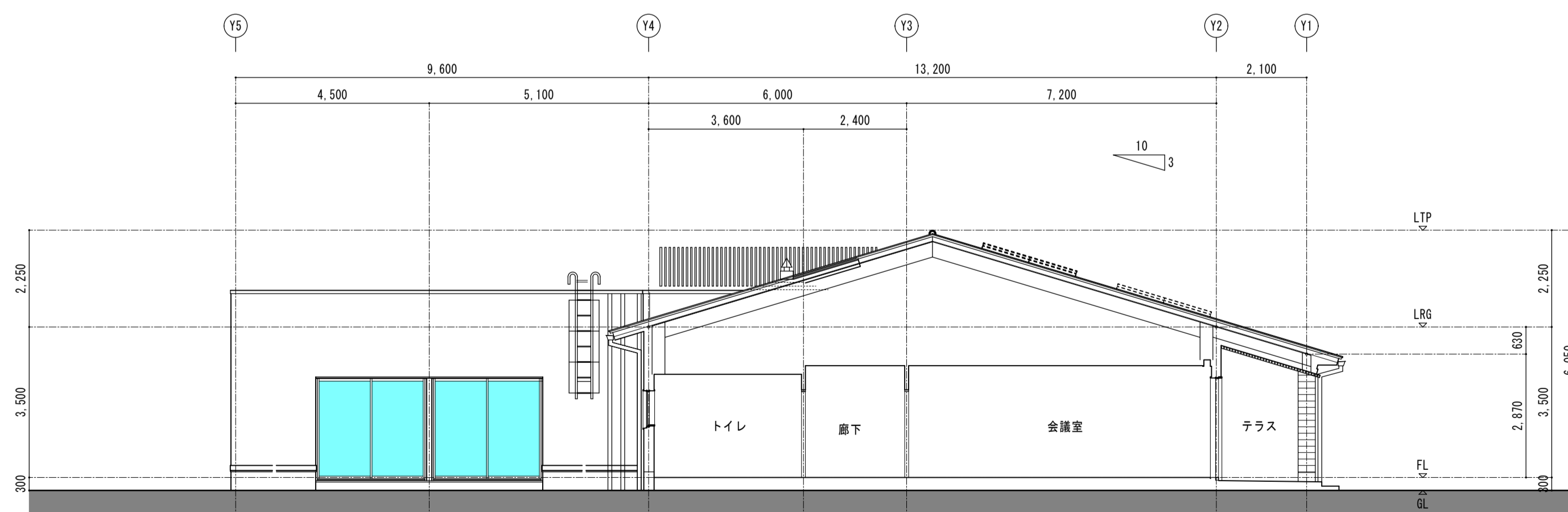




A 断面図 S=1:100

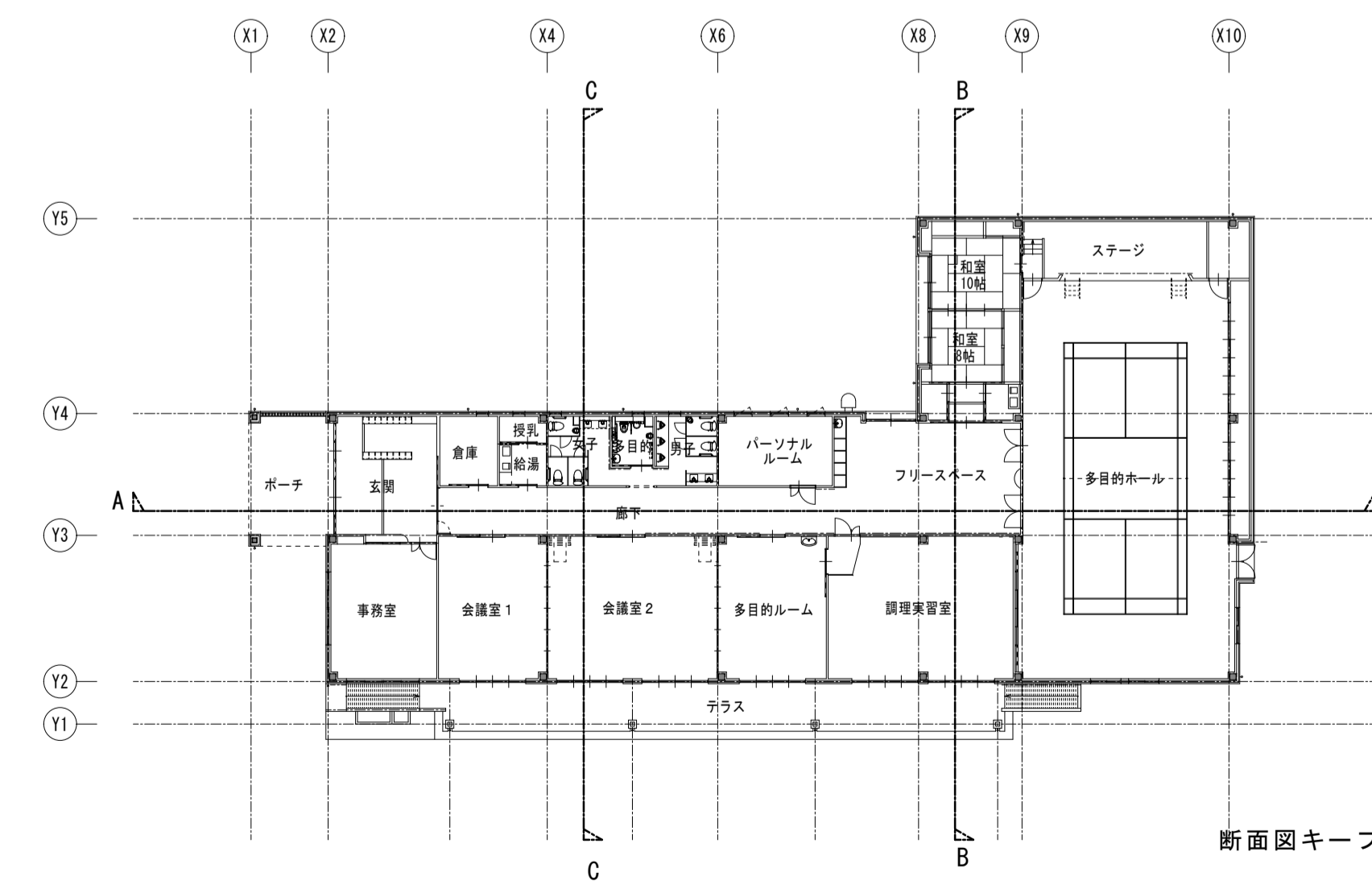
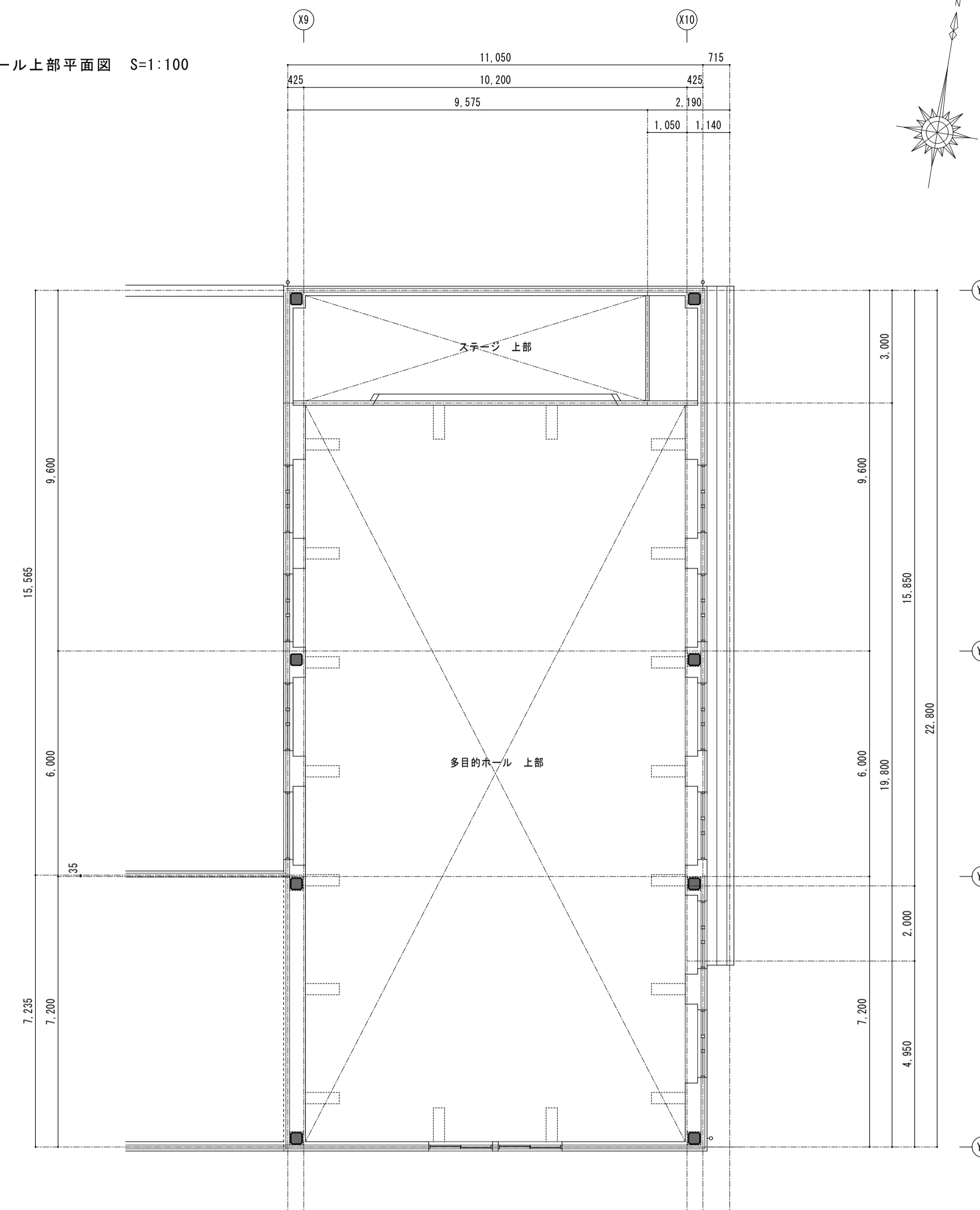


B 断面図 S=1:100



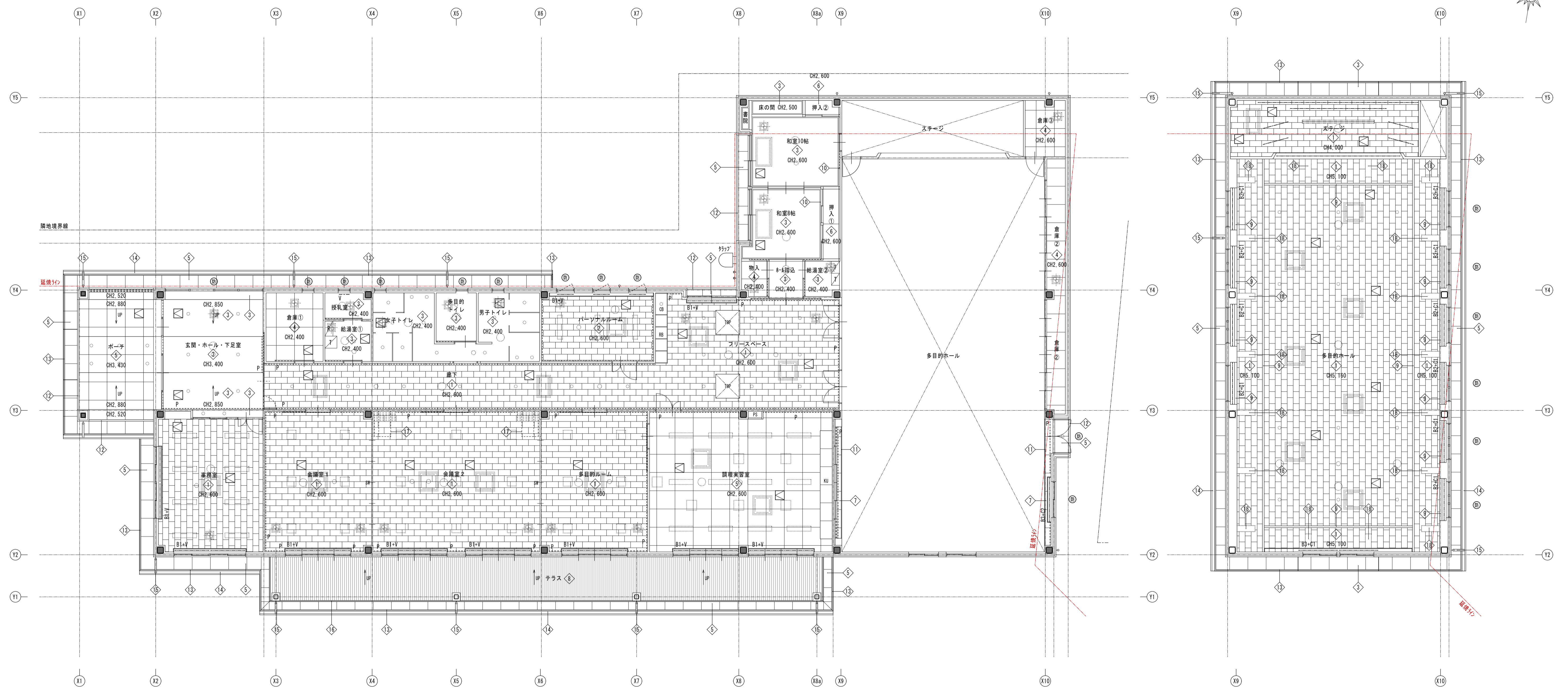
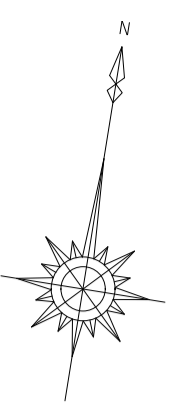
C 断面図 S=1:100

多目的ホール上部平面図 S=1:100



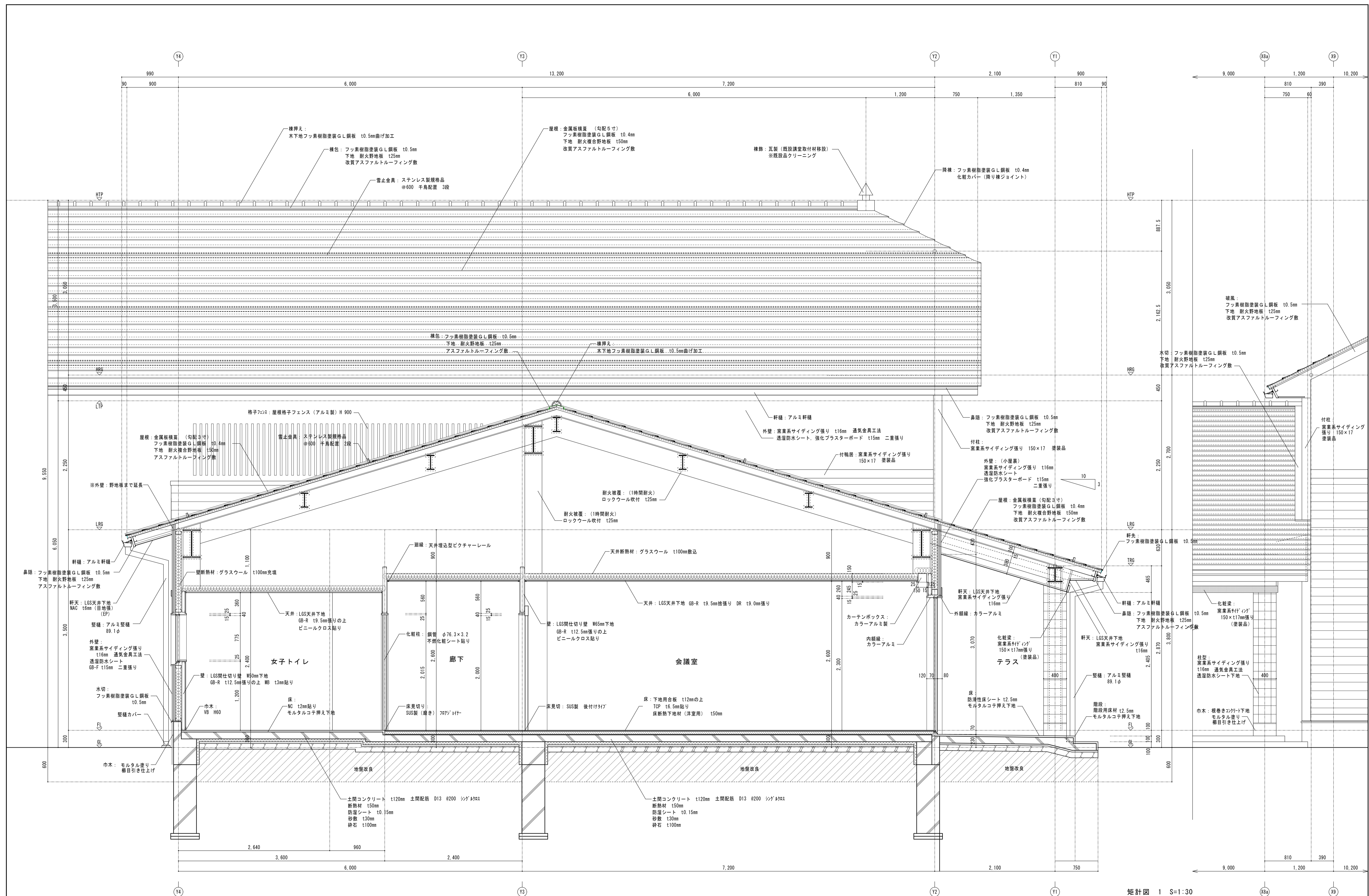
断面図キープラン 1:300

特記	神田まちづくりセンター改築工事（建築）				設計者	図面名称	SCALE	DATE	SIGN	SHEET No.
	株式会社 ヤスザワ設計				一級建築士 登録 第169646号	断面図	A1 1:100	(A3) (1:200)	令和5年6月	A
備考					一級建築士事務所 登録 第314702号	中村 一				15



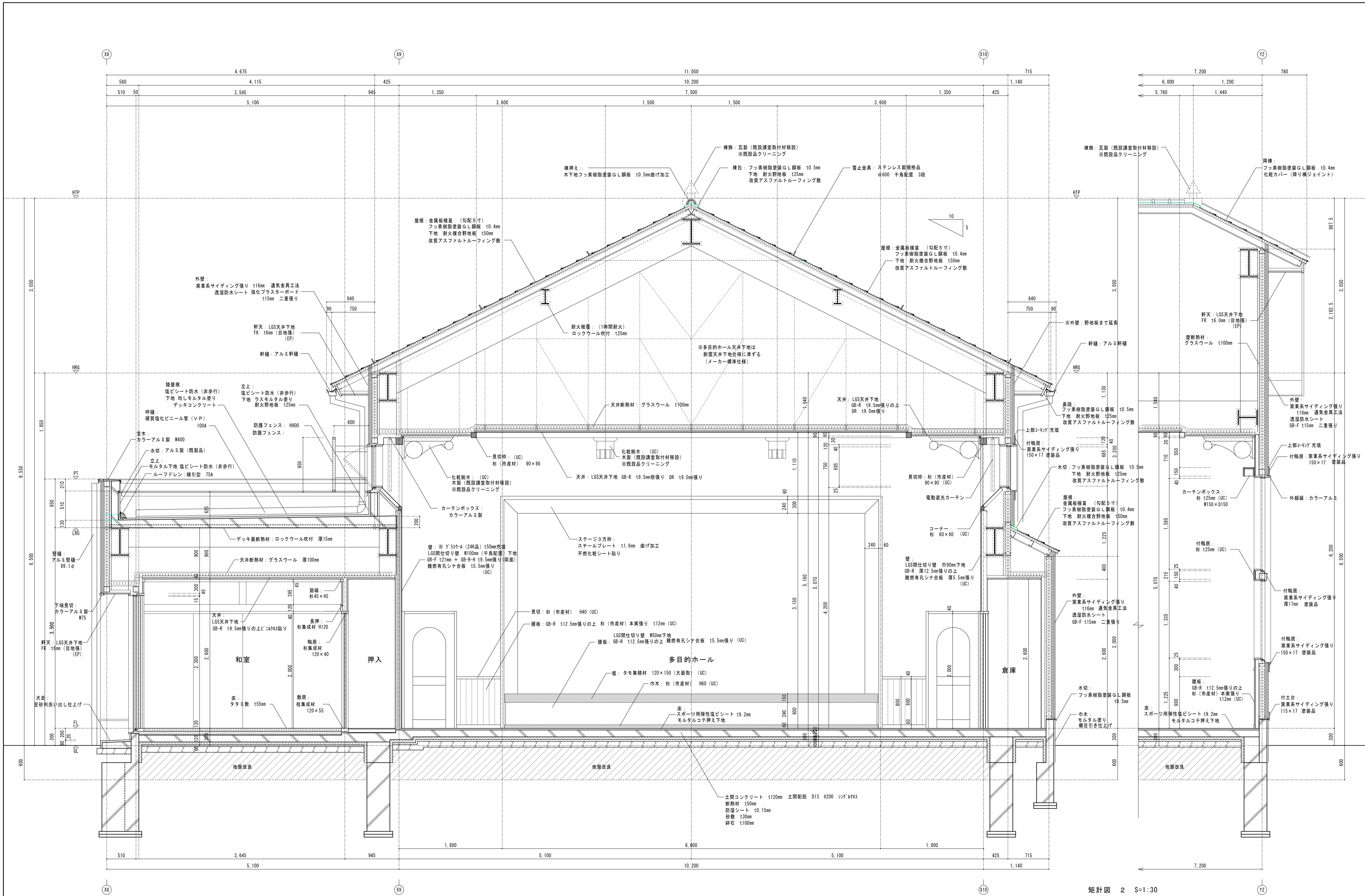
天井伏図 S=1:100

■ 建具キープラン 凡例		■ 特記事項	
--- 延焼のおそれのある部分のラインを示す	① 天井7 - GB-R t12.5mm張りの上隠懸有孔合板 15.5mm張り	⑩ 付床 - 産業系引付 150×177mm張り (塗装品)	P --- ビックナール 7&#246;製鋼線一体型
② 防火設備を示す	② 天井8 - 軒天用引付 12&#246;張り t12mm張り	⑪ 天井レール - 可動開仕切壁用 7&#246;レール	□ 天井点検口 - 7&#246;製 450×450 ※ DR張り仕上げ部分は目地付とする
CH --- 各室天井高さを示す	③ 見切枠 - 杉 (市産材) 90×90 (UC)	⑫ 化粧脚木 - 木製 (既設講堂取付材移設) ※既設品90&#246;の上 (UC)	○ 開口補強 - 設備機器等による天井開口補強部を示す
④ 天井1 - GB-R t9.5mm捨張り + DR t9.0mm張り	⑬ 廻縁 - 杉集成材 45×45 (UC)	⑬ ⑭ ⑮ --- カナク 7&#246;X1 ⑧-7&#246;製 150mm×150mm	その他符号は以下による
⑤ 天井2 - GB-R t9.5mm捨張り + DR t12.0mm張り	⑯ コナ - 杉集成材 60×60 (UC)	⑬ --- カナク 7&#246;X2 ⑧-7&#246;製 215mm×120mm	T --- 吊戸棚 R --- レジックラック WT --- 作業台 KU --- 戸棚
⑥ 天井3 - GB-R t9.5mm張りの上ビックナール貼	⑰ 下地見切 - ⑧-7&#246;製 W75	⑬ --- カナク 7&#246;X3 杉集成材 150mm×125mm	TOP --- トップライト RB --- ロック CB --- 掃除用具入
⑦ 天井4 - GB-D (T) t9.5mm張り	⑱ 破風・鼻隠 - 7&#246;素樹脂塗装GL鋼板 t0.5mm曲げ加工 (耐火野地板 t25mm)	V --- 7&#246;製30型グランド (手動)	
⑧ 天井5 - FK t6.0mm (目地張) (EP)	⑳ 軒樋 - ⑧-7&#246;製	C1 --- 遮光ホコ (電動)、7&#246;製ホコレール (シングル)	
⑨ 天井6 - GB-D (押) t9.5mm張り	㉑ 呼軒 - ⑧-7&#246;製	C2 --- 遮光ホコ (手動)、7&#246;製ホコレール (シングル)	



断面図 1 S=1:30

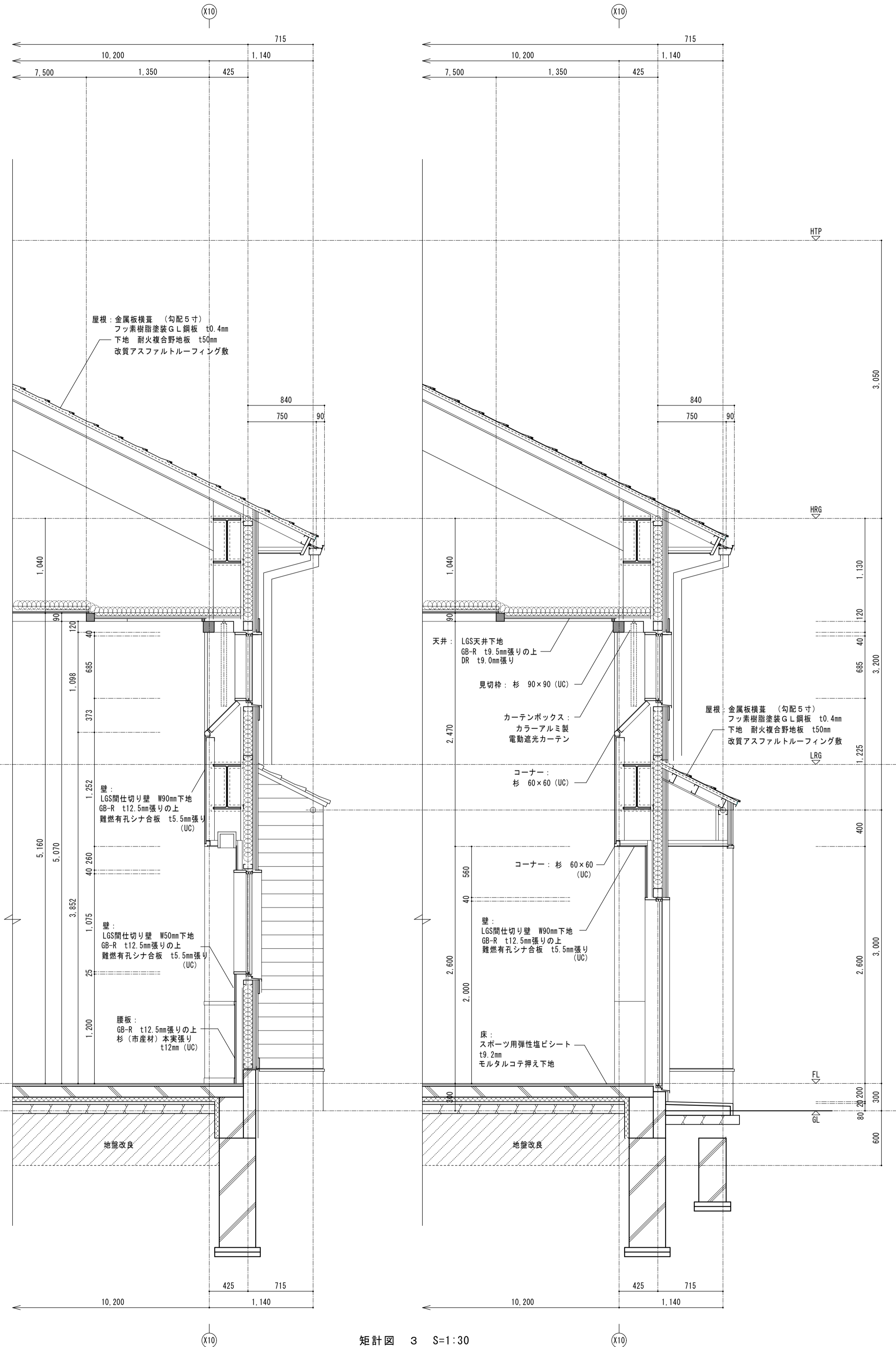
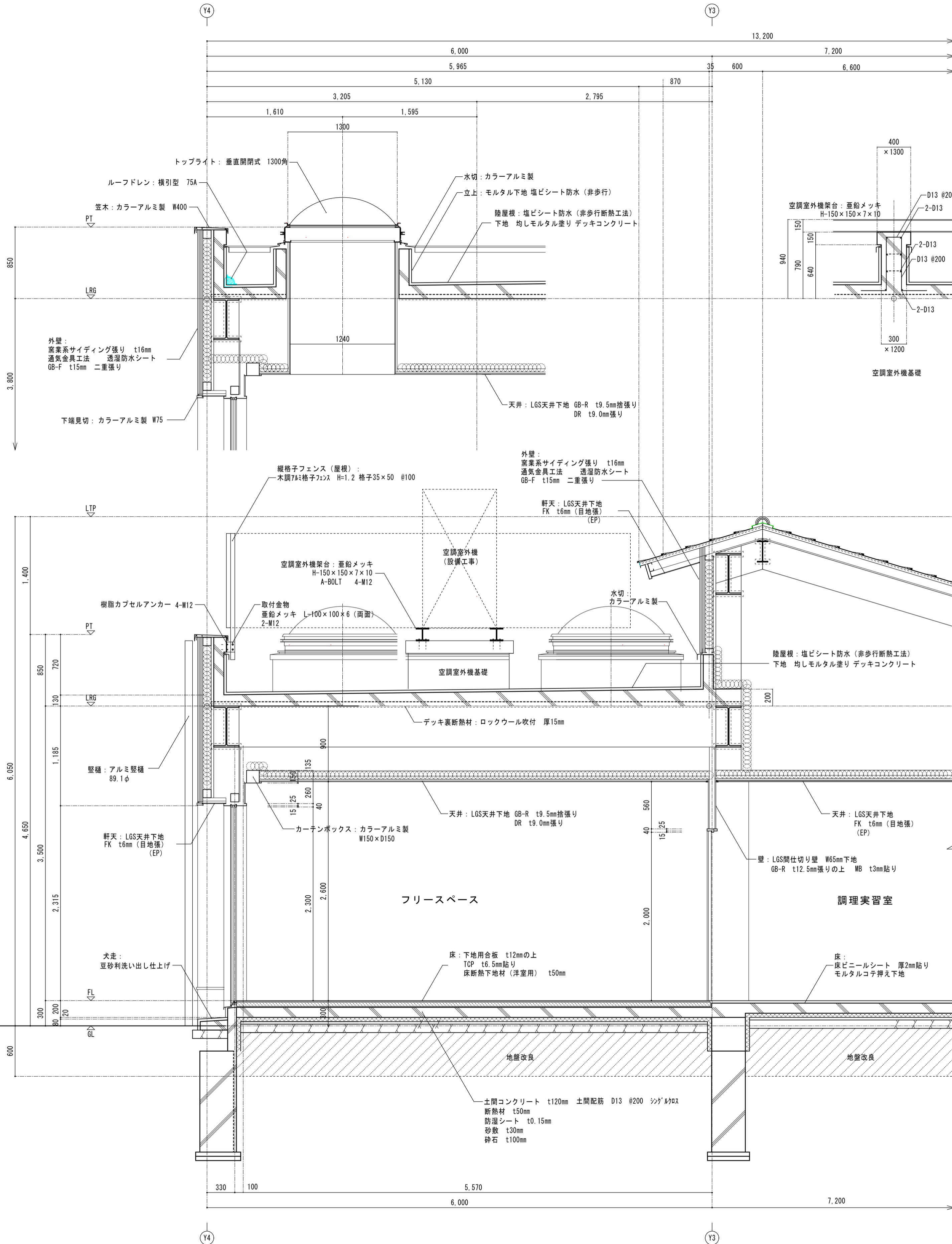
特記	神田まちづくりセンター改築工事（建築）				設計者	図面名称	SCALE	DATE	SIGN	SHEET No.
	株式会社 <b>ヤスザワ設計</b>				一級建築士事務所 登録 第169646号	中村	断面図 1	A1 1:30 (A3) (1:60)	令和5年6月	A
	備考	一級建築士事務所 登録 第314702号				三輪 弘幸				17



矩計図 2 S=1:30

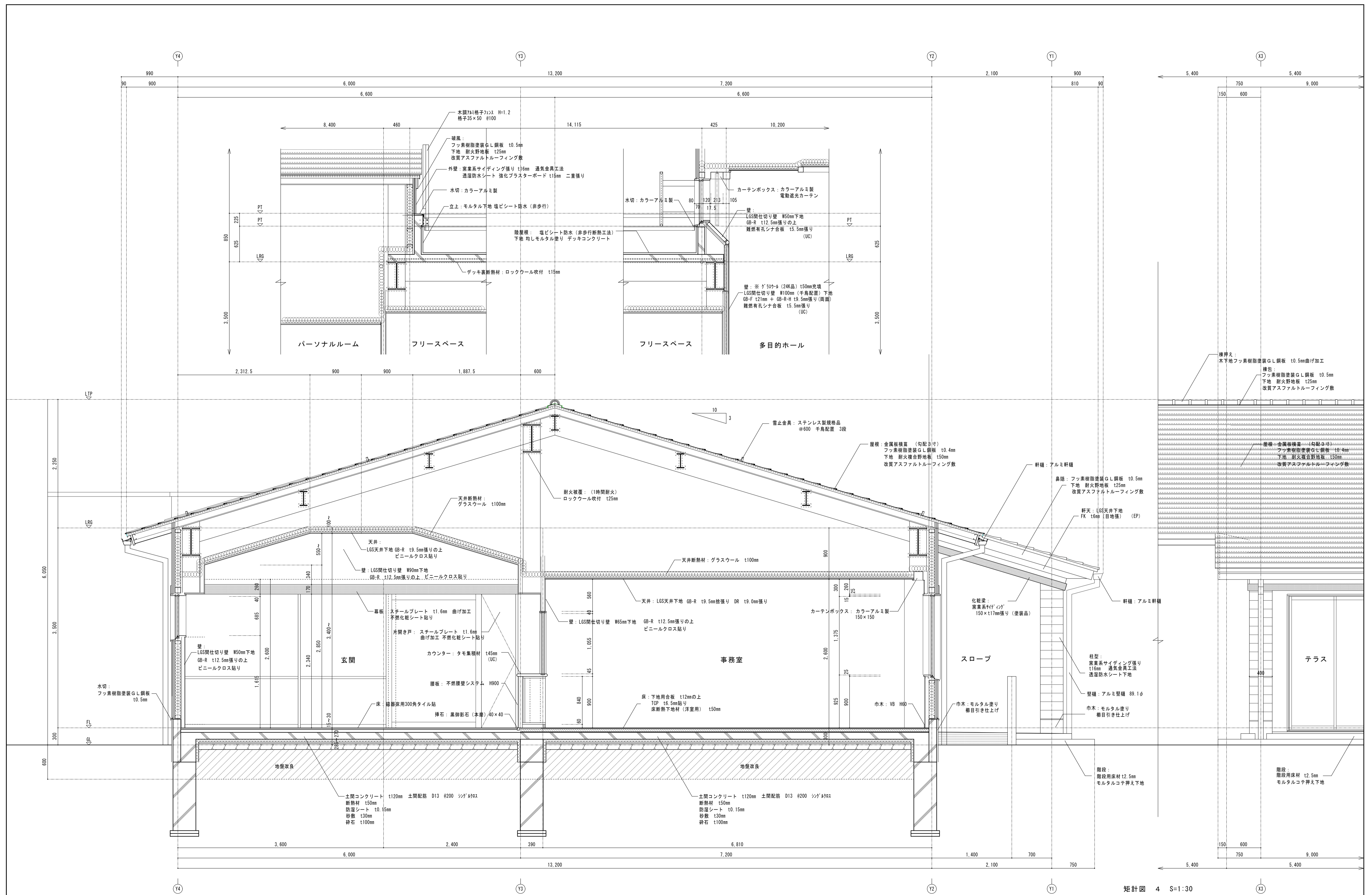
特記	設計者	一級建築士 中村 一	図面名称	矩計図 2	SCALE	A1 (A3) 1:30 (1:60)	DATE	令和5年6月	SIGN		SHEET No.	A
	備考	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第6-2423号 一級建築士 登録 第314702号 三輪 弘幸	図面名称	矩計図 2	SCALE	A1 (A3) 1:30 (1:60)	DATE	令和5年6月	SIGN		SHEET No.	18

神田まちづくりセンター改築工事（建築）  
株式会社 ヤスザワ設計



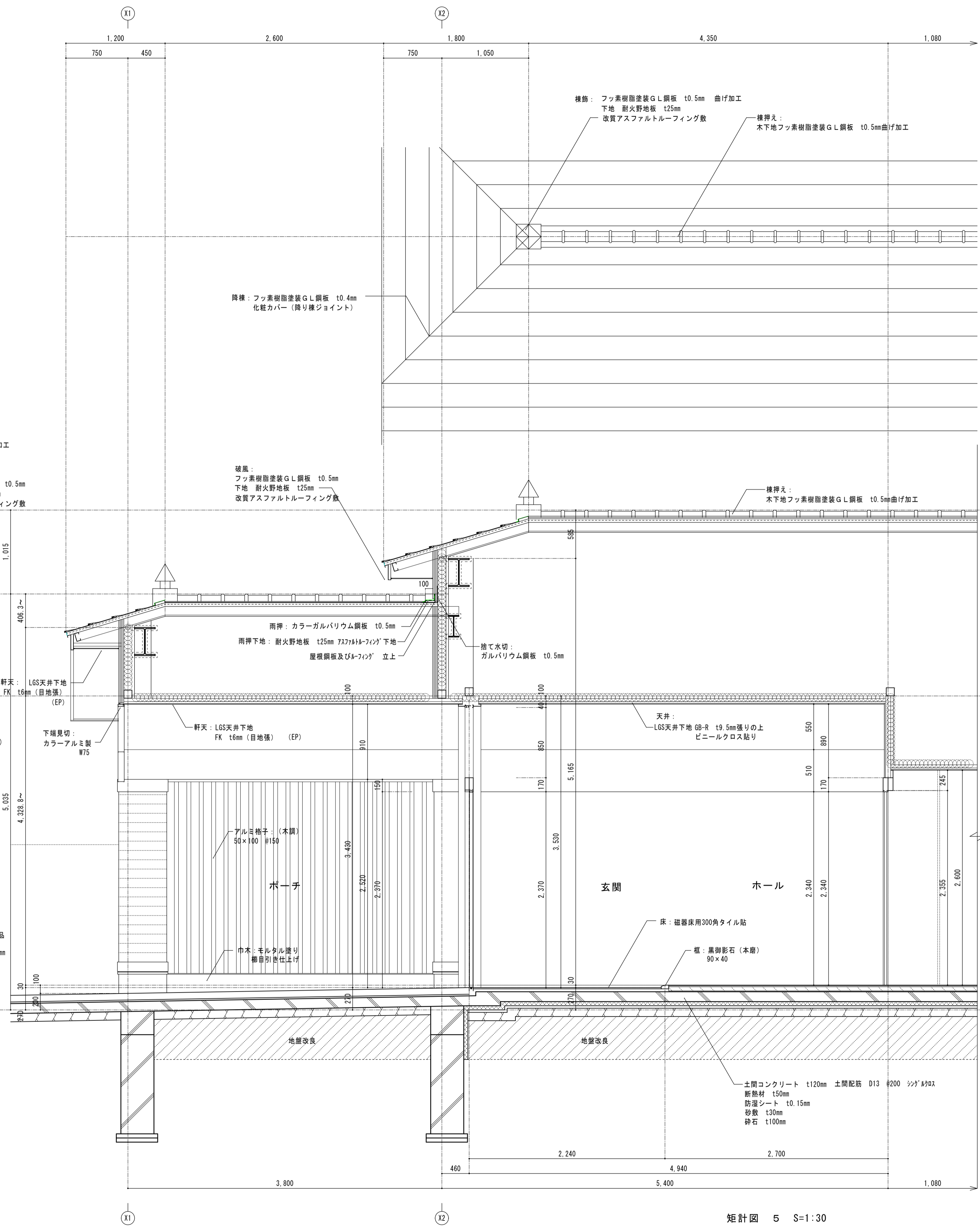
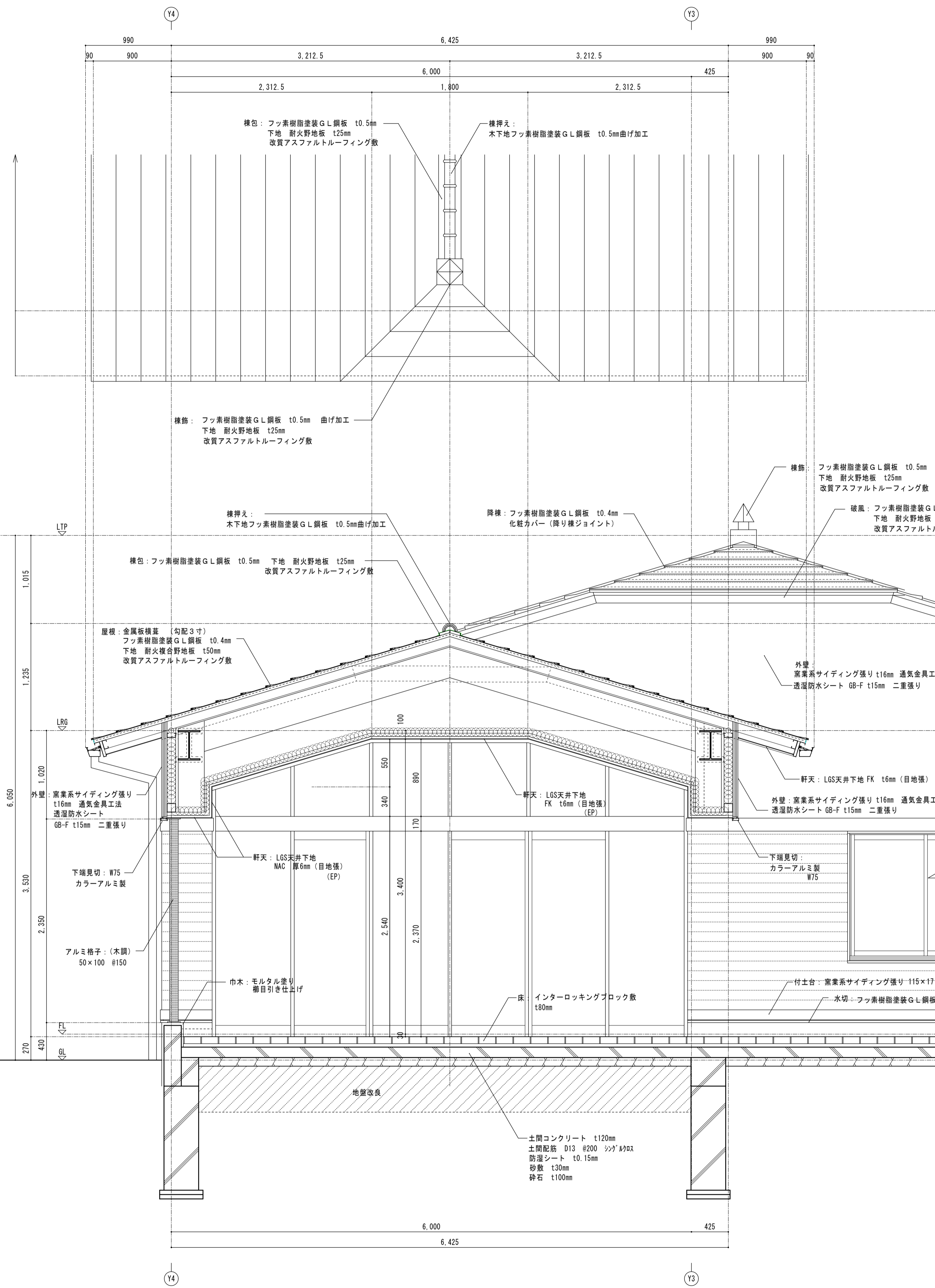
矩計図 3 S=1:30

特記	神田まちづくりセンター改築工事 (建築)				設計者	図面名称	SCALE	DATE	SIGN	SHEET No.
	株式会社 <b>ヤスザワ設計</b>				一級建築士事務所 建築業種登録 第0-2423号 登録 第169646号 中村 一	矩計図 3	A1 1:30 (A3) (1:60)	令和5年6月		A 19
備考					一級建築士事務所 建築業種登録 第314702号 登録 第314702号 三輪 弘幸					



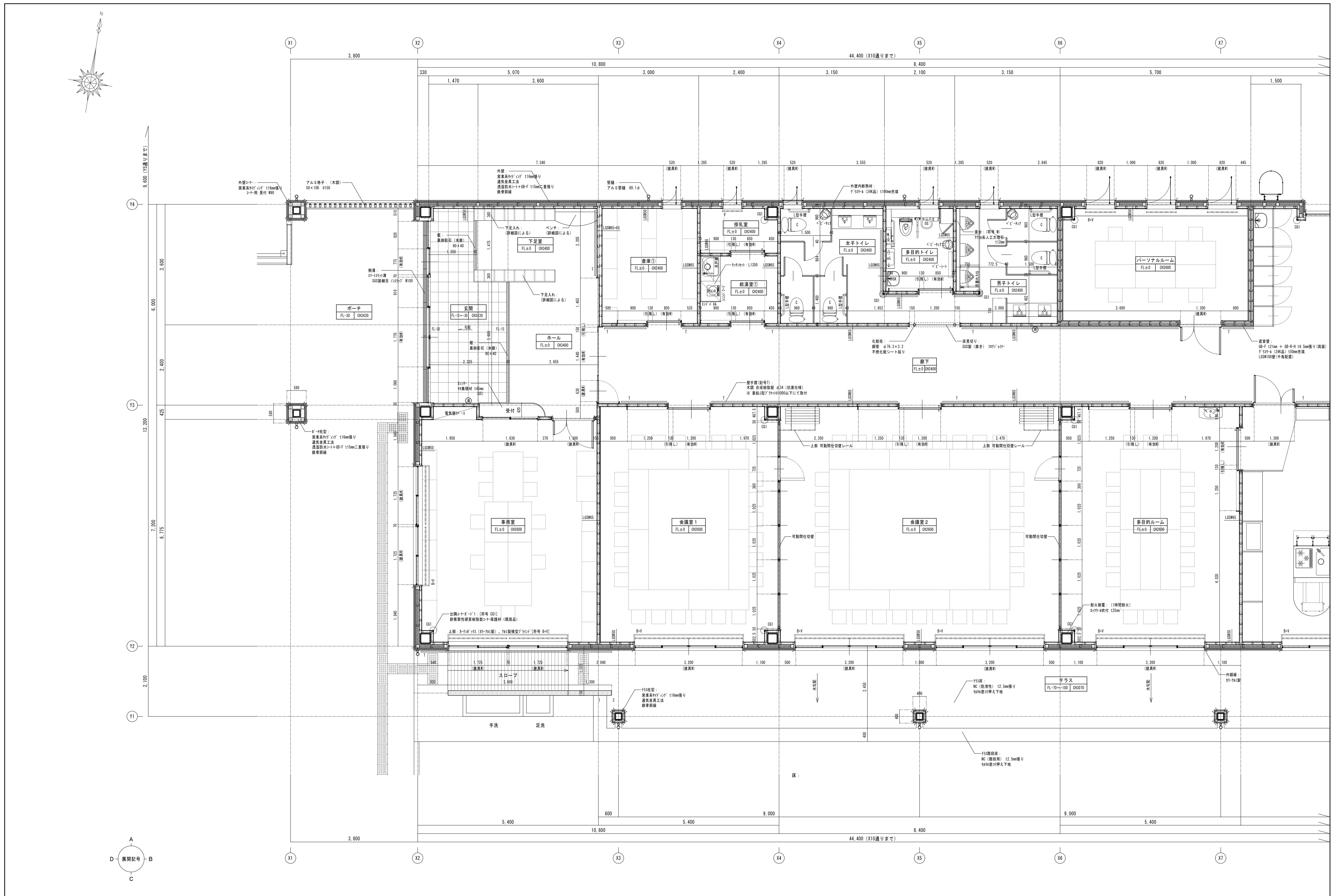
矩計図 4 S=1:30

特記	神田まちづくりセンター改築工事（建築）				設計者	図面名称	SCALE	DATE	SIGN	SHEET No.
	株式会社 <b>ヤスザワ設計</b>				一級建築士事務所 登録 第169646号 中村 一	矩計図 4	A1 1:30	(A3) (1:60)	令和5年6月	A 20
備考					一級建築士 登録 第314702号 三輪 弘幸					



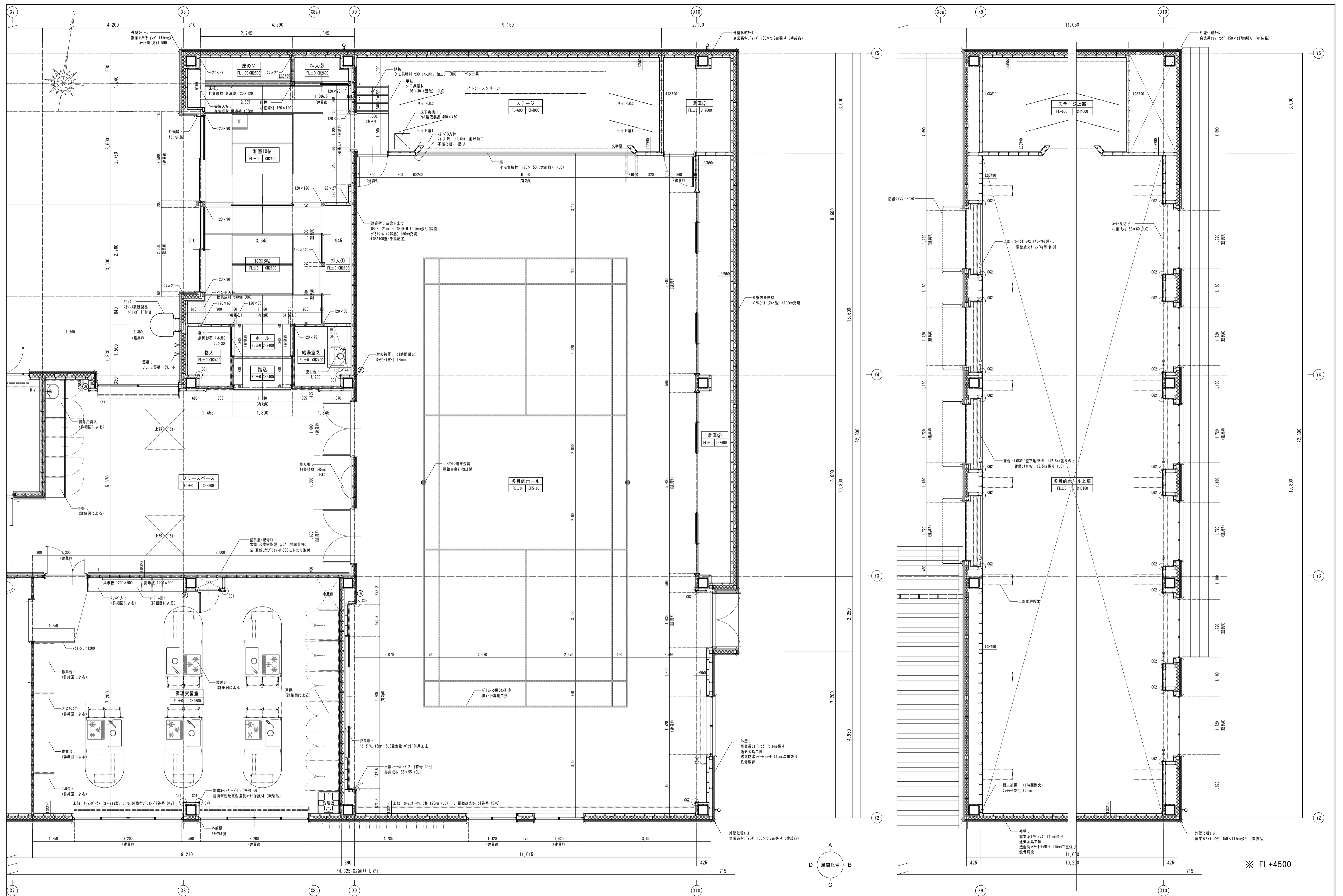
矩計図 5 S=1:30

特記		備考	神田まちづくりセンター改築工事 (建築)		設計者	図面名称	SCALE	DATE	SIGN	SHEET No.
			株式会社 <b>ヤスザワ設計</b>	一級建築士事務所 建築業種登録 第0-2423号 一級建築士 登録 第169646号 中村 一 登録 第314702号 三輪 弘幸	図面名称 矩計図 5	A1 (A3) 1:30 (1:60)	令和5年6月		A	



特記		備考	神田まちづくりセンター改築工事（建築） <b>株式会社 ヌズザワ設計</b>			設計者 一級建築士 登録 第169646号 中村 一	図面名称 平面詳細図 1	SCALE A1 (A3) 1:50 (1:100)	DATE 令和5年6月	SIGN	SHEET No. A
				一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第0-2423号 一級建築士 登録 第314702号 三輪 弘幸							22

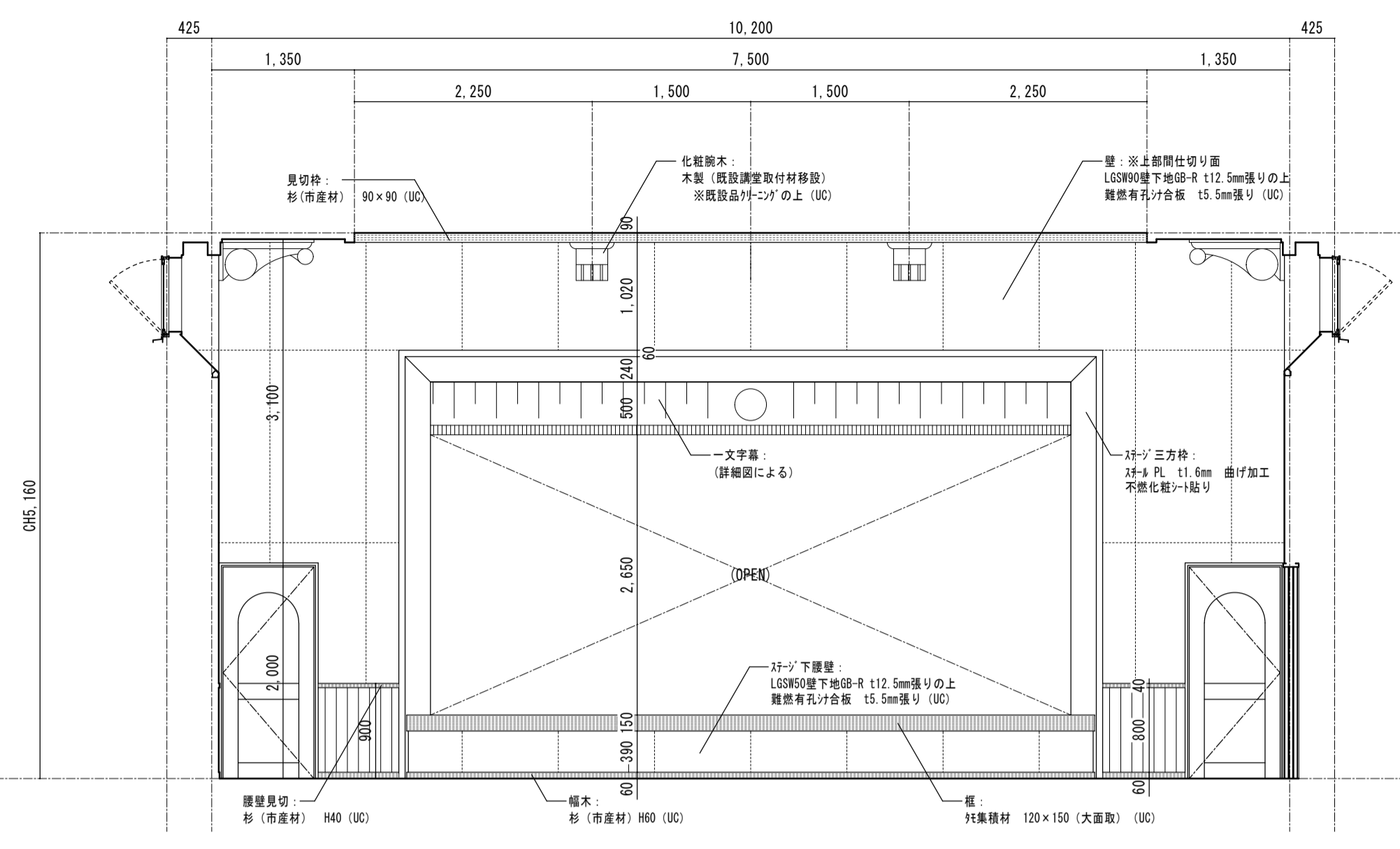




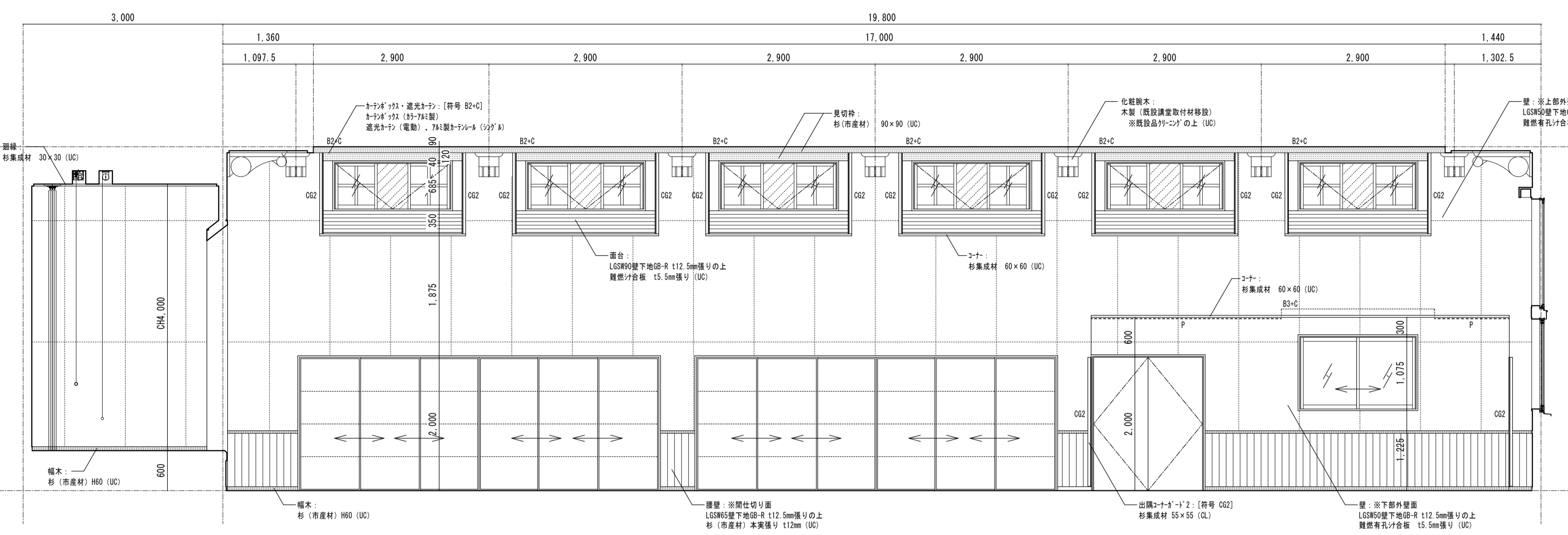
特記	備考	神田まちづくりセンター改築工事（建築）		設計者	図面名称	SCALE	DATE	SIGN	SHEET No.
		株式会社 ヤスザワ設計		一級建築士事務所 登録 第169646号	中村 一	平面詳細図 2	A1 1:50 (1:100)	令和5年6月	



特 記		備 考	神田まちづくりセンター改築工事（建築）				設計者	図面名称	SCALE	DATE	SIGN	SHEET No.
			株式会社 <b>ヤスザワ設計</b>				一級建築士 登録 第169646号	展開図 1	A1 1:50 (A3) (1:100)	令和5年6月		A 24



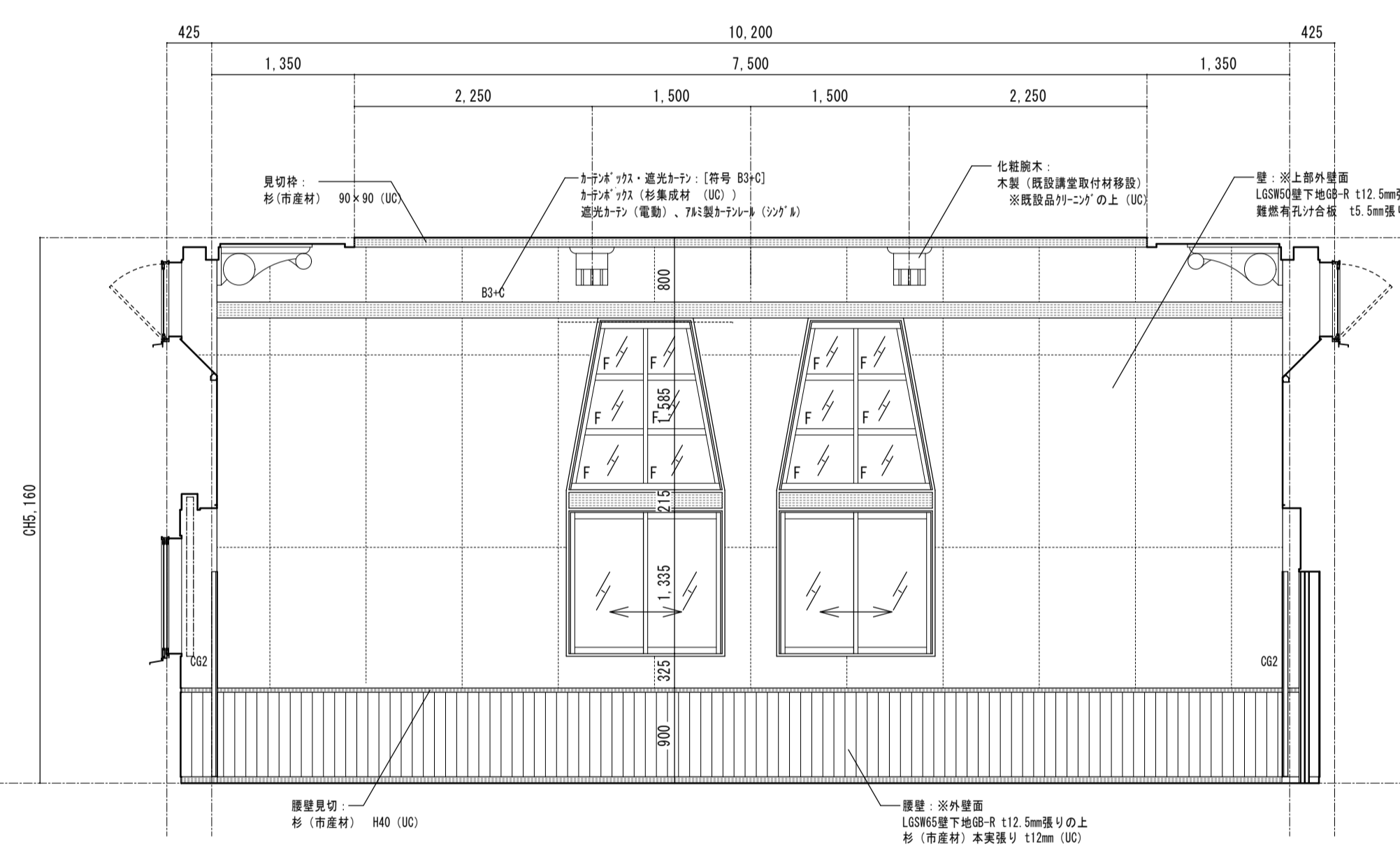
多目的ホール A



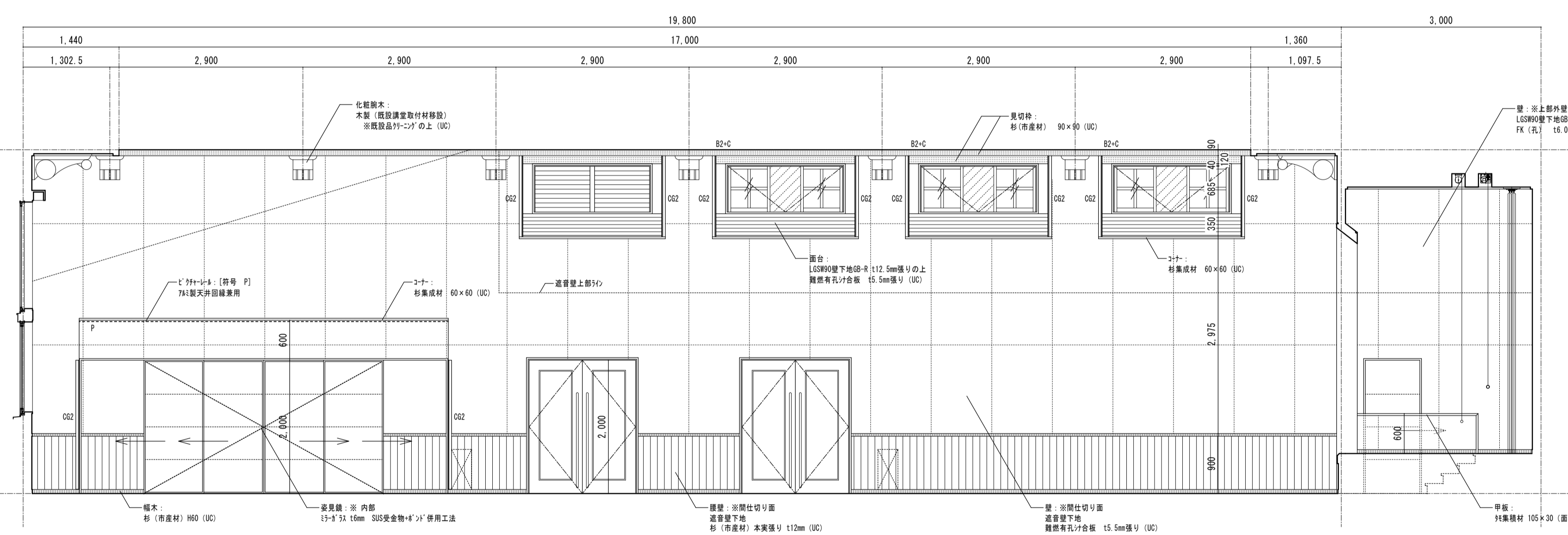
ステージ B

多目的ホール B

中木:

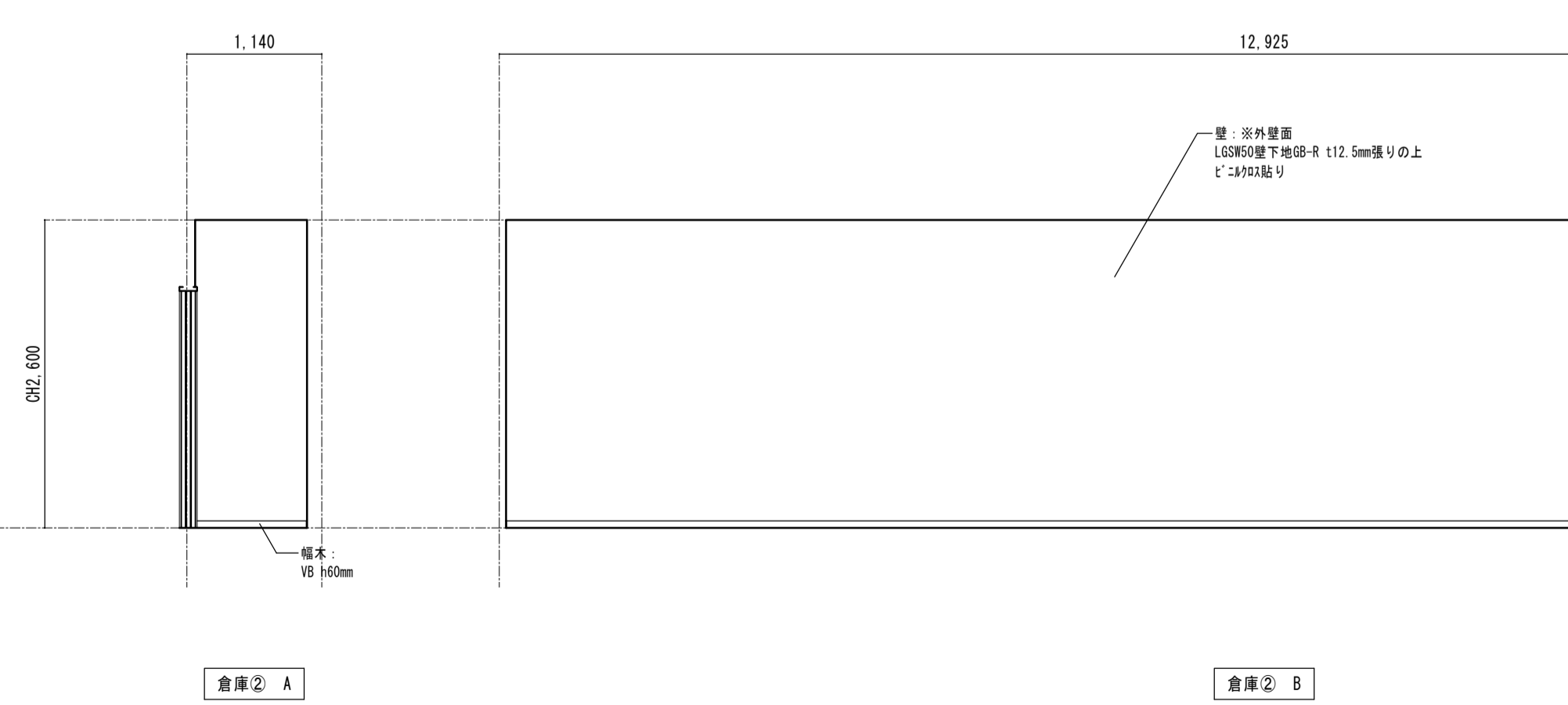


多目的ホール C

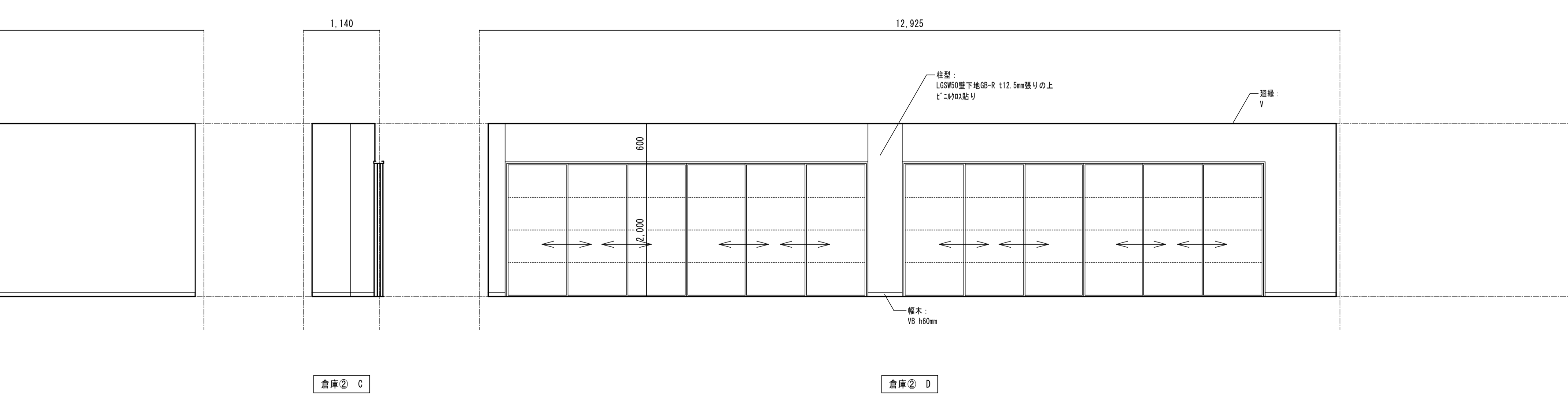


多目的ホール D

ステージ D

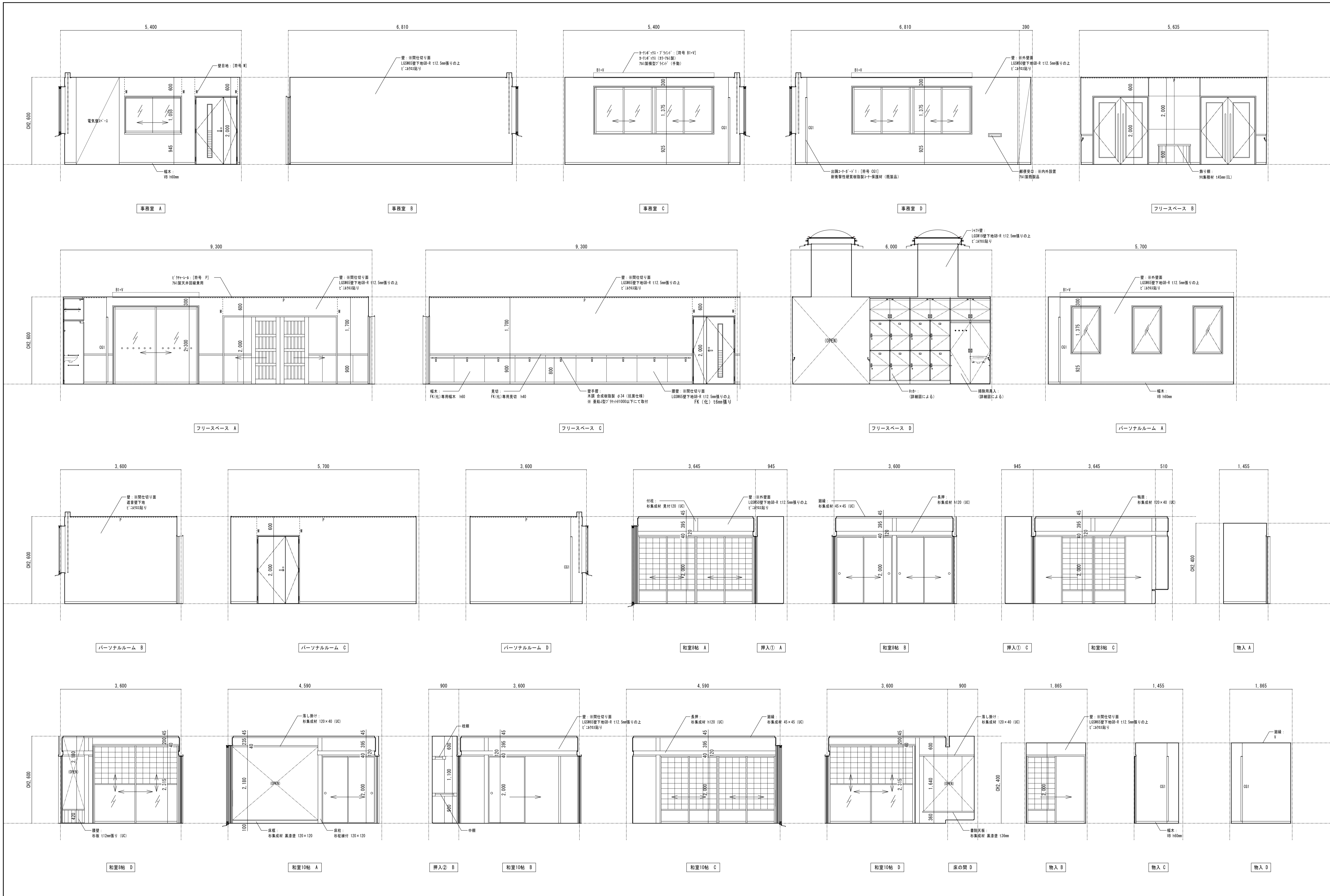


倉庫② A



倉庫② B

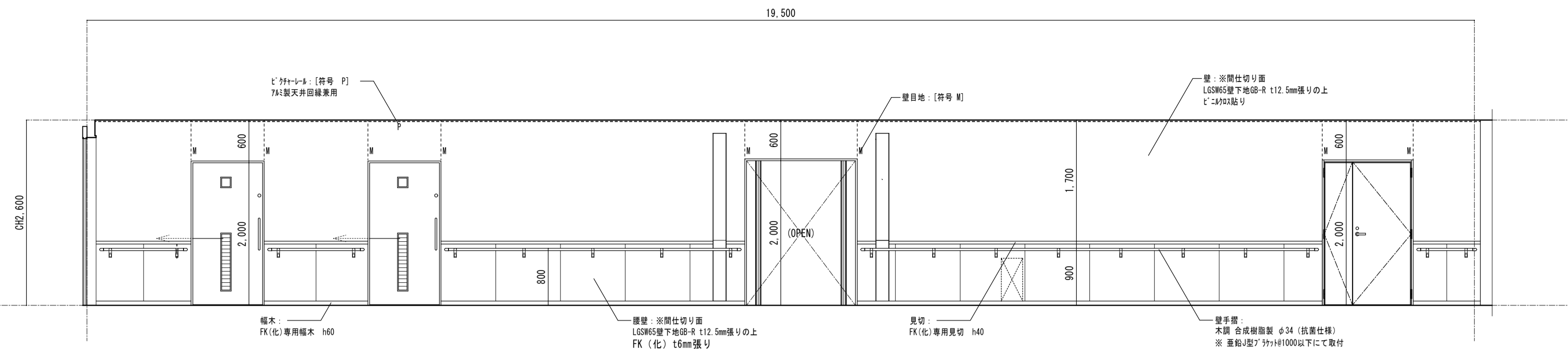
特記	神田まちづくりセンター改築工事（建築）				設計者	図面名称	SCALE	DATE	SIGN	SHEET No.
	株式会社 ヤスザワ設計				一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第4-2423号 登録 第169646号 中村 一	展開図 2	A1 1:50 (1:100)	令和5年6月		A
備考					一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第4-2423号 登録 第314702号 三輪 弘幸					25



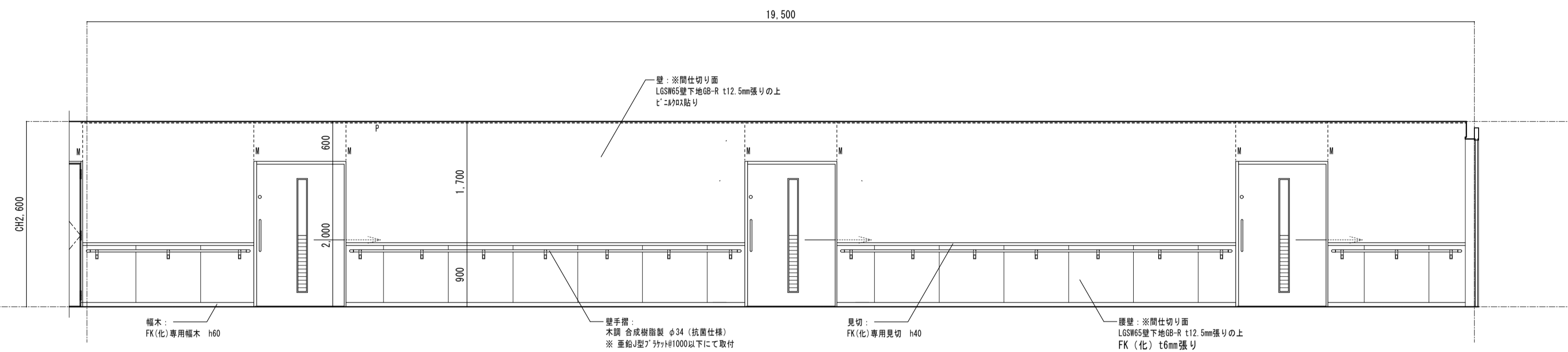
特 記	神田まちづくりセンター改築工事（建築）				設計者	図面名称	SCALE	DATE	SIGN	SHEET No.
	株式会社 <b>ヤスザワ設計</b>				一級建築士事務所 登録 第169646号	展開図 3	A1 (A3) 1:50 (1:100)	令和5年6月		A 26
備 考					一級建築士事務所 登録 第314702号					



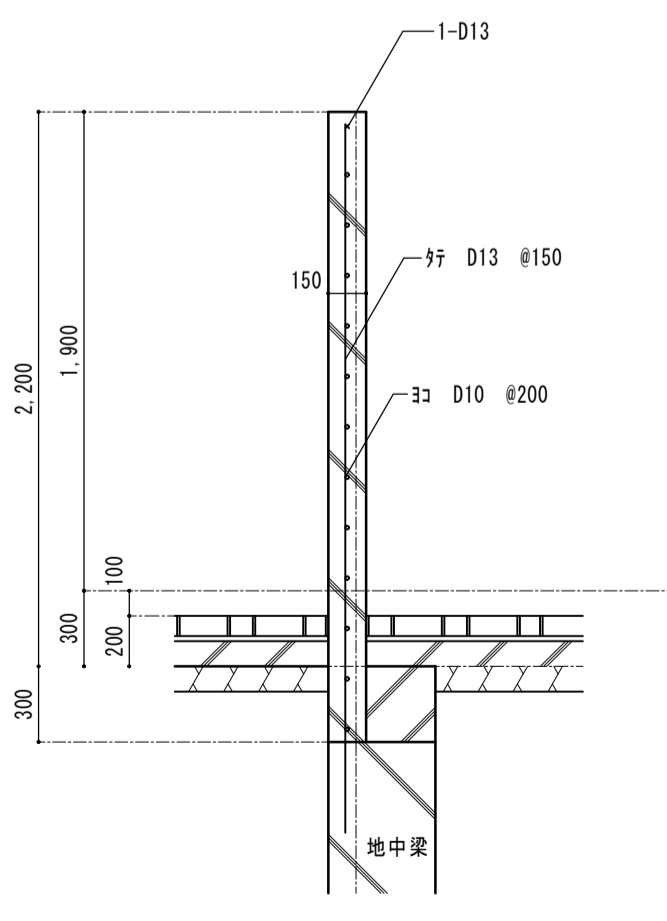
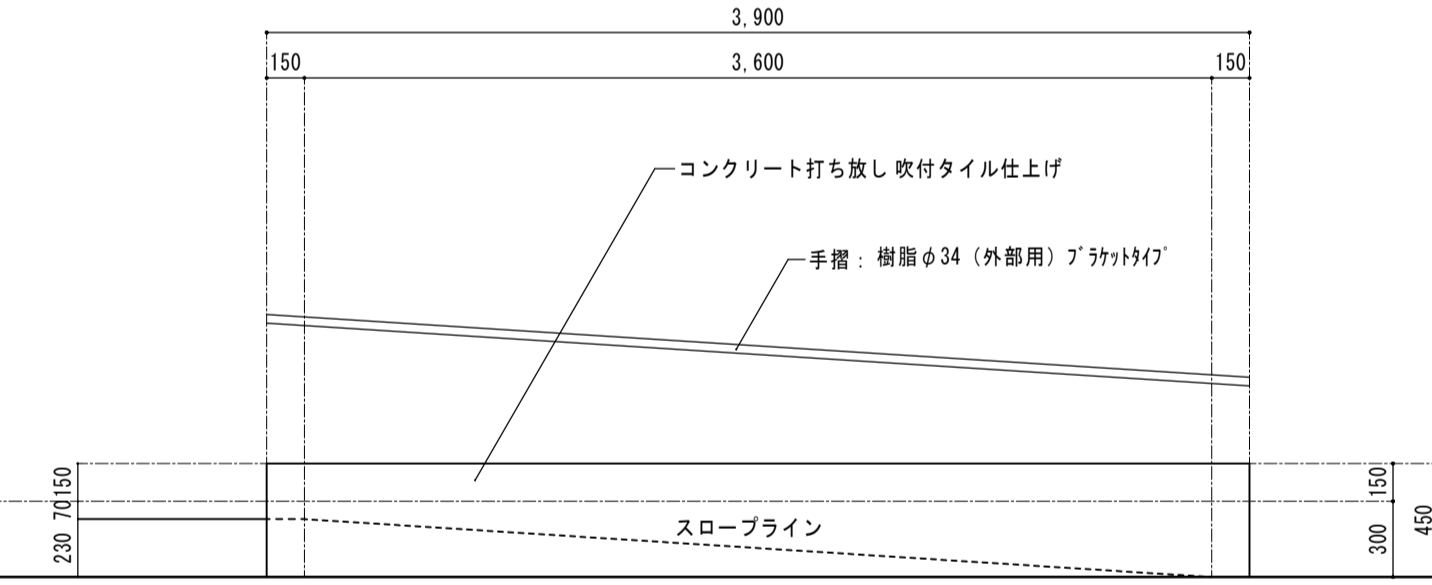
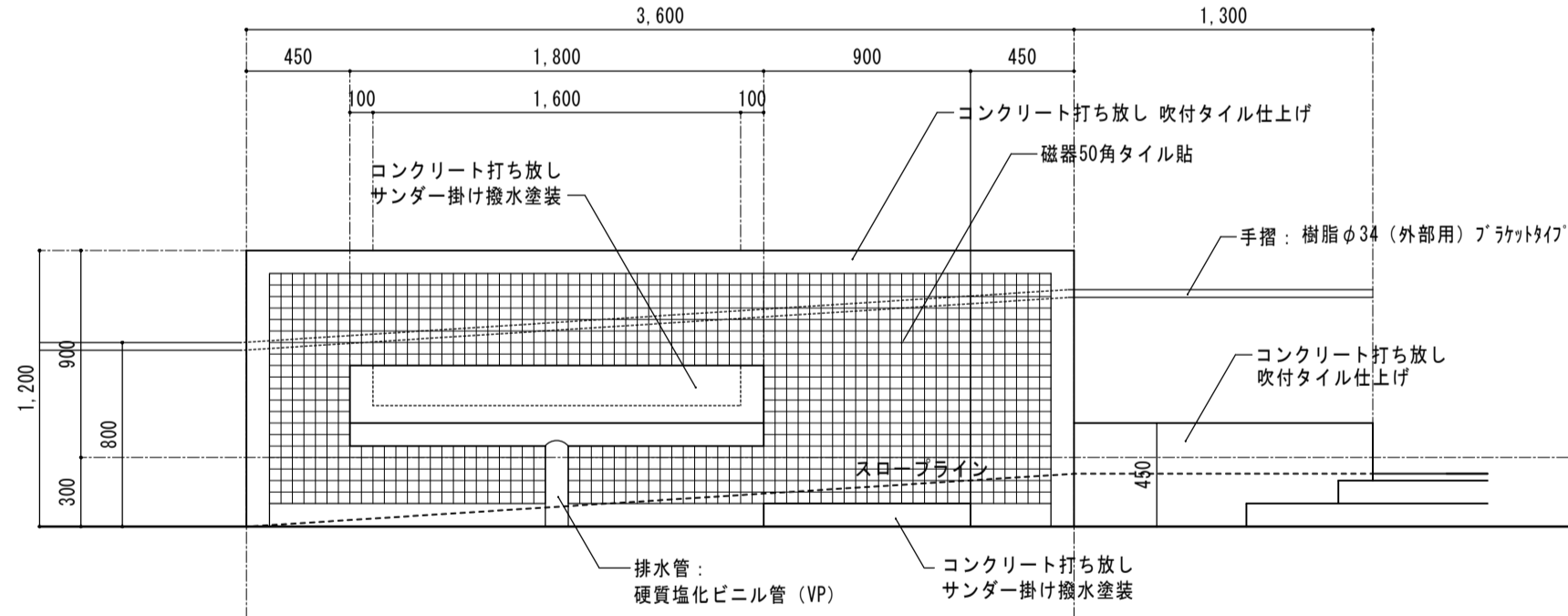
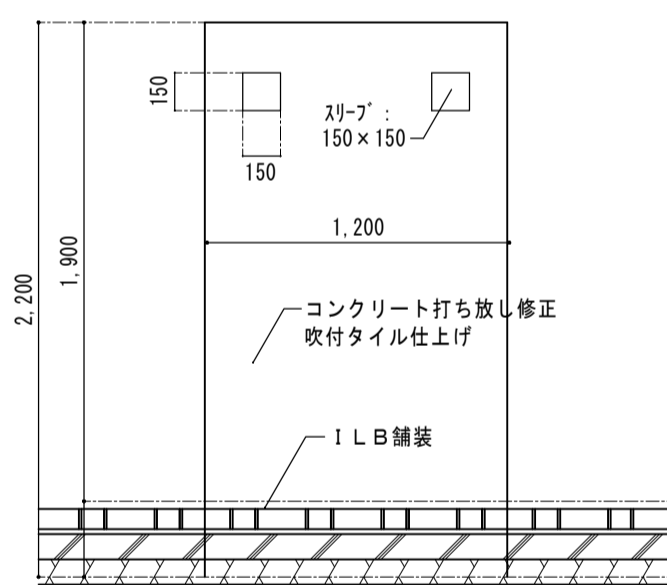
特 記	神田まづくりセンター改築工事（建築）				設計者 一級建築士 登録 第169646号	図面名称 展開図 4	SCALE A1 1:50 (A3) (1:100)	DATE 令和5年6月	SIGN	SHEET No. A
	株式会社 <b>ヤスザワ設計</b>				一級建築士事務所 登録 第314702号	中村 一 三輪 弘幸				27
備 考										



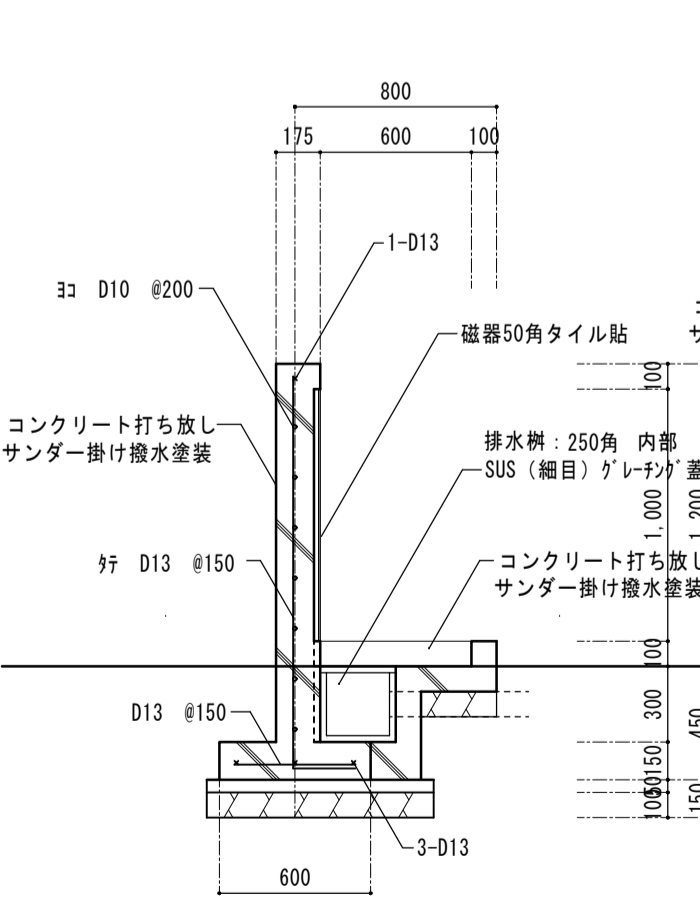
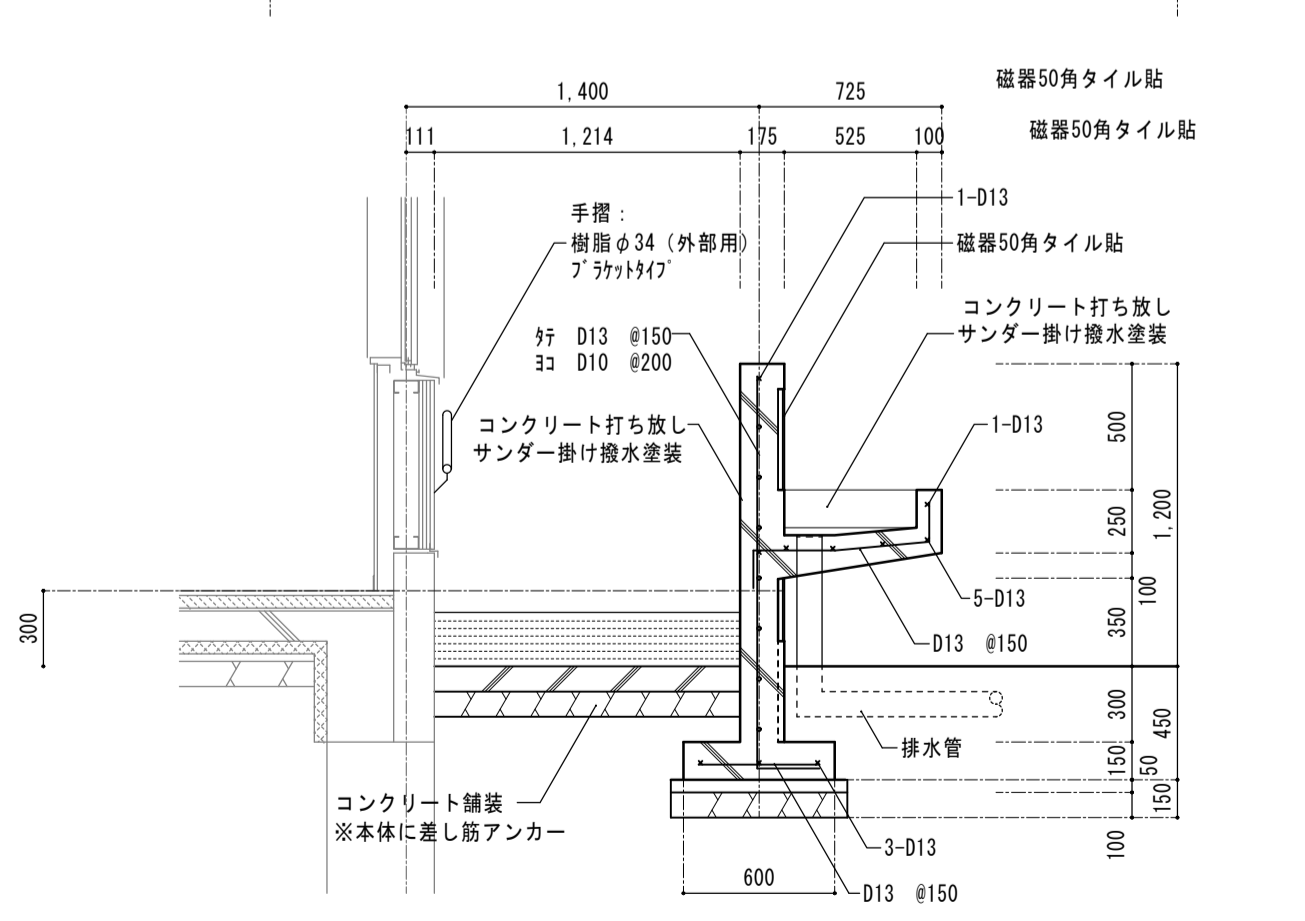
断面 A



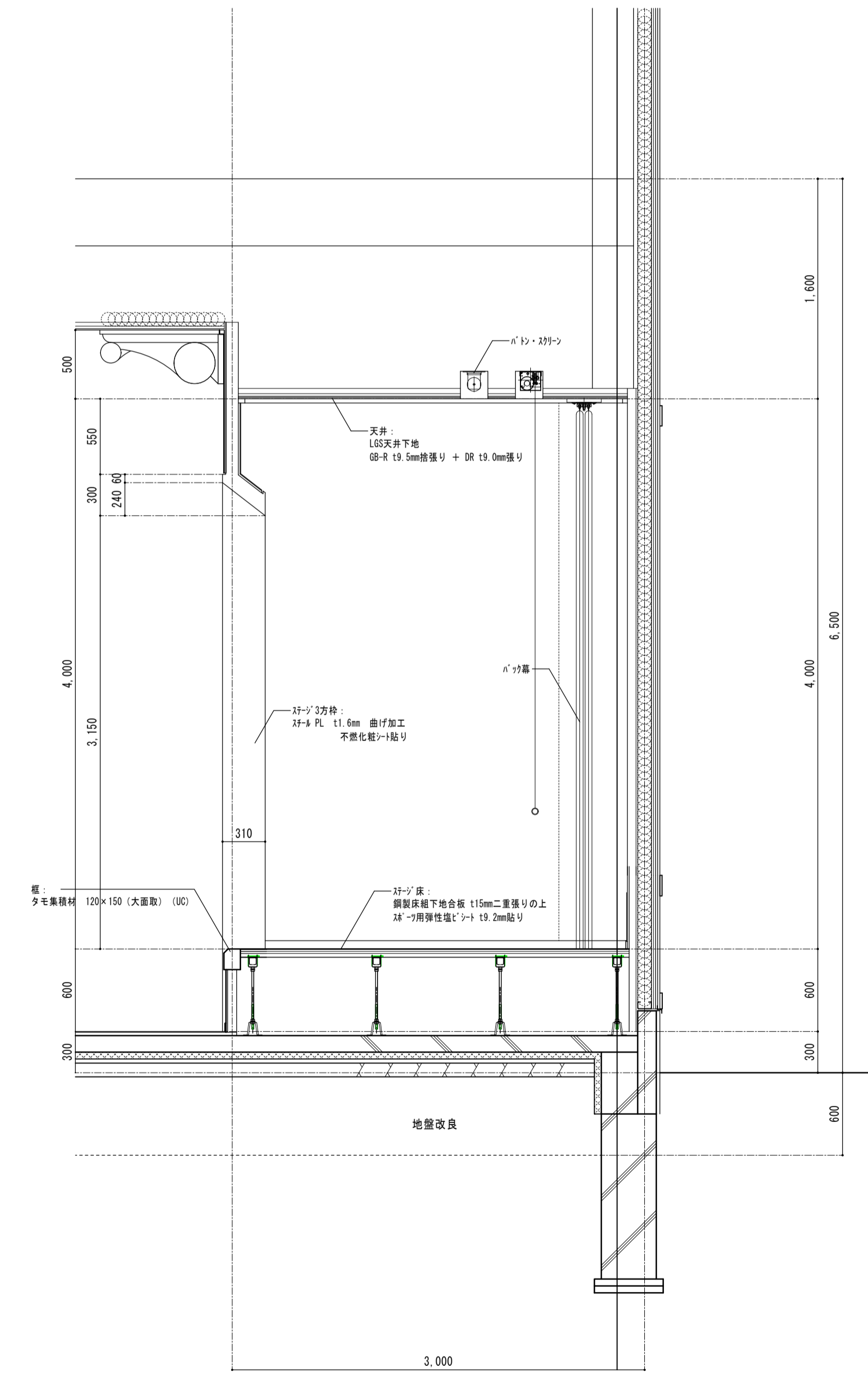
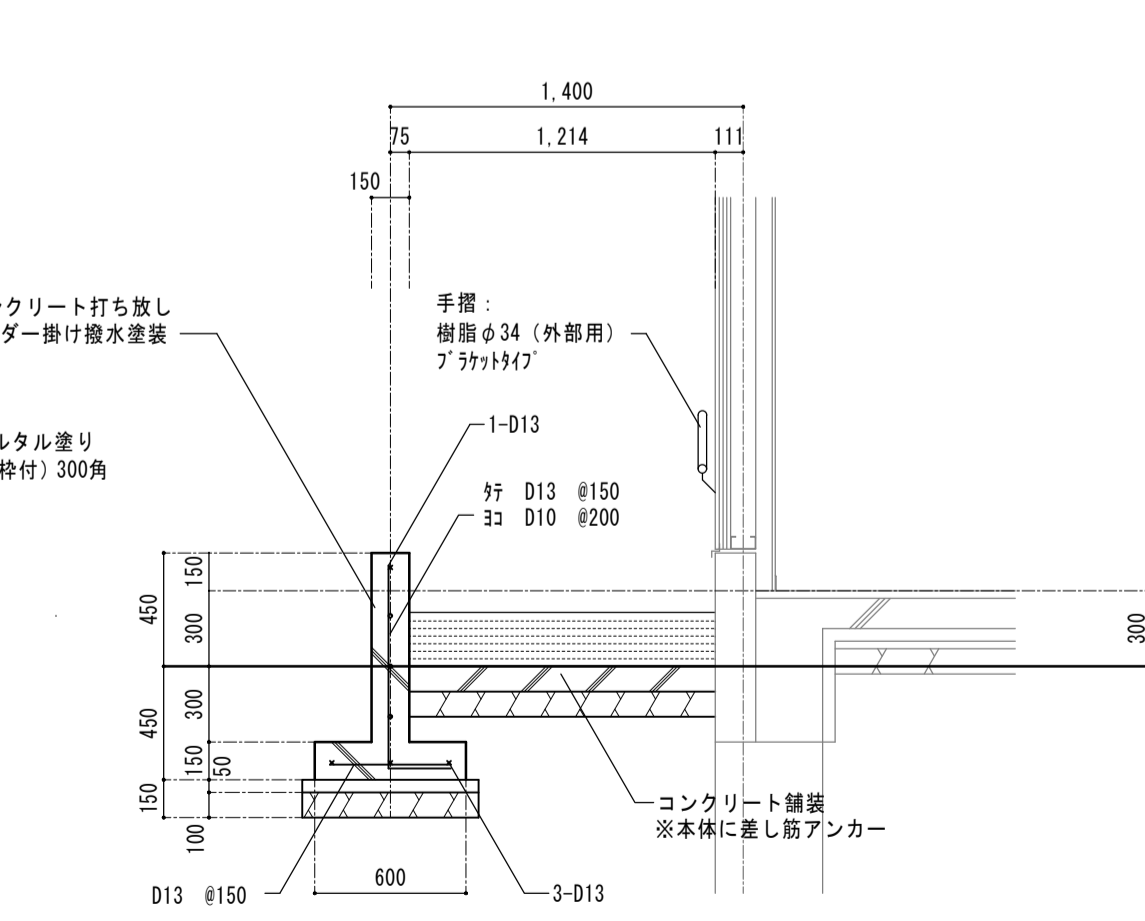
断面 C



玄関ポーチ壁詳細図 S=1:30



外部スロープ・手洗・足洗詳細図 S=1:30



ステージ断面詳細図 S=1:30

特 記	備 考	神田まちづくりセンター改築工事 (建築) <b>株式会社 ヤスザワ設計</b> 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第0-2423号 登録 第169646号 中村 一 一級建築士 登録 第314702号 三輪 弘 幸	設計者 一級建築士 登録 第169646号 中村 一	図面名称 展開図 5 各部詳細図	SCALE A1 (A3) 1:50 (1:100) 1:30 (1:60)	DATE 令和5年6月	SIGN	SHEET No. A 28

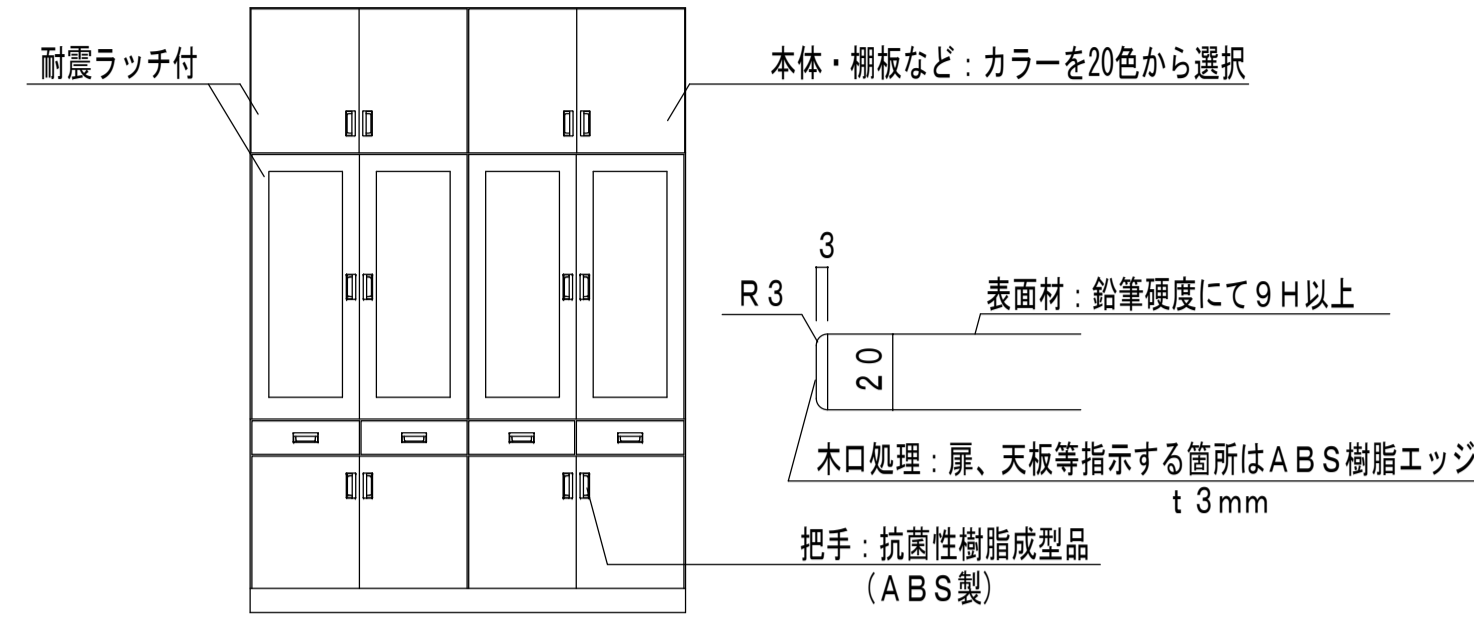






家具工事 共通仕様 「特記なき場合は、下記仕様とする」

- ・主材料：光触媒によるVOC低減効果・抗菌機能付  
両面低圧メラミン化粧パーティクルボード t20 (JIS-A5908) F☆☆☆☆適合品  
光触媒加工は、塗膜の本来の性能を損なわないよう、  
塗装条件、環境が整った工場ラインの設備によって加工を行う事。
- ・但し、永年使用を考慮し、強度確保のため表面硬度は9H以上とする  
(コート紙系パーティクルボードは使用不可)
- ・本体色は選択カラーを20色以上とする
- ・扉まわり及び図面表記部分は安全性を考慮し、ABS樹脂エッジ t3mmを用いる事。
- ・ガラス戸は安全性を考慮し、強化ガラス t4mmを用いる事。
- ・上段・中段の開き戸は、耐震ラッチ付とする。

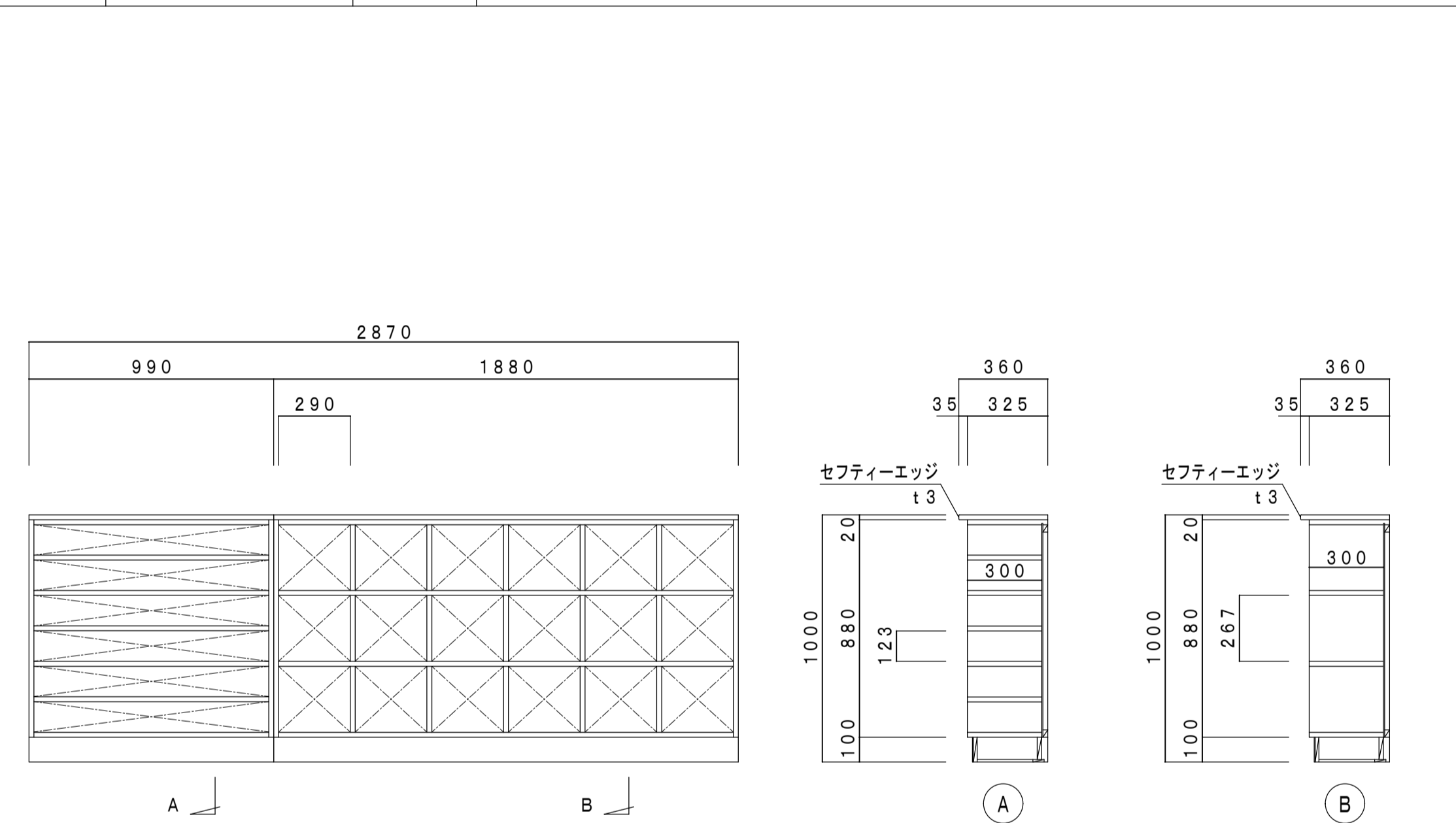


共通事項

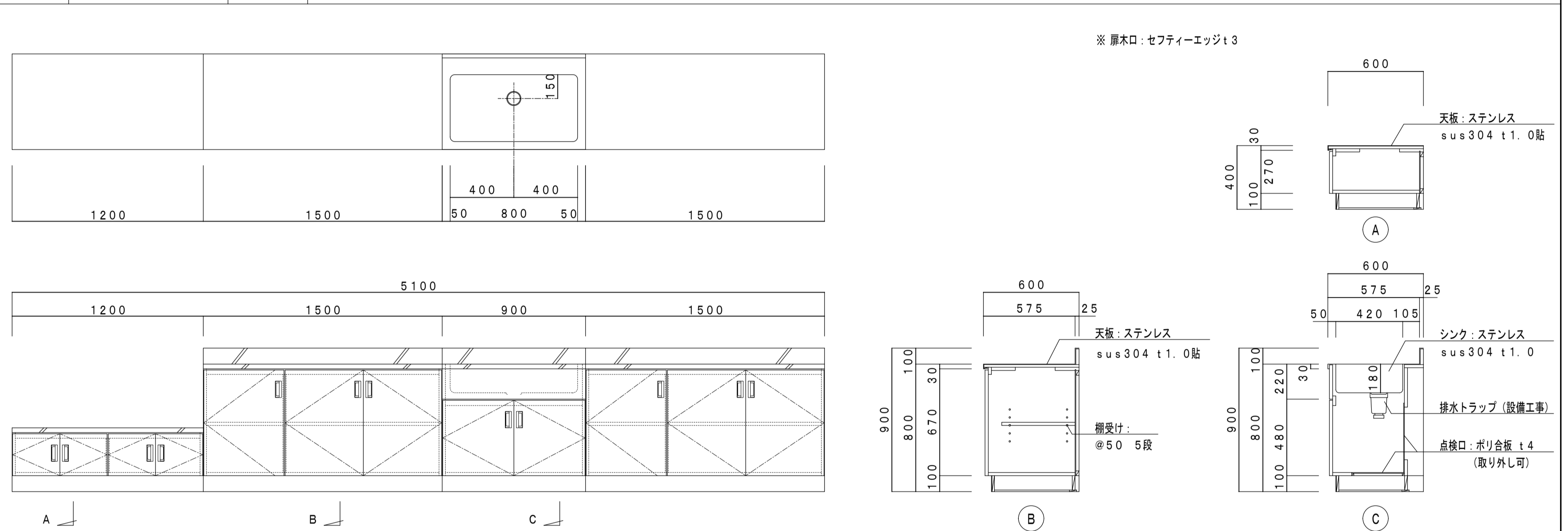
永年使用及び安全・安心・確実な工事とするため以下の点に留意すること。

- ・製作はISO9001取得工場が行い、確かな品質・現場管理を心掛けること。
- ・製作する家具の品質証明書(材料の安全データシート含む)を事前に提出し承認を受けて製造する事。
- ・材料及び使用する金物類については、事前にサンプルを提出し承認を受けて製造する事。また、既製品についてはカタログ等、その仕様を確認できる資料を提出して承認を受けること。
- ・安全性を考慮し、全ての家具は耐震固定することとする。  
(上下左右の連結及び必要箇所を壁または床に固定すること。)
- ・主材料以外の集成材、合板、接着剤なども環境に配慮し、F☆☆☆☆適合品を使用することとする。
- ・家具については、内田洋行同等品以上とする。

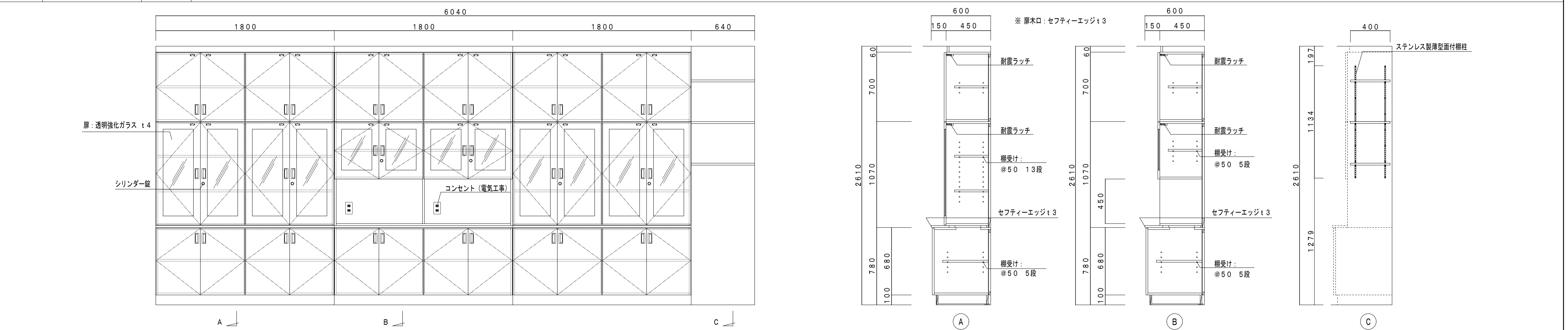
F-1 スリッパ入れ・オープン棚 1ヶ所 調理実習室

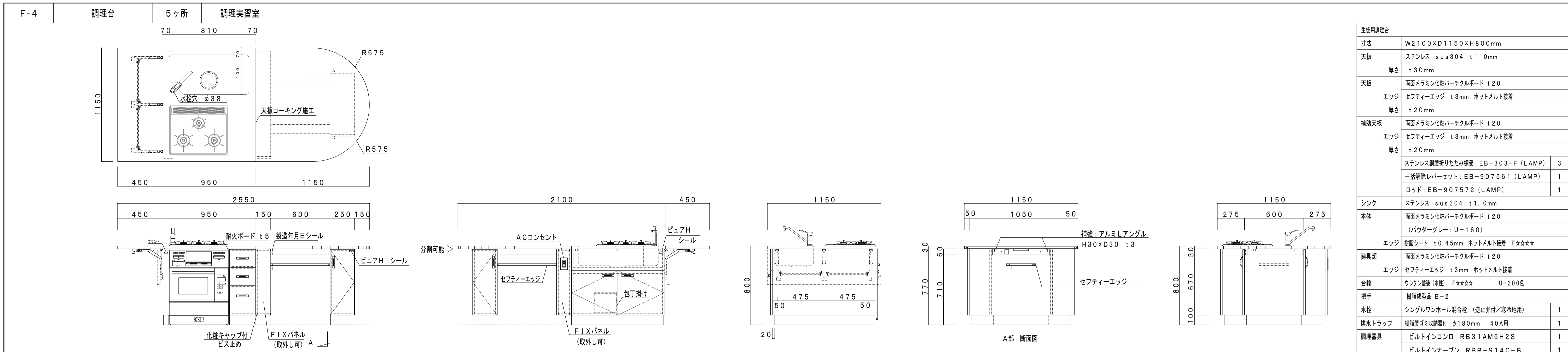


F-3 作業台・流し台・コンロ台 1ヶ所 調理実習室



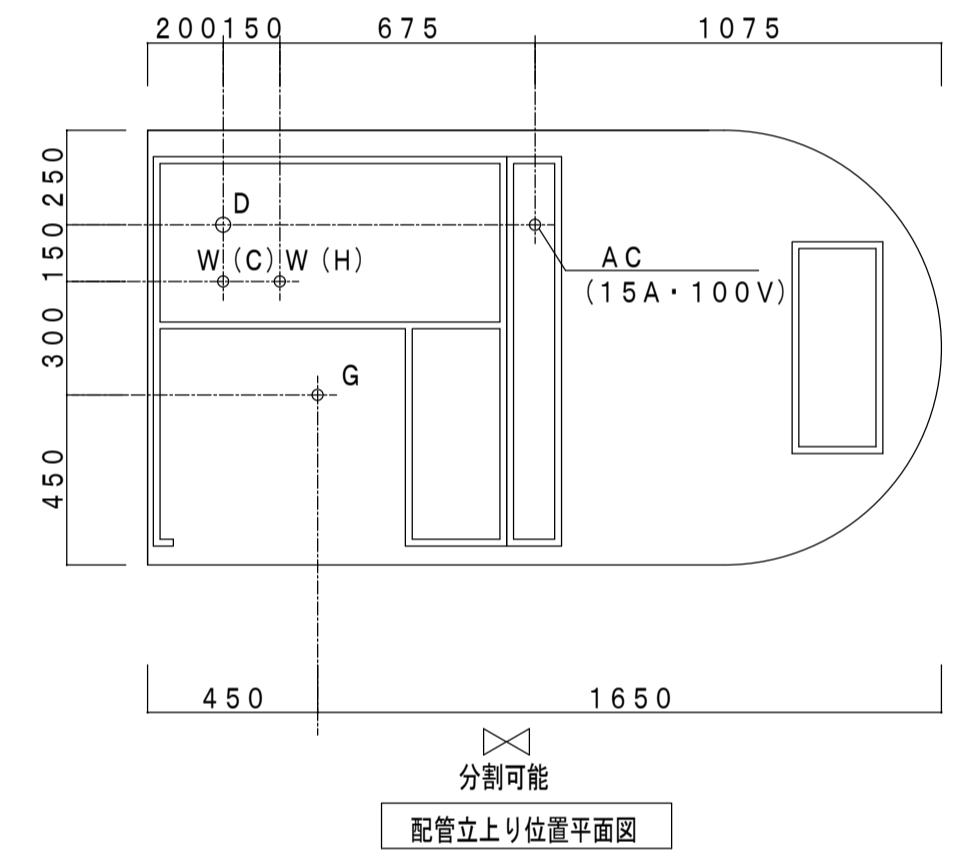
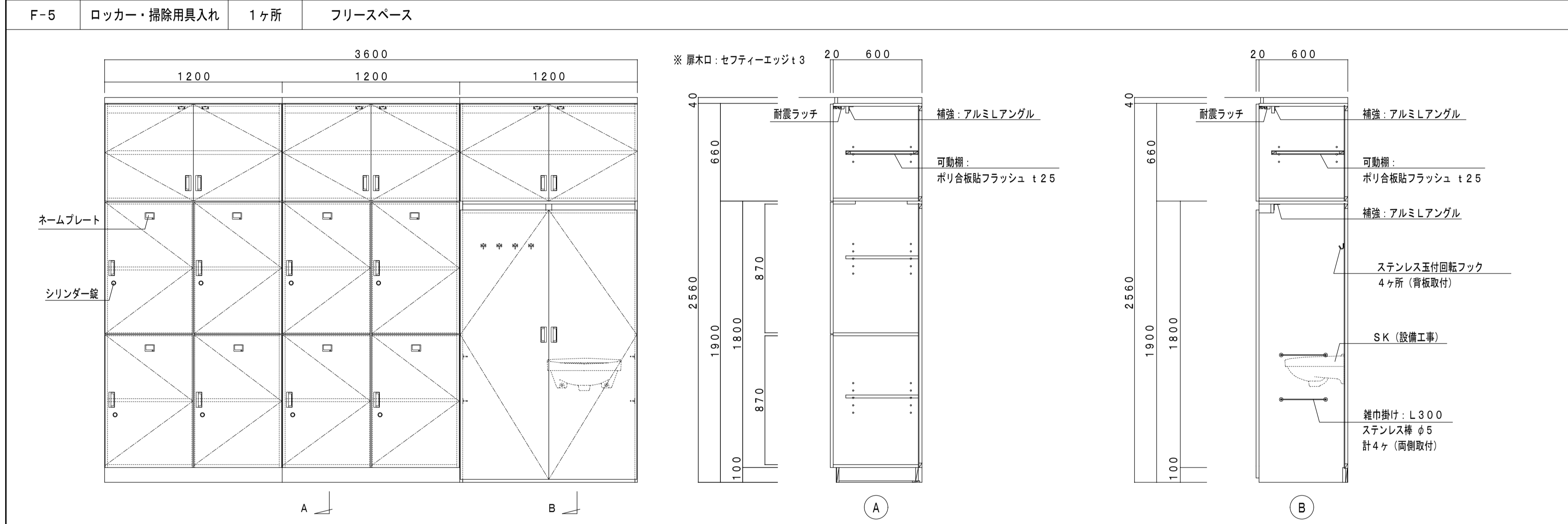
F-2 壁面収納戸棚 1ヶ所 調理実習室



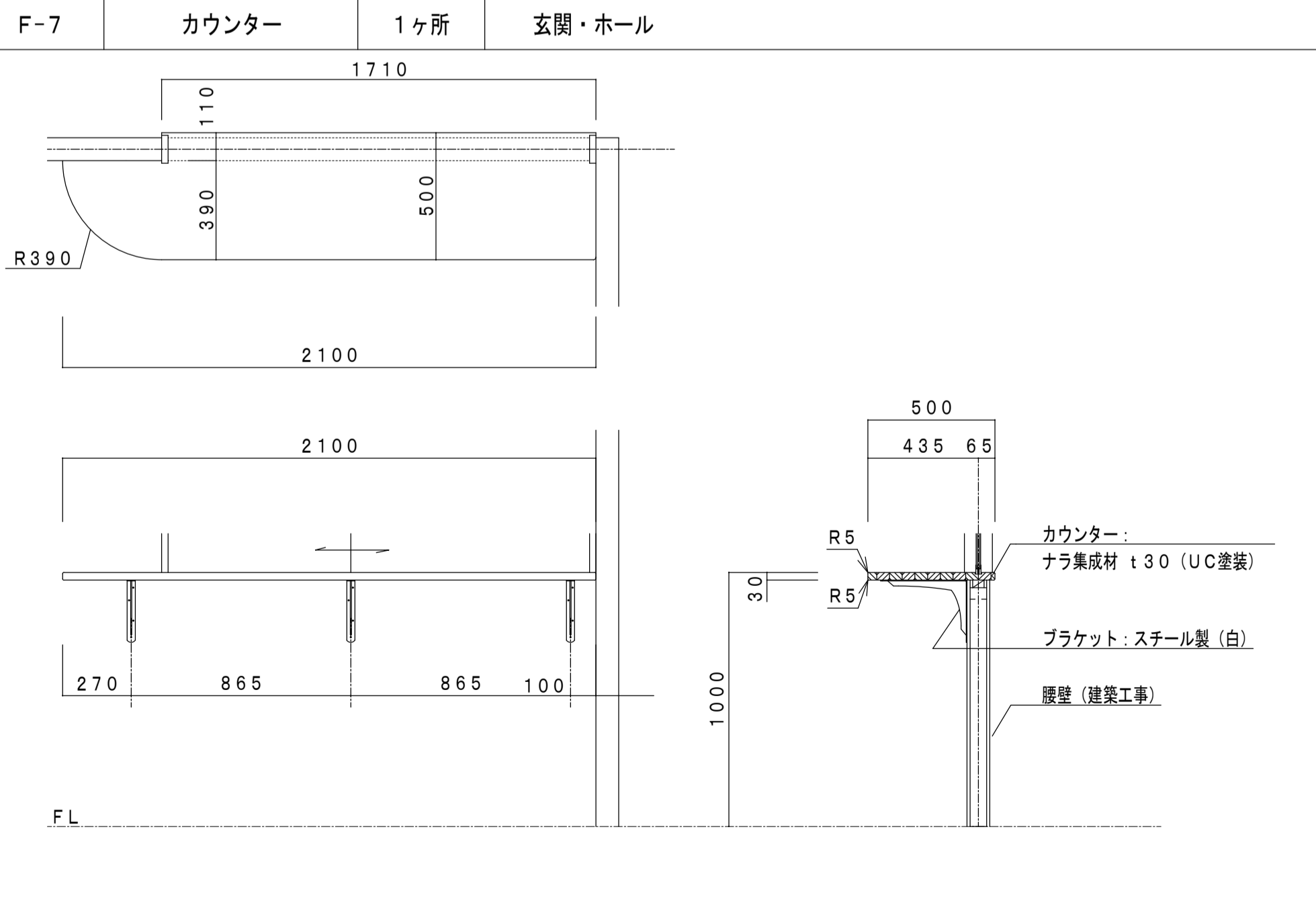
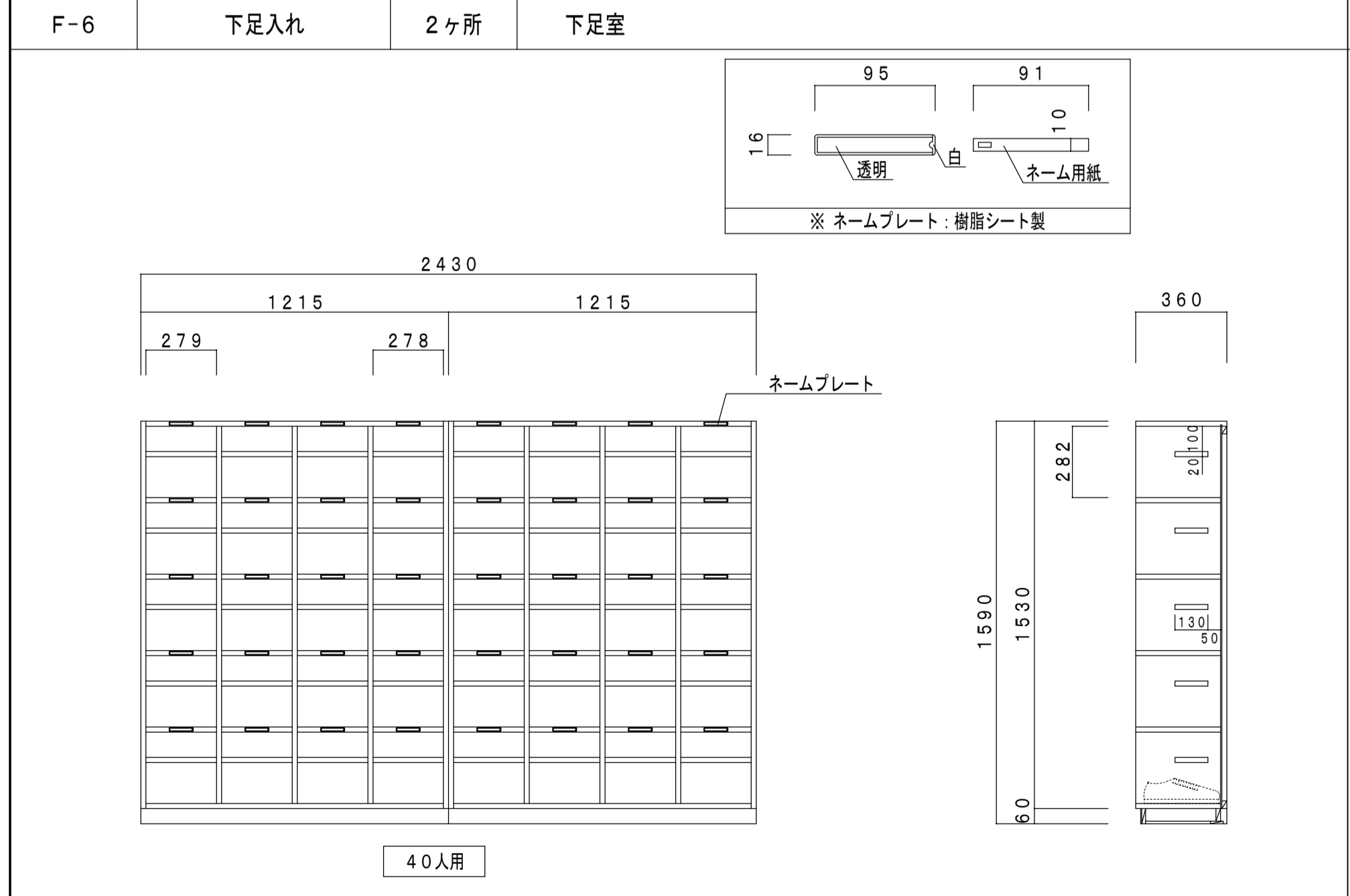


生使用調理台	W2100×D1150×H800mm
寸法	W2100×D1150×H800mm
天板	ステンレス sus304 t1.0mm
厚さ	t30mm
天板	両面メラミン化粧パネルボード t20
エッジ	セフティーエッジ t3mm ホットメルト接着
厚さ	t20mm
補助天板	両面メラミン化粧パネルボード t20
エッジ	セフティーエッジ t3mm ホットメルト接着
厚さ	t20mm
	ステンレス鋼製折りたたみ棚受: EB-303-F (LAMP) 3
	一括解除レバーセット: EB-907561 (LAMP) 1
	ロッド: EB-907572 (LAMP) 1
シンク	ステンレス sus304 t1.0mm
本体	両面メラミン化粧パネルボード t20
	(パウダーグレー: U-160)
エッジ	樹脂シート t0.45mm ホットメルト接着 F☆☆☆☆
建具類	両面メラミン化粧パネルボード t20
エッジ	セフティーエッジ t3mm ホットメルト接着
台輪	ウレタン塗装 (水性) F☆☆☆☆ U-200色
把手	樹脂成型品 B-2
水栓	シングルワンホール混合栓 (逆止弁付/寒冷地用)
排水トラップ	樹脂製ゴミ収納器付 φ180mm 40A用
調理器具	ビルトインコンロ RB31AM5H2S 1
	ビルトインオーブン RBR-S14C-B 1
コンセント	AC:100V 2口アースターミナル付 1
	AC:100V 露出1口アースターミナル・接地極付 1
包丁掛け	樹脂成型品 1

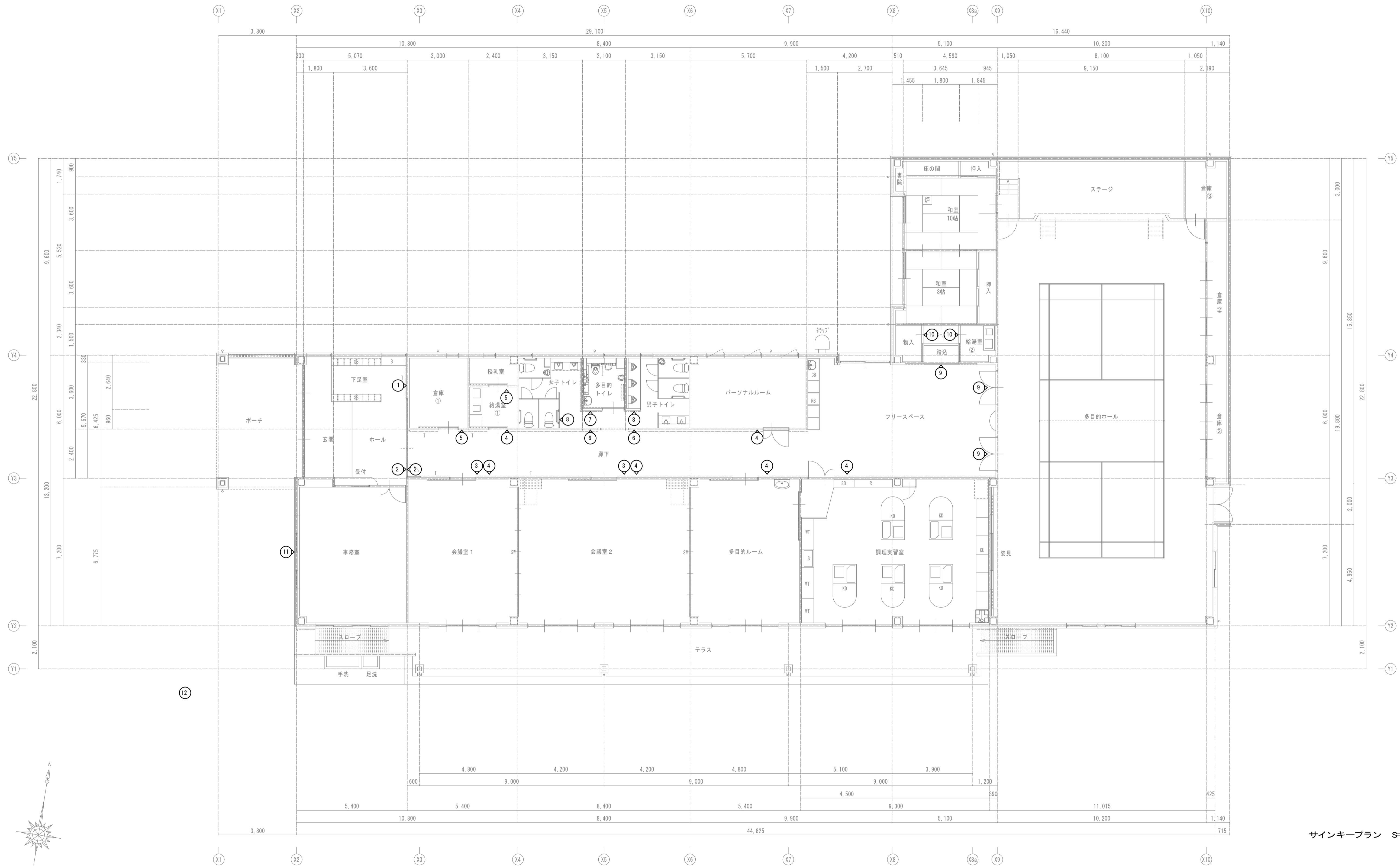
※ユニボード ビュアHi: VOC低減・抗菌機能付



配管 (床90mm以内)	
W	2×15A型
D	40VP
G	15A型
AC	15A-100V
ガス種	







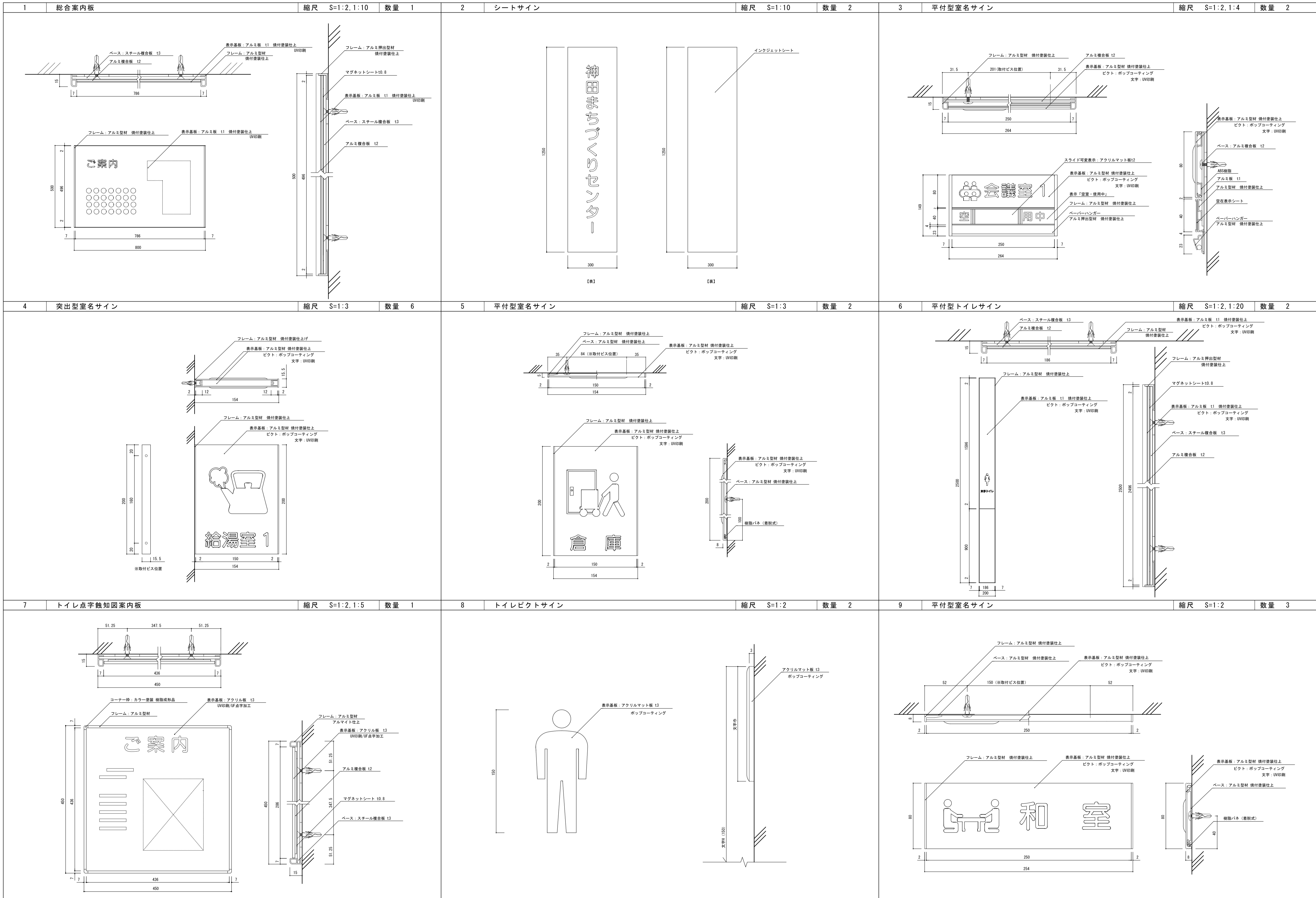
サインキープラン S=1:100

■ サインキープラン 凡例

①	- 総合案内板
②	- シートサイン
③	- 平付型室名サイン
④	- 突出型室名サイン
⑤	- 平付型サイン
⑥	- 平付型トイレサイン
⑦	- トイレ点字触知案内板
⑧	- トイレピクトサイン
⑨	- 平付型サイン

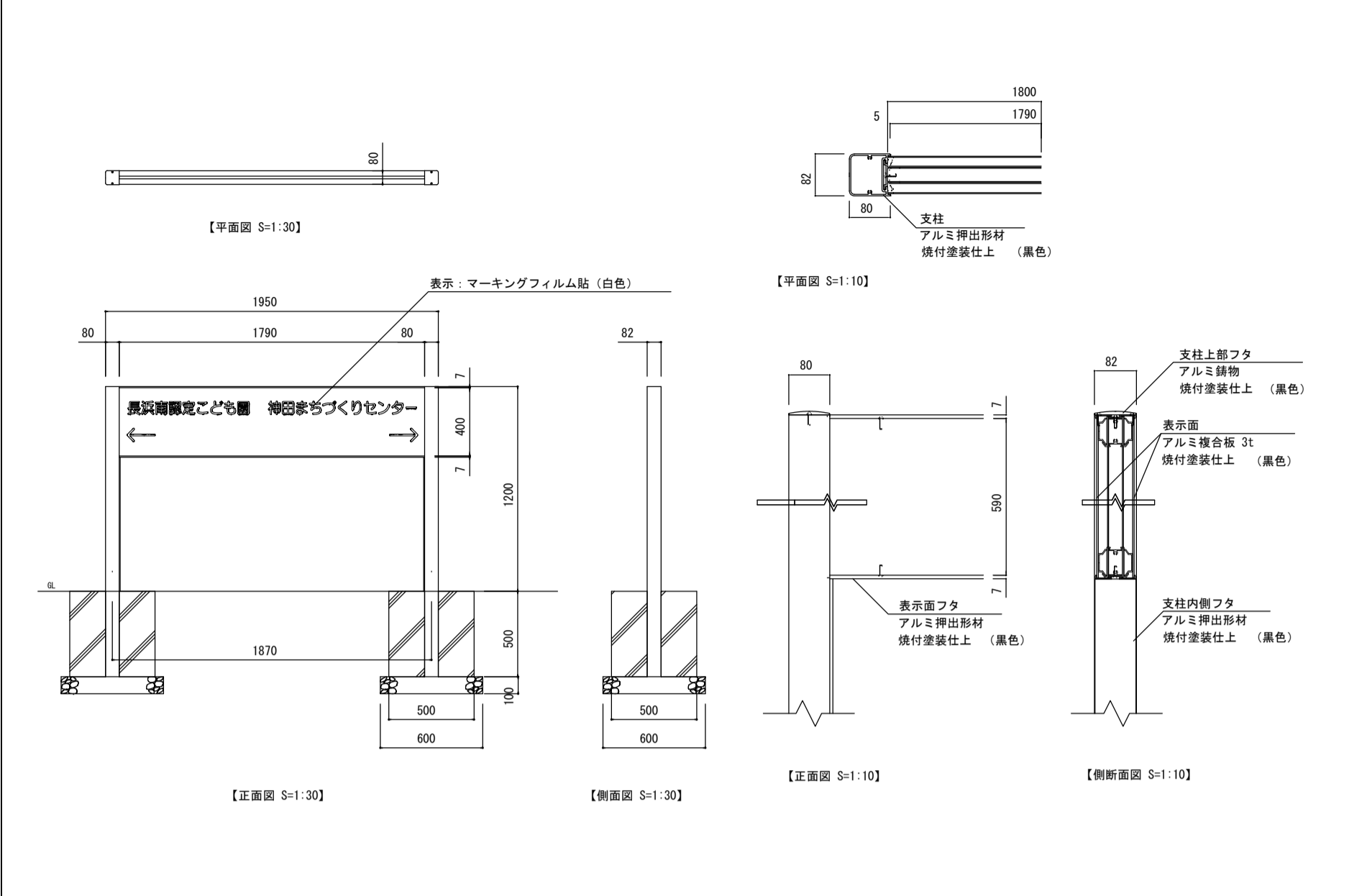
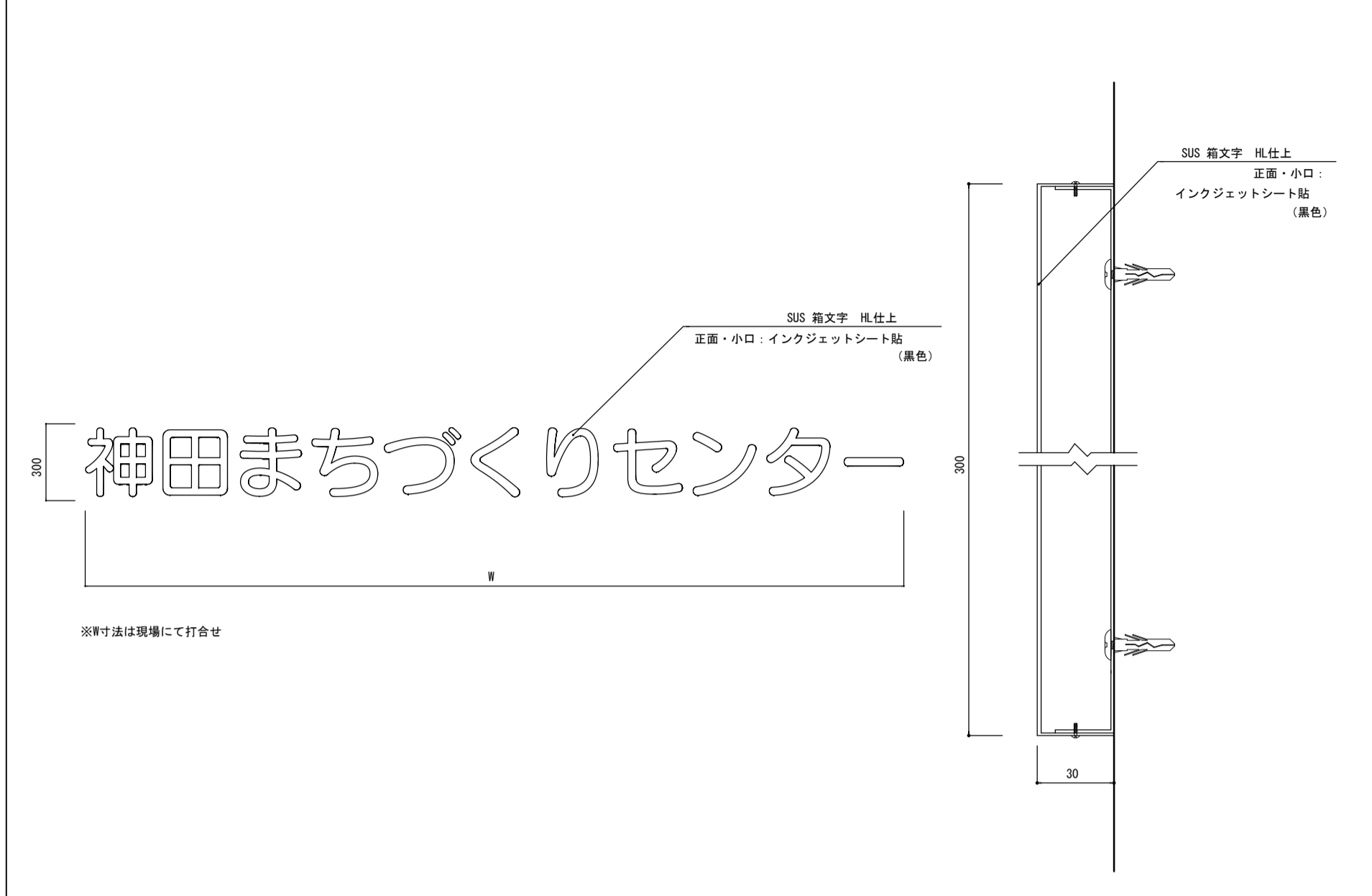
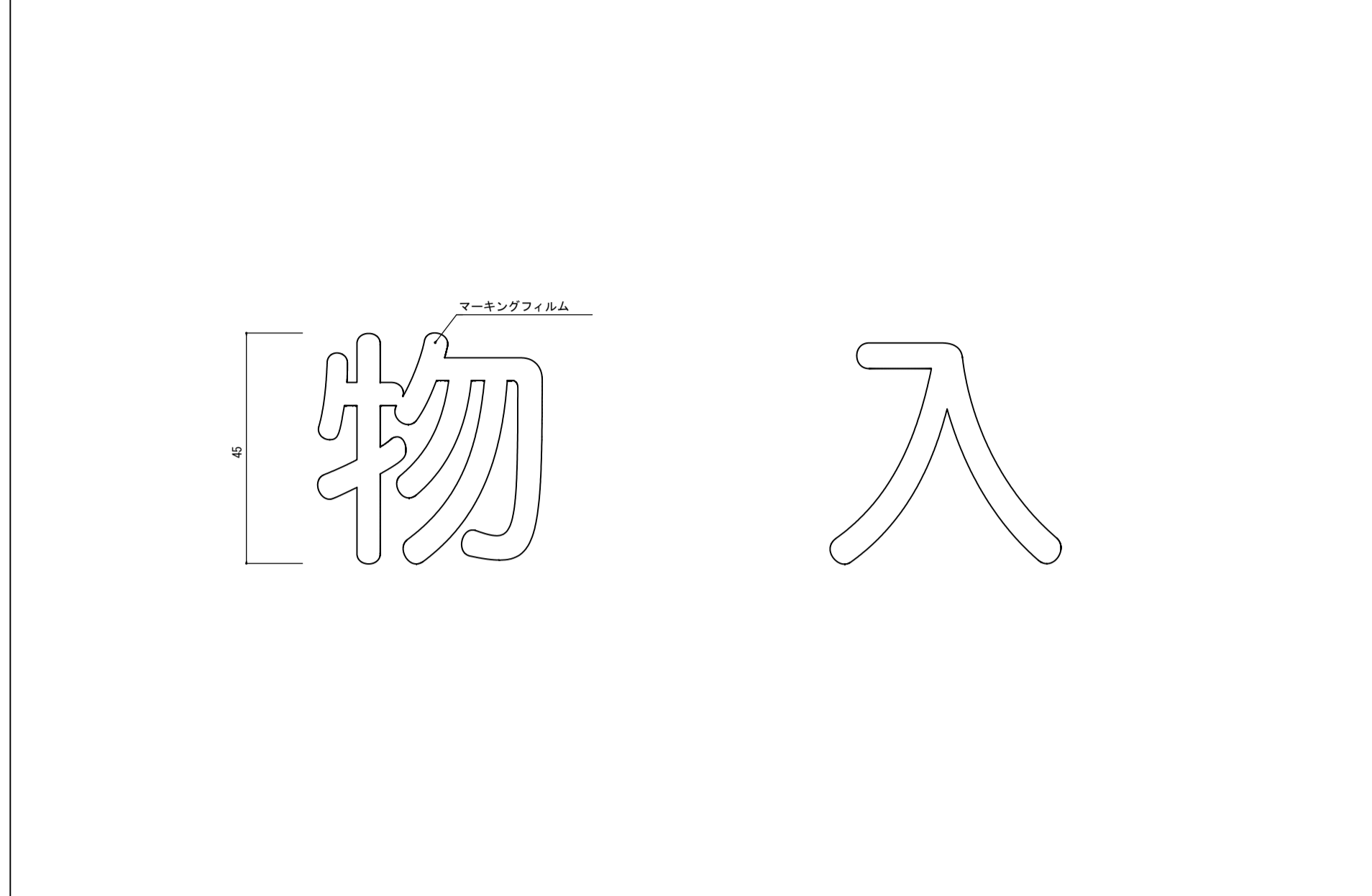
⑩	- バックヤードサイン
⑪	- 館名サイン
⑫	- 自立型サイン

■ 特記事項

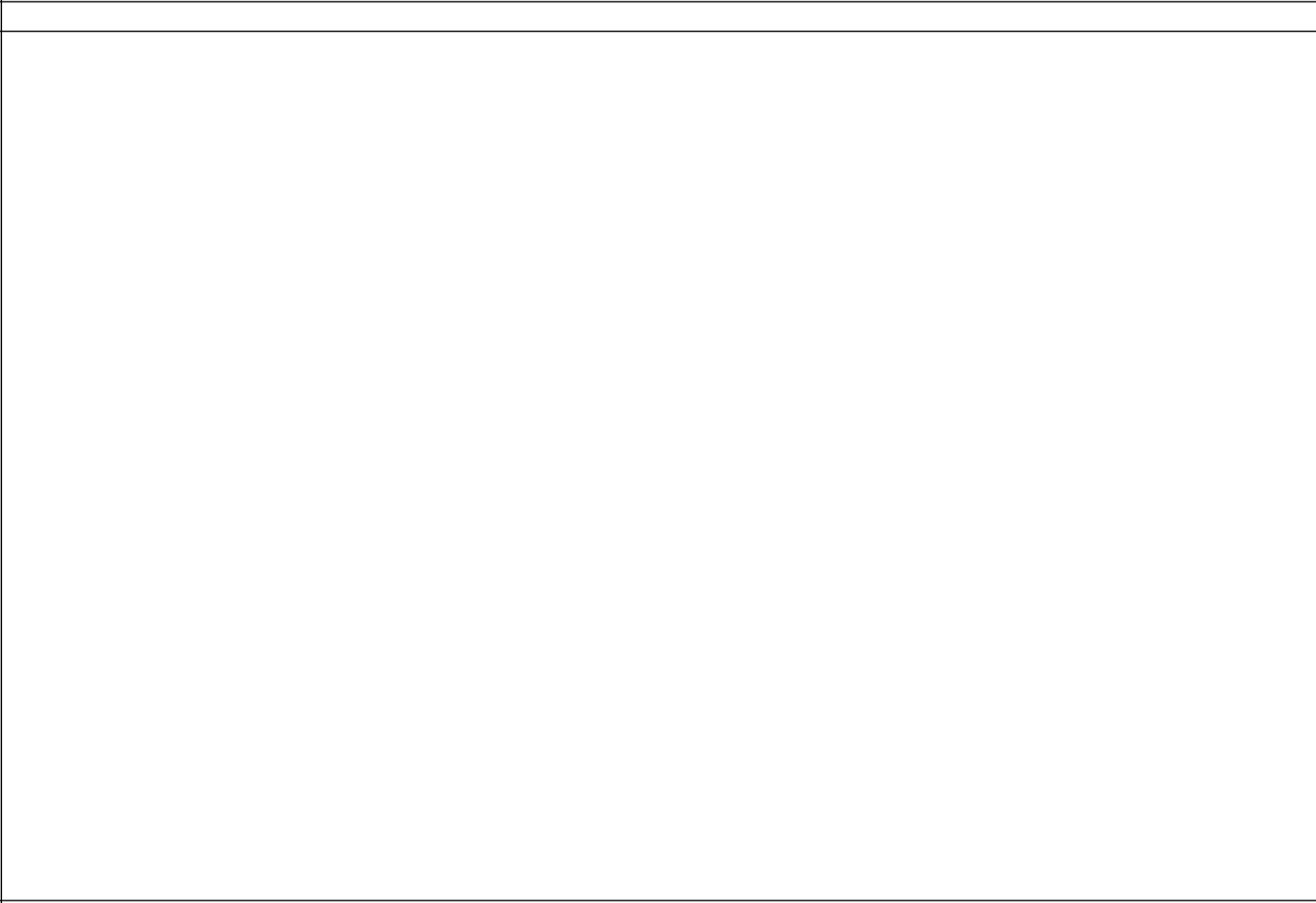
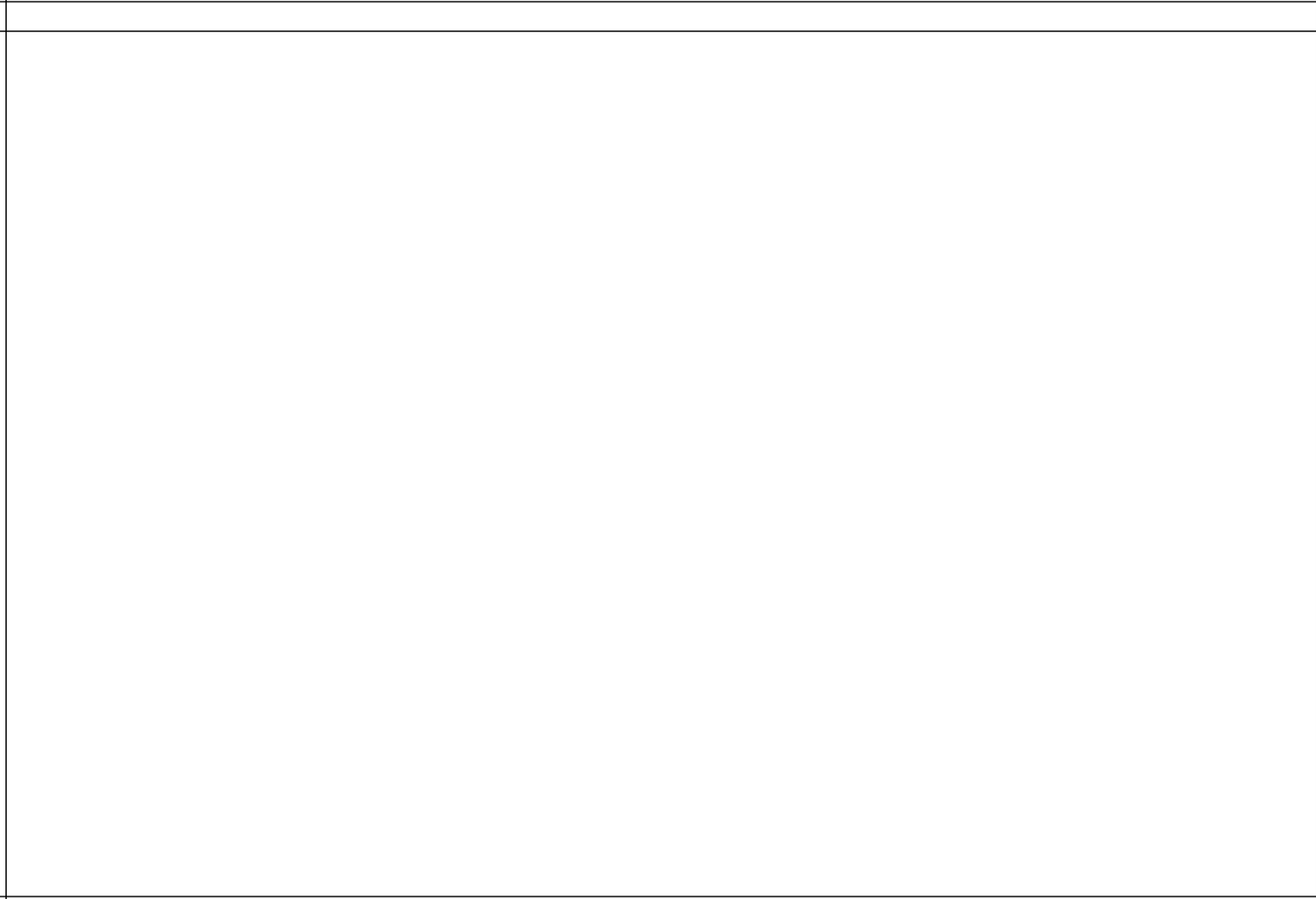



特記	設計者	一級建築士 中村 一	図面名称	サイン詳細図 1	SCALE	A1 (1:2, 3, 4), A3 (1:4, 6, 8, 10, 20, 40)	DATE	令和5年6月	SIGN	SHEET No.	A
	発注者	株式会社 ヲスザワ設計	図面番	第169646号	SCALE	1:2, 3, 4, (1:4, 6, 8, 10, 20, 40)	DATE		SIGN		35
備考	設計事務所	一級建築士事務所 登録 第0-2423号	発注者	株式会社 ヲスザワ設計	図面番	第169646号	DATE		SIGN		
	発注者	株式会社 ヲスザワ設計	図面番	第169646号	図面番	第169646号	DATE		SIGN		

10	バックヤードサイン	縮尺 S=1:1	数量 2	11	館名サイン	縮尺 S=1:2, 1:20	数量 1	12	自立型サイン	縮尺 S=1:10, 1:30	数量 1
----	-----------	----------	------	----	-------	----------------	------	----	--------	-----------------	------



- サイン特記仕様
- [1] 使用材料
- a. 木材 : VOC商品 (ホルムアルデヒド基準F☆☆☆☆対応) とする。
  - b. アルミ : JIS-H4100 A-6063 S-T5 (アルミ押出型材)
  - c. アクリル : JIS-K-6718
  - d. ステンレス : JIS-G4305 SUS304, HL仕上
- [2] フォント
- a. 書体については、丸ゴシックは「スーラDB」、角ゴシックは「新ゴM」を基準とする。  
※ただし、係員より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。
- [3] ピクトグラム
- a. 図柄については、原稿を作成し係員の承認を受けること。
- [4] カラーユニバーサル
- a. CUDカラー認証取得業者での製作とする。
- [5] 取付位置・方法
- a. 取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定する。
  - b. 取付方法については、取付位置の地下などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。
  - c. 障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定する。
- [6] その他
- a. 室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるよう脱着式を基本とする。  
又、室名札脱着の際には スライドロック機構、専用吸盤などを利用し商品の損傷等がなくスムーズに脱着できる仕様とすること。
  - b. サイン計画については、当施設の他工事と充分に調整協議をすること。



特記		備考		神田まちづくりセンター改築工事 (建築)		設計者	図面名称	SCALE	DATE	SIGN	SHEET No.
				株式会社 <b>ヤスザワ設計</b>	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第0-2423号 一級建築士 登録 第169646号 登録 第314702号	中村 一	サイン詳細図 2	A1 (A3) 1:1, 2, 10, 20, 30 1:1, 2, 4, 20, 40, 60	令和5年6月		A 36

■ 建具工事 特記仕様書

建具符号と図面表示

Table with columns for 記号表示方法, 扉・サッシウの性能記号, シャッターの記号. Includes diagrams for door types (T, AT, SAT) and shutter types (W, F, S, G, L, O).

建具の種類と符号 (建具符号の材質は、扉の場合は扉の材質、シャッターの場合はスラットの材質とする)

Table listing door and shutter types with their corresponding symbols and material codes. Includes categories like 鋼製扉, 鋼製窓, 鋼製サッシ, etc.

枠の形状、規格寸法 特記なき限り下記寸法を原則とする

Table showing frame shapes and dimensions for various door types (A, B, C, D, E, F, G, H, J, K, L). Includes diagrams and dimensions for each type.

ガラスの種類と符号

Table listing glass types and their symbols, such as FL (70-1板ガラス), F (型板ガラス), SB (すり板ガラス), etc.

錠の種類と符号

Table listing lock types and their symbols, including DH (シリンダー形込本錠), K (シリンダー形込箱錠), M (本錠まり付ロック), etc.

ハンドル・押手類の形状

Table listing handle and pusher shapes with their symbols, such as LH (レバーハンドル), OH (回転把手), etc.

建具金物の種類と符号

Table listing hardware types and their symbols, including T (丁香), N (ヒンジ), P (ビス), etc.

召し合わせ

Table showing door meeting details for various types (外部一般, 内部一般, 内部SAT, 防火扉, 外部エアタイト, 指づめ防止).

沓槽の形状

Table showing threshold shapes for different door types (A, B, C, D, E) with detailed diagrams and material specifications.

塗装略号

Table listing paint abbreviations for different materials and finishes, such as 2-FUE (常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗り), etc.

その他の略符号

Table listing other abbreviations for materials like St (鋼), AL (アルミ), SUS (ステンレス), etc.

ガラリ形状

Table showing grille shapes (1類, 2類) with diagrams and material specifications.

■ 特記事項

1. 一般共通事項

- List of general common items including 1) 建具共通事項は特に図がない場合に適用する, 2) 建具寸法は、特記なき限り枠内寸法を示し、製作にあたっては再度現場調整・製作図作成の上、監督員の承認を得ること, etc.

2. 7&304製建具共通事項

- List of common items for 7&304 construction including 1) 7&304は全て型材とする, 2) 窓枠の形状は特記なき限りAとする, 3) 窓の扉板・縦線の仕様は特記なき限りA製とし、断熱材を裏打ちとする, etc.

3. 鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具共通事項

- List of common items for steel construction including 1) 窓枠は、SUS304HL t=2.0とする, 2) 寒冷地の場合は、外部部の窓枠に結露受けを設ける, 3) 扉枠の形状は、特記なき限りAとする, etc.

4. 建具用金物共通事項

- List of common items for hardware including 1) 7&304製建具の建具金物は下記を取り付ける, 2) 鋼製・SUS製の建具金物は下記を取り付ける, etc.

Table showing hardware specifications with columns for 基本性能・開閉方式, 支持金物, 錠, 付属金物, and other details.

Table showing hardware specifications with columns for 基本性能・開閉方式, 支持金物, 錠, 付属金物, and other details.

- List of common items for hardware including 3) レバーハンドルは、SUSHLとする, 4) 引手の長さは、特記による。特記なき場合はL=600程度 (SUS) とする, 5) シリンダー錠は、室内側：9&304、室外側：9&304錠とする, etc.

5. 自動ドア開閉装置、自閉式吊引き戸装置共通事項

- List of common items for automatic door and self-closing door including 1) オートドアには、天井付光線式反射センサーを付け、天井及び底のない箇所は無目取り付けを標準とする, etc.

6. シャッター関係共通事項

- List of common items for shutters including 1) ガイドレールには底板をつけ、材質はSUS304HLとする, 2) シリンダーのステンレス部材はSUS304HLとする, etc.

7. ガラス・ガラリ関係共通事項

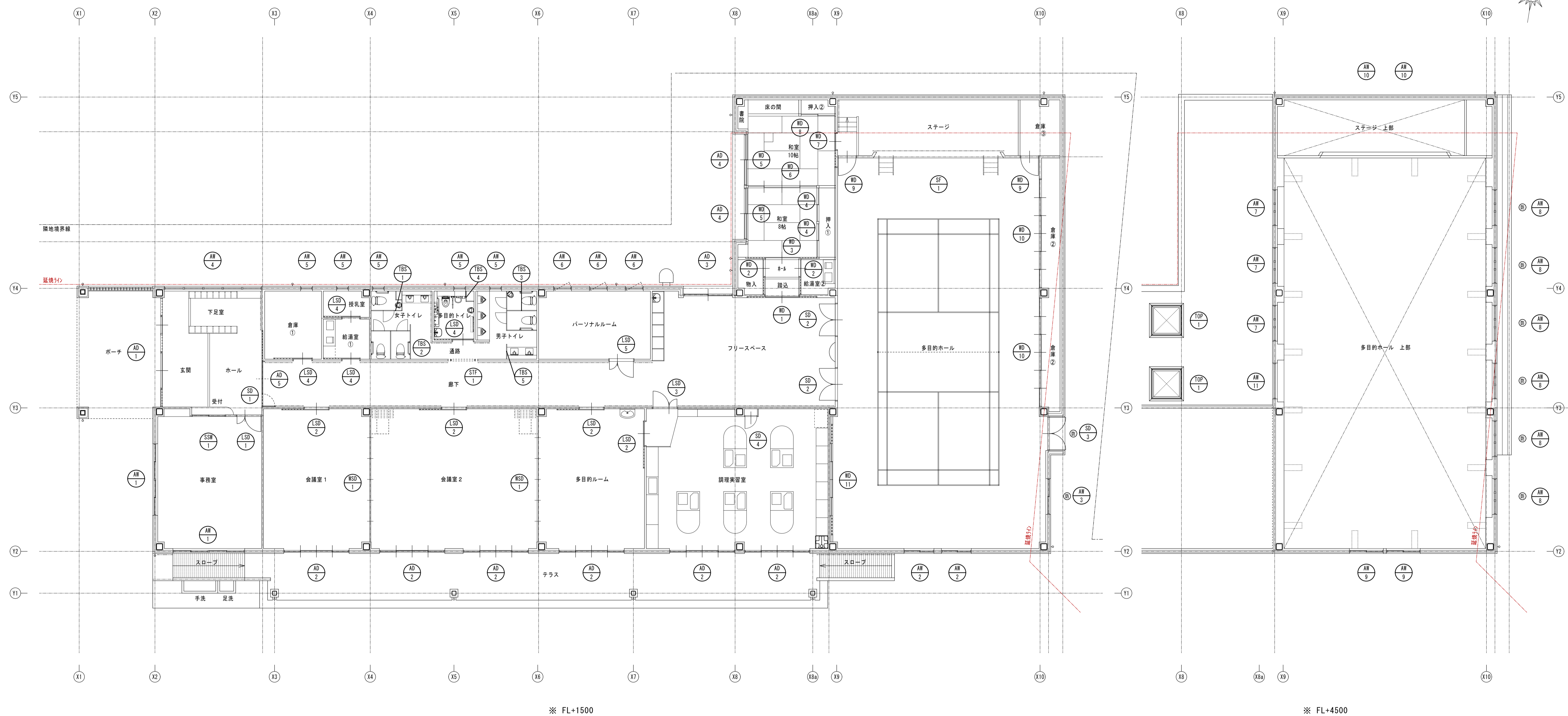
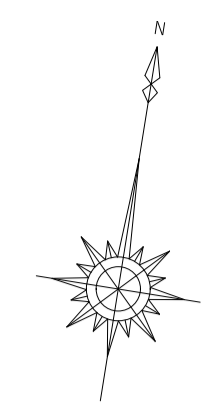
- List of common items for glass and grilles including 1) 網入りガラス、合わせガラスの小口処理は、24番ガラス工事特記仕様書による, 2) 床面よりの窓・開口部のガラスは、SUSHL衝突防止タイプ (6000程度) 付とする, etc.

8. 木製建具共通事項

- List of common items for wood construction including 1) 横及び縦子の敷居は敷居すべり付とする, 2) 横の仕上は新島の子とし、枠は木枠に樹脂塗料塗りとする, etc.

9. その他共通事項

- List of other common items including 1) 耐火区画通りの扉枠内に耐火材充填の事, 2) 排煙窓の開口高さは45'以上とする, etc.



※ FL+1500

※ FL+4500

建具キープラン S=1:100

■ 建具キープラン 凡例		■ 特記事項	
--- 延焼のおそれのある部分のラインを示す			
⊙	- 防火設備を示す		
⊕	- 建具の符号を示す		
AD	: アルミ製 扉・はきだし窓	AM	: アルミ製 窓
SD	: 鋼製 扉	LSD	: 軽量鋼製 扉
SSW	: ステンレス製 窓	STF	: ステンレス製 三方枠
SF	: 鋼製 三方枠	WSD	: 鋼製可動間仕切
TBS	: トイレブース	WD	: 木製 扉
TOP	: トップライト		

特記		備考		神田まちづくりセンター改築工事（建築）		設計者	図面名称	SCALE	DATE	SIGN	SHEET No.
				株式会社 <b>ヤスザワ設計</b>	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第0-2423号 一級建築士 登録 第169646号 登録 第314702号	中村	建具キープラン	A1 1:100 (A3) (1:200)	令和5年6月		A 38





建具 性能記号 数量 取付場所 (階及び室名)	LSD 1階 SSW 1階 SFT 1階 SF 1階	1 1F パーソナルルーム		1 1F パーソナルルーム		1 1F 廊下		1 1F ステージ									
	親子開きフラッシュドア (セミアタイト)		引き違いガラス窓		3方枠		3方枠										
	A/137 (40)		C-2/SUS/HL		A/120 (-)		I-1/123 (-)		I-2/310 (-)								
	St/焼付		焼付塗装		St/焼付		SUS/HL		St1.6/不燃化粧シート								
	T、D、O、戸当り、その他付属金物 [小松カネ工業(株) 鋼製軽量ドア LS開き戸 簡易気密型 又は同等品]		SUS製ハブ、SUS製レール、ハブ戸錠		化粧柱: 鋼管 φ76.3×3.2 不燃化粧シート貼り												
建具 性能記号 数量 取付場所 (階及び室名)	WSD 1階 TBS 1階	2 1F 会議室2		1 1F 女子トイレ		1 1F 女子トイレ		1 1F 男子トイレ		1 1F 多目的トイレ		1 1F 男子トイレ					
	6枚建て可動間仕切り壁		トイレブース (市木タイプ)		トイレブース (市木タイプ)		トイレブース (市木タイプ)		トイレブース (市木タイプ)		トイレブース (市木タイプ)		トイレブース (市木タイプ)				
	A/120 (69)		A/40 (-)		A/40 (-)		A/40 (-)		A/40 (-)		A/40 (-)		A/40 (-)				
	St/焼付		AL/塩ビ化粧シート		AL/塩ビ化粧シート		AL/塩ビ化粧シート		AL/塩ビ化粧シート		AL/塩ビ化粧シート		AL/塩ビ化粧シート				
	7&8レール、戸当り (1方枠 St1.6mm焼付)、子扉、フック付レール、7&8製フレーム、表面操作口、内部フック、その他付属金物 [小松カネ工業(株) 移動間仕切り壁 フック付レール LW-606又は同等品]		5方トリセター式、中央吊りレング、SUS製幅木、天井レール、その他付属金物 [小松カネ工業(株) フック付レール TB-SPH又は同等品]		5方トリセター式、中央吊りレング、SUS製幅木、天井レール、その他付属金物 [小松カネ工業(株) フック付レール TB-SPH又は同等品]		5方トリセター式、中央吊りレング、SUS製幅木、天井レール、その他付属金物 [小松カネ工業(株) フック付レール TB-SPH又は同等品]		5方トリセター式、中央吊りレング、SUS製幅木、天井レール、その他付属金物 [小松カネ工業(株) フック付レール TB-SPH又は同等品]		5方トリセター式、中央吊りレング、SUS製幅木、天井レール、その他付属金物 [小松カネ工業(株) フック付レール TB-SPH又は同等品]		SUS製幅木、天井レール、その他付属金物 [小松カネ工業(株) フック付レール TB-SPH又は同等品]				
建具 性能記号 数量 取付場所 (階及び室名)	WD 1階	1 1F 廊下		2 1F 物入、給湯室②		1 1F 和室8帖		2 1F 和室8帖		2 1F 和室8帖、和室10帖		1 1F 和室8帖		1 1F 和室10帖		1 1F 押入	
	両引き分枠ドア		片引き障子 (腰付)		両方引き分枠障子 (腰付)		引き違い機		引き違い障子 (摺り上げ)		4枚建て引き違い障子 (腰付)		片引き戸機		引き違い機		
	L/180 (40)		L/120 (33)		L/120 (33)		L/120 (21)		L/120 (33)		L/120 (33)		L/120 (40)		L/120 (21)		
	St1.6/焼付		W/UC		W/UC		W/UC		W/UC		W/UC		W/UC		W/UC		
	戸車、SUS製レール、壁格子 (杉 W300@100 (UC))、横柱 (杉 W75 (UC))、その他付属金物		戸車、SUS製レール、壁格子、腰板、その他付属金物		壁格子、腰板、その他付属金物		新島の子紙張り ※ 押入内部は、押入紙張り		壁格子、腰板、その他付属金物		壁格子、腰板、その他付属金物		戸車、SUS製レール、その他付属金物		新島の子紙張り ※ 押入内部は、押入紙張り		
建具 性能記号 数量 取付場所 (階及び室名)	WD TOP 1階	2 1F ステージ、倉庫③		2 1F 倉庫②		1 1F 多目的ホール		2 1F フリースペース 上部									
	片開き扉ドア		6枚建てフラッシュドア		4枚建て両引き分枠フラッシュドア		パラレル型トップライト 【断熱・耐火仕様】										
	A/155 (40)		I-1/150 (40)		L/190 (40)		A/- (-)										
	St/焼付		St1.6/焼付		St1.6/焼付		A/- (-)										
	T、D、その他付属金物 その他付属金物		戸車、SUS製レール、その他付属金物		戸車、SUS製レール、その他付属金物		A/- (-) A/7&8レール付 St1.6/焼付 ※ フック付 FWG 6.0/図示 7&8レール/図示 その他付属金物 [三菱化成インテック(株) 垂直開閉式フック付 A/7&8レール又は同等品]										
特記		備考		備考		設計者 一級建築士 登録 第169646号 中村		図面名称 SCALE DATE SIGN		SHEET No. A 40							